

令和 6 年 度

船橋市青少年問題協議会

船 橋 市
船 橋 市 教 育 委 員 会
各 種 関 係 機 関 ・ 団 体

1. 本冊子の見方

《青少年関係事業実績報告書》

重点 目標	①							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

①【重点目標】

「船橋市青少年総合対策」 > 3. 基本目標 > (推進目標) から、各団体の実施事業に該当する推進目標を全て選定。
※推進目標＝重点目標

② ①で選定した重点目標の中から、各実施事業に該当する重点目標の番号を記入。

③【目的】

実施事業を行う目的を記入。

④【実施事業】

該当する実施事業を記入。

⑤【実施時期】

実施事業の開催時期を記入。

⑥【実施内容】

事業内容を記入。

⑦【目標値】

実施事業に対する目標値（数値目標）を記入。目標値は所管課による自己目標（数値）。

⑧【実績値】

実施事業の設定した目標値に対する実績値を記入。

⑨【達成度】（指標）

目標値と実績値を比較し、下表を参考に指標の達成度として、「A～D」の4段階を記入。

「A」：80%以上達成。

「B」：60%以上 80%未満達成。

「C」：40%以上 60%未満達成。

「D」：40%未満達成。

⑩【総合評価】

実施事業の結果に対しての評価（効果・課題・検討事項等）を記入。

《青少年関係事業実施計画書》

重点 目標	①				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
②	③	④	⑤	⑥	⑦

① 【重点目標】

「船橋市青少年総合対策」 > 3. 基本目標 > (推進目標) から、各団体の実施事業に該当する推進目標を全て選定。

※推進目標＝重点目標

② ①で選定した重点目標の中から、各実施事業に該当する重点目標の番号を記入。

③ 【目的】

実施事業を行う目的を記入。

④ 【実施事業】

該当する実施事業名を記入。

⑤ 【実施時期】

実施事業の開催時期を記入。

⑥ 【実施内容】

事業内容を記入。

⑦ 【目標値】

実施事業に対する目標値（数値目標。例えば、参加予定人数・実施予定回数）を記入。目標値は所管課による自己目標（数値）。

目次

団体名	令和5年度	令和6年度	令和6年度
	実績報告	事業計画	新規事業
(01) 船橋警察署	10	90	
(02) 船橋東警察署	11	90	
(03) 市川児童相談所船橋支所	11	91	
(04) 船橋市自治会連合協議会	12	91	
(05) 船橋市民生児童委員協議会	13	92	
(06) 船橋市社会福祉協議会	13	92	
(07) 船橋地区保護司会	14	93	
(08) 船橋市スポーツ協会	15	94	
(09) 船橋市スポーツ推進委員協議会	16	95	
(10) 船橋市青少年相談員連絡協議会	17	95	
(11) 船橋市PTA連合会	18	96	
(12) 船橋市少年少女団体連絡協議会	18	96	
(13) 船橋市青少年センター運営協議会	19	97	
(14) 船橋市青少年補導委員連絡協議会	20	97	
(15) 市民安全推進課	21	98	
(16) 地域子育て支援課	22	99	
(17) 児童相談所開設準備課	23	99	
(18) 商工振興課 (ふなばし地域若者サポートステーション)	23	100	
(19) 公園緑地課	25	101	
(20) 教育総務課	26	—	
(21) 船橋市立船橋高等学校	26	102	
(22) 指導課	27	—	
(23) 児童・生徒サポート室	—	103	(4)3 スクールアシスタント全校配置 (小学校・特別支援学校) (4)3 ピアサポーター配置 (中学校)
(24) 保健体育課	28	104	
(25) 児童・生徒防犯安全対策室	29	104	
(26) 総合教育センター	30	105	
(27) 社会教育課	30	—	
(28) 文化課	31	105	
(29) 青少年課	32	106	
(30) 生涯スポーツ課	33	107	(4)1 武道センター改修工事 (4)1 運動公園陸上競技場改修工事

(31) 西図書館	35	108	
(32) 中央公民館	36	109	
(33) 西部公民館	37	110	(1)1 アナウンサーによる司会体験講座
(34) 東部公民館	40	111	
(35) 北部公民館	41	112	(1)2 子どもまつり
(36) 二和公民館	44	113	(1)1 簡単パン作り教室 (4)3 外国の友達と遊ぼう
(37) 三田公民館	45	114	
(38) 法典公民館	47	115	
(39) 夏見公民館	48	116	(1)4 みんなでラジオ体操！ (4)2 おじいちゃん、おばあちゃんが子どもの頃を聞いてみよう ～郷土資料館「暮らしの道具と生活展」連動企画～
(40) 海老が作公民館	50	117	
(41) 高根公民館	51	118	(1)1 ステンシル体験
(42) 小室公民館	52	119	(1)2 夏休み！漫画の描き方教室
(43) 浜町公民館	54	120	
(44) 習志野台公民館	56	121	
(45) 八木が谷公民館	57	122	(1)2 走るコツを学ぼう (1)2 手まり作り教室
(46) 飯山満公民館	58	122	(1)1 夏休み宿題応援企画「図書館探検と読書感想文教室」 (1)2 クラブ活動支援
(47) 丸山公民館	61	124	
(48) 塚田公民館	63	125	
(49) 宮本公民館	65	126	(1)1 親子で地域の工場を見学しよう
(50) 三咲公民館	67	127	(1)1 夏休みこども応援プロジェクト 親子環境講座 (1)1 夏休みこども応援プロジェクトバリアフリーアクセサリ作り
(51) 新高根公民館	68	128	
(52) 葛飾公民館	71	128	
(53) 薬円台公民館	72	129	
(54) 松が丘公民館	74	130	(1)2 親子で陶芸に挑戦
(55) 高根台公民館	77	131	(1)2 障がいがある青少年自立支援事業
(56) 海神公民館	80	133	(1)2 ダンス教室
(57) 坪井公民館	81	134	
(58) 青少年センター	83	135	
(59) 青少年会館	85	137	

船橋市青少年問題協議会条例	140	
船橋市青少年問題協議会幹事に関する要綱	142	
船橋市青少年問題協議会委員一覧表	144	
船橋市青少年問題協議会幹事一覧表	145	
船橋市青少年行政組織図	146	

令和5年度 青少年関係事業実績報告書

指標の達成度内訳表（事業数と割合(%)表示)

	達成度「A」	達成度「B」	達成度「C」	達成度「D」	達成度「なし」	総事業数
基本目標(1)	72 (24%)	10 (3%)	9 (3%)	5 (2%)	22 (7%)	118 (40%)
基本目標(2)	53 (18%)	11 (4%)	3 (1%)	1 (0%)	11 (4%)	79 (27%)
基本目標(3)	9 (3%)	1 (0%)	2 (1%)	1 (0%)	0 (0%)	13 (4%)
基本目標(4)	47 (16%)	4 (1%)	1 (0%)	1 (0%)	25 (9%)	78 (27%)
基本目標(5)	3 (1%)	1 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	6 (2%)
総事業数	184 (63%)	27 (9%)	15 (5%)	8 (3%)	60 (20%)	294 (100%)

船橋市青少年総合対策

1. 基本方針

船橋市は都心から 20 キロメートル圏内という好立地にあり、首都圏の中でも有数の人口規模を擁する都市として発展を続けている。本市においても、近年の社会経済情勢のめまぐるしい変化に伴い、青少年を取り巻く環境が大きく変わり、様々な課題に直面している。

本市の後期基本計画では、次代を担う青少年健全育成の推進を図るため、めざすべき姿として「家庭と地域、学校等の関係機関の連携による支援のもと、青少年の健全な成長と自立が実現している状態」とされている。

めざすべき姿を実現するためには、市内の青少年が誇りと責任を自覚し、自己を確立するとともに、地域社会と関わりながら他者と触れ合い、他者への思いやりを学び、社会的・経済的に自立した個人として成長することが望まれる。

この船橋市青少年総合対策（以下、「総合対策」という。）は、家庭・地域・学校・企業・行政等がそれぞれに役割を果たし、緊密な連携と協力を図り、青少年健全育成施策を積極的に推進するものである。

2. 実施要領

- (1) 総合対策を推進するために、船橋市青少年問題協議会及び同協議会を構成する青少年関係機関・団体は、事業の拡充・組織の活性化に努めるものとする。
- (2) 青少年関係機関・団体は、総合対策で示した基本目標・(推進目標) に沿って、それぞれの専門分野を生かした事業を行う。
- (3) 各事業の実施にあたり、青少年関係機関・団体は、家庭・地域・学校・企業・行政等と緊密に連携、協力し、地域全体で取り組みながら総合対策の推進に努めるものとする。
- (4) 総合対策の推進にあたり、実施事業の評価を行うものとする。

3. 基本目標（推進目標）

- (1) 青少年の健やかな成長を支援
 - 1 青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり
 - 2 スポーツ・文化芸術活動への参加促進
 - 3 得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成
 - 4 健康教育の推進と健康増進の確保
 - 5 青少年の生活・コミュニケーション能力の増進と指導

- (2) 家庭環境の充実への支援
 - 1 健全な家庭生活と親子のふれあいの推進
 - 2 家庭教育に関する事業の推進
 - 3 児童虐待への対策
 - 4 経済的に困難な状況の青少年への支援
- (3) 困難を抱える青少年の支援
 - 1 青少年の就業能力の取得及び就労の支援
 - 2 社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援
 - 3 青少年の非行防止と保護活動の強化
- (4) 社会環境の整備
 - 1 施設の整備と拡充
 - 2 家庭・地域・学校等の連携手段の構築
 - 3 青少年の居場所づくりの推進
 - 4 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実
 - 5 青少年を取り巻く有害環境への対策
 - 6 安心・安全な地域社会の構築
- (5) 成長を支える担い手の育成
 - 1 青少年関係機関・団体への支援
 - 2 青少年関係機関・団体の人材育成と確保
 - 3 指導者の養成と資質の向上
 - 4 社会貢献活動に対する支援

令和5年度 青少年関係事業実績報告書

船橋警察署

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)1	餅つき大会	12月23日	稽古締めに伴い、タッチヤング少年剣道全員を対象に餅つき大会を実施。実施に関して感染症対策等のコロナ感染防止に努めた。
(1)2	第36回タッチヤング千葉県少年柔道・剣道大会	7月27日	タッチヤング少年剣道全員を対象に、個人戦並びに団体戦に参加。
(1)2	第3回船橋署少年剣友会練成大会	2月3日	タッチヤング少年剣道全員、その他の11団体を含めたトーナメント戦の大会を実施。
(1)2	船橋警察署剣友会納会試合	3月23日	タッチヤング少年剣道全員を対象に、小学校5年生以上、小学生4年生以下の2つの部に分かれてトーナメント戦を実施。部門ごとの優勝者に署長から優勝カップを贈呈。
(1)2	令和5年度夏合宿	7月28～30日	「船橋市立一宮少年自然の家」にて、市内小中学生を対象に、野外炊飯・キャンプファイヤー等を実施し、団体生活の規律と連帯意識の高揚等を図った。
(1)2	少年野球大会	5月21日	小学生を対象に野球大会（船橋警察署長杯）を実施、優勝者には当署刑事官から優勝カップを贈呈。
(3)3	街頭補導	年間	少年警察ボランティアと連携し、少年の非行防止及び健全育成のため、街頭補導を実施。
(4)5	薬物乱用防止教室	年間	少年センターと連携し、少年を薬物から守るため、薬物乱用防止教室を実施。
(4)5	ネット安全教室	年間	少年センター（サイバー犯罪対策課）と連携し、少年をインターネット犯罪から守るため、ネット安全教室を開催。

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)2	少年野球大会(新規)	5月21日	豊富地区において小学生を対象とした野球大会を実施。コロナ禍が明け、子供たちの活気ある姿を形成することができ、少年の健全育成に寄与することができた。
(3)3	薬物乱用防止教室、非行防止教室の実施	年間	当署管内に所在する小学校、中学校などに対して、千葉県警察本部少年センターと連携し薬物乱用防止教室やネット安全教室を実施した。各教室を通じて生徒に薬物及びインターネットの危険性について広く周知し、犯罪及び各種トラブルの未然防止の徹底を図ることができた。
(4)5	不審者に対する防犯訓練等	年間	当署管内に所在する保育所、幼稚園、小学校、放課後ルーム等において不審者対応訓練を実施した。 警察官が不審者役を演じるなど実際の事例を想定した対応訓練を通じ、生徒や関係者の防犯意識を高めることができた。
(4)5	ネット安全教室(新規)	年間	少年センター(サイバー犯罪対策課)と連携し、少年をインターネット犯罪から守るため、ネット安全教室を開催。インターネットの危険性について周知を行った。

重点 目標	(2)3児童虐待への対策		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(2)3	電話相談	毎週月曜日～金曜日	来所によらない相談方法として電話による相談支援を実施した。

(2)3	管内等児童虐待対応担当部署等職員連絡協議会	年5回	管内の児童虐待対応担当職員等を対象とし、研修形式・グループディスカッションを通して、児童虐待対応についての管内各関係機関の連携と専門性の向上を図った。
(2)3	被虐待児グループ指導	年9回	虐待により一時保護されている児童について、適切な対人距離や感情コントロールについて学び、肯定的な自己イメージを持てるようになることを目的としてグループ活動を行った。

船橋市自治会連合協議会

重点目標	(4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)3指導者の養成と資質の向上		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(4)6	地域児童の見守り	通年	実施内容：地域において、大人の責任と立場で見守りを実施した。 効果：子供達の安全確保が出来、コミュニケーションもとれた。
(4)6	子供たちの交通安全	通年	実施内容：スクールガードを中心に活動を実施、また、自転車事故の減少の為に、保護者や地域住民が見守ることにより子供たちと一緒に取り組んだ。 効果：子供達の安全確保が出来、コミュニケーションもとれた。
(4)6	子供の為の社会環境の整備	通年	実施内容：a. あいさつ運動 b. 見守り運動 c. 声かけ運動 を実施した。 効果：子供達の安全確保が出来、コミュニケーションもとれた。
(5)3	青少年健全育成講演会、視察研修	効率的な時期を設定	青少年の環境を良くする市民の会と共催で、青少年健全育成講演会視察研修および青少年健全育成講演会を実施した。視察研修（実施日：令和5年10月5日 視察先：福島県いわき市薄磯地区 参加人数：28名）青少年健全育成講演会（開催日：令和6年2月9日 講師：船橋市長 参加者169名）

重点 目標	(5)3指導者の養成と資質の向上		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(5)3	主任児童委員の会	年間	主任児童委員の会代表者会議を開催し、5行政ブロックの代表者が活動・事例報告を行い、各委員間及び関係機関との情報の共有化を図ることで、連絡・協力体制の強化につながった。

重点 目標	(1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (4)1施設の整備と拡充 (4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)1青少年関係機関・団体への支援		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)3	青少年ボランティアの育成	年間	市内の学校で車椅子体験、白杖体験、点字体験、高齢者疑似体験等の福祉教育を行い、学校との連携及び青少年ボランティアの育成に努めた。 また、中学生向けのボランティア養成講座を行い、青少年がボランティア活動を通して社会参画できるよう努めた。
(2)1	明るい家庭とまちづくり運動	年間	地区社会福祉協議会事業について、新型コロナウイルスの感染拡大以降、約4年ぶりに対面での事業を全面的に再開した。特に地域福祉まつりや各事業での幅広い年代のボランティア受け入れを通して、世代間交流、家庭づくり、親子のふれあい、明るいまちづくりに努めた。
(4)1	子どもの遊び場の安全点検運動	10月	子どもの遊び場2ヶ所に設置している遊具の整備・点検を行った。

(4)6	地区社会福祉協議会	年間	地域住民が主人公であり、誰もが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地域における生活上の諸問題を解決するための様々な仕組みづくりや、新たに必要事業について地域福祉活動計画（支え合いのまちづくりプラン）に基づき推進に努めた。 地区社会福祉協議会は地域住民の参加を基本に共助の中核を担う組織として、ミニデイサービス事業やふれあい・いきいきサロン事業、ボランティア育成事業、地域福祉まつり事業、広報活動事業（主要5事業）、生活支援サービス（たすけあいの会活動）や子育てサロン等を実施し、きめ細やかな福祉ニーズの課題解決に努めた。
(5)1	おもちゃの図書館	年間	東おもちゃの図書館の活動に対する支援・協力を行った。
(5)1	こども食堂	年間	ふなばし子ども食堂ネットワーク及び市内こども食堂に対する支援・協力を行った。

船橋地区保護司会

重点 目標	(3)1青少年の就業能力の取得及び就労の支援 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(3)1	○面接場所の提供と予約 ①対象者、引受人（家族等）面接及び相談 ②一般相談窓口（不良行為その他） ③定期駐在面接場所提供	○定期駐在 毎月第3火曜日・第4木曜日 ・時間帯 9:00～16:30	刑務所及び少年院を出所者及び保護観察処分を受けた人の再犯を防ぐ事業。 （就業支援・就学支援・生活支援相談） 千葉保護観察官の定期駐在（月2回）及び担当保護司による対象者面接（随時） 定期駐在（20回）対象者面接（90回）計110回
(3)3	更生保護活動	年間	保護司、保護観察官との連携による対象者の再犯防止と速やかな社会復帰のため、適正な保護観察の実施。 社会を明るくする運動は7月4日から8日、船橋市役所1階ロビーにて「社明と更生保護活動パネル展示会」「更生保護キャラクターぬり絵展示会」7月強調月間に社会を明るくする運動横断幕を設置し啓発活動を行う。

(3)3	第73回社会を明るくする運動 ①更生保護パネル展示会（市役所1階ロビー） ②ぬり絵展示会（保育園児） 同上 ③作文コンテスト（小中学校） ④啓発広報活動「再犯防止・犯罪防止」等の横断幕設置	○強調月間 7月～9月 ①②パネル展示会 7月3～8日 ③作文コンテスト募集 6月下旬～9月上旬 ④横断幕設置 7月1～31日	○7/1～9/10 「社会を明るくする運動」千葉県作文コンテスト募集と県に推薦。 ・小学校 37校 応募作品（433点） 県推薦作品（1）佳作：二和小学校6年 高木 華 ・中学校 18校 応募作品（668点） 県推薦作品（1）佳作：高根台中学校1年 宇井 優奈 ・地域社会や学校生活において「社会を明るくする運動」について興味を持ち考える機会が来た。 ・犯罪や非行について家族などと話すことができた。 ○7/1～7/30 市役所第一駐車場フェンスに掲示し啓発活動、船橋駅前フェイス5階窓口センター入口に電子版掲示する。 ・第73回社会を明るくする運動（強調月間）啓発活動を行う。
(3)3	更生保護サポートセンターの設置 ①各部会会議場所予約管理 ②各地区処遇会議場所予約管理	平日 月曜日～金曜日開設 ・時間帯 9：00～16：30	千葉県船橋合同庁舎3階に「更生保護サポートセンター」で市民相談窓口を開設する。 ・非行防止 ・再犯防止 ・薬物乱用防止 ・就労支援 ・地域の処遇会議など行う。

船橋市スポーツ協会

重点目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)2	春季・夏季市民体育大会	4～9月	運動公園、総合体育館等を会場に春季38競技、夏季1競技（水泳）を開催予定。 春季・夏季合わせ、31競技を開催し、27,571名が参加した。 新型コロナウイルス感染症の制限が緩和されたことで、実施競技や参加者数は前年度より大幅に向上した。
(1)2	秋季市民体育大会	9月～3月	運動公園、総合体育館等を会場に38競技を開催予定。 35競技を開催し、19,152名が参加した。 新型コロナウイルス感染症の制限が緩和されたことで、実施競技や参加者数は前年度より向上した。

(1)2	船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念事業 スポーツフェスタ	10月9日	船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念事業実行委員会の主催で運動公園内施設にて開催され、当協会及び加盟団体により14競技のスポーツ体験会を実施する予定であった。当日は雨天のため外会場が使用できず、体育館・弓道場・野球場（ブルペンのみ）での開催となり、9競技で延べ1,016人が体験した。体験者には概ね満足いただき、スポーツの楽しさを伝えることができた。
(1)2	千葉県民体育大会選手等派遣及び強化練習事業	6月～3月	千葉県民体育大会への選手等派遣及び各競技団体による選手強化を行う。 第73回大会（R5.1月～11月）では39競技中37競技に610名が出場し、9種目で優勝を果たした。総合成績は男子1位、女子2位、男女総合2位であった。 第74回大会（R6.1月～11月）の冬季競技（1～3月）について選手等の派遣を行った。

船橋市スポーツ推進委員協議会

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (5)3指導者の養成と資質の向上		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)2	地区スポーツ振興事業	年間 10月9日	スポーツ推進委員を中心に市内各地でスポーツ行事を開催。 (322行事(53行事が雨天等により中止) 35,153人) 第8回元気ふなばし健康ウォーキング(中止)
(5)3	スポーツ推進委員が携わる各種大会・研修会	6月9～10日 7月1日 11月16～17日 1月21日 1月27日	関東スポーツ推進委員研究大会(群馬県前橋市) 3人 千葉県スポーツ推進委員初任者研修会(県スポーツセンター) 1人 全国スポーツ推進委員研究協議会(青森県青森市) 3人 千葉県スポーツ推進委員研究大会(八千代市) 31人 学びと集い2023(県スポーツセンター) 4人

(5)3	スポーツ推進委員協議会の活発化事業	5月20日	スポーツ推進委員研修会（全体研修）（青少年会館）	63人
		10月9日	ボッチャ交流大会中央大会（運動公園）	38人
		11月2日	スポーツ推進委員研修会（リーダー研修）（船橋市役所）	
		12月3日	実技研修会と統合	
		2月18日	スポーツ推進委員研修会（リーダー実技研修）（拡充）（青少年会館）	54人
			第12回スポーツフォーラム（きららホール）	93人

船橋市青少年相談員連絡協議会

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)1	第58回船橋市青少年キャンプ	7月28～30日	今年度は「山梨県立八ヶ岳少年自然の家」において実施。子供たちはキャンプファイヤー、飯ごう炊飯などを通して仲間の大切さや自然の素晴らしさを体験した。 参加人数 116人（青少年83人、指導者33人）
(1)1	第56回船橋市少年少女交歓大会	10月29日	青少年相談員は体育館にて軽スポーツ体験（フリースロー、ボッチャ、ストラックアウト）を実施した。 参加人数 152人（青少年140人、指導者12人）
(1)2	第43回船橋市青少年のつどい大会	11月19日	船橋市青少年会館において、「ドッチビー」を実施しました。当日は、小学1年生から6年生までの男女混合チームを作り、青少年相談員も子供たちと共に汗を流しながら活動することができた。 参加人数 115人（青少年64人、指導者51人）
(1)2	葛南地区青少年つどい大会	12月2日	船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市の5市の青少年相談員が、習志野市立袖ヶ浦体育館にてモルック大会を実施。他市の青少年との交流を通じスポーツ活動の素晴らしさを体験した。 参加人数 149人（青少年79人、指導者70人）

船橋市PTA連合会

重点 目標	(4)6安心・安全な地域社会の構築		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(4)6	校外・環境委員長研修会	6月23日	「ひまわり110番」活動の概要について説明し、改めて「ひまわり110番」の成り立ちや、活動するうえでのポイントなどを学んだ。その後、登下校時の安全対策や通学路の安全確保等、活発に情報交換を行った。
(4)6	「ひまわり110番」活動	年間	単位PTAに協力いただきながら、年間を通じて、「ひまわり110番」新規設置協力者の呼びかけ、老朽化したプレートの交換などを行った。また、新規協力者の増員やプレート交換などの一助となるべく、プレートの無償配付を行った。

船橋市少年少女団体連絡協議会

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)1	第56回船橋市少年少女交歓大会	10月29日	船橋市・船橋市教育委員会・船橋市青少年相談員連絡協議会・船橋市国際親善の会と当会で実行委員会を組織し、船橋市運動公園にて、〇×クイズ、リアル野球盤、だるま落とし、軽スポーツ、体力測定などを行い、青少年の交流を深めることができた。 延べ参加人数：5,036人
(1)1	船橋市・津別町青少年交流事業	8月6～9日	船橋市教育委員会との共催により、船橋市の子供たちが津別町を訪問し、体験プログラム等を通して、異なる生活環境の中で育つ両地域の子供たちが交流を図った。 参加人数：28人

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築		
	実施事業	実施時期	実施内容及び効果
(1)1	一宮ふれあいキャンプ	6月～9月	6月19日 担当者会議 8月22日 事前準備会 8月25～27日 一宮ふれあいキャンプ 9月9日 ふりかえりの会 参加児童生徒12名 指導者26名
(3)3	学校ネットパトロール	年間	市内小・中・高・特別支援学校の児童生徒を対象に定期的なネットパトロールの実施 検知総数676件
(4)2	運営協議会の開催	7月7日 10月6日 1月19日	青少年センター業務実施計画の協議 青少年センターにおける青少年補導と相談の状況報告・協議 船橋警察署及び船橋東警察署、市川児童相談所における青少年の状況報告 青少年の健全育成及び、相談活動を効果的に進めるために、関係機関、団体等との情報の交換・収集ができた。

重点 目標	(3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)6安心・安全な地域社会の構築		
	実 施 事 業	実 施 時 期	実 施 内 容 及 び 効 果
(3)3	街頭補導活動	年間	<p>センター補導 青少年センターの計画に沿って、青少年補導委員が地域毎（市内6ヶ所）の補導、8月を除き、毎月1回行った。近隣市との合同補導及び情報交換を行った。</p> <p>地区補導 市内中学校区を12地区に分け、各地区の計画に沿って、補導委員の居住する地区の補導を毎月1回実施した。</p> <p>広域列車補導 市内各駅構内の補導活動を行った。</p> <p>地区学校訪問 各地区の計画により補導委員が学校訪問を実施した。</p> <p>定期的な補導活動や情報共有により、犯罪防止の面で抑止力につながっている。不審者情報や青少年のたまり場、店舗情報などを共有することにより、非行の未然防止や防犯に貢献している。</p>
(4)6	環境浄化活動	年間	補導委員による学校訪問において、各地区の環境浄化に関する情報交換や環境の点検を実施。

重点 目標	(4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)4社会貢献活動に対する支援							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(4)6	啓発活動等を中心にして、市民一人ひとりの交通安全意識の向上、交通安全思想の高揚及び交通事故防止の徹底を図る。	全国交通安全運動に伴う交通安全啓発活動	5月、9月	船橋警察署・船橋東警察署等の関係機関と交通安全啓発活動を行い、交通事故防止の徹底を図る。	なし	3回	/	両警察署と協力し、全国交通安全運動に伴う交通安全啓発イベント・啓発活動を3回実施した。
(4)6	交通安全教室を通し交通ルールやマナーを身につける。	交通安全教室	年間	市内保育園・幼稚園等を対象に実施。 内容： ①交通安全指導員によるパネルシアター等 ②模擬道路を使用した横断歩道の渡り方及び信号の見方 ③交通安全DVDアニメ上映	125回	135回	A	市内の保育園・幼稚園等にて135回の幼児交通安全教室を実施した。
(4)6	犯罪情報等の提供。	犯罪情報等の提供	年間	ホームページ及び毎月15日号の「広報ふなばし」で、下記表の頻度で犯罪発生件数（ひったくり・空き巣・車上ねらい・自動車盗・特殊詐欺）と交通事故発生件数を掲載する。 犯罪発生件数 交通事故発生件数 ホームページ 月ごと 月ごと 広報ふなばし 月ごと 月ごと 警察や学校等から提供される犯罪情報や不審者情報、交通安全情報などを携帯電話やパソコンに電子メールで配信するサービス「くらしの安全・安心情報」を行う。	なし	なし	/	広報ふなばしにて犯罪発生件数及び交通事故発生件数について、年間12回の掲載を行った。 「くらしの安全・安心情報」については、防犯情報を118件、交通安全情報を11件、合計129件のメール配信を行った。

(4)6	防犯体制の充実。	市民安全パトロール	年間	青色回転灯を装着した3台の市民安全パトロールカー「まもる号」「みはる号」「めぐる号」で市内全域をパトロール。小学生の下校時間には、校門付近で駐留警戒や啓発放送を流し、子どもたちに注意を呼びかける。	なし	なし	/	青色回転灯を装着した3台の市民安全パトロールカー「まもる号」「みはる号」「めぐる号」で市内全域をパトロールした。小学生の下校時間には、校門付近での駐留警戒や啓発放送を流し、子供たちに注意を呼びかけた。また、警察署から情報提供された不審者情報をもとに、重点的に啓発活動を実施した。
(5)4	自主防犯活動の促進。	防犯パトロール隊への支援物資支給	年間	町会、自治会、商店会、その他の防犯活動団体を単位として防犯パトロールを実施している団体に対し、防犯パトロール用の物資を支給（団体の世帯数に応じ1団体20,000円～30,000円相当分を上限）する。また、物資支給の申請期間経過後、新たに防犯パトロール隊を結成した団体に対し、一定の種類、数の防犯物資を支給する。	結成率 55.5%	結成率 55.3%	A	町会、自治会、商店街、その他の防犯活動団体を単位として防犯パトロールを実施している団体に対し、防犯パトロール用の物資を支給（団体の世帯数に応じ1団体20,000円～30,000円相当分を上限）を行った。
(5)4	防犯体制の充実。	船橋ひやりハットと防犯ネットワークの構築	年間	市内の事業所・店舗・団体等に協力を求め、不審者や犯罪者を寄せ付けないまちづくりを目指す「船橋ひやりハットと防犯ネットワーク」の新規事業所の加盟促進を行っていく。	なし	なし	/	市内の事務所・店舗・団体等に協力を求め、不審者や犯罪者を寄せ付けないまちづくりを目指す「船橋ひやりハットと防犯ネットワーク」の新規事業所の加盟促進を行った。

地域子育て支援課

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	児童健全育成を図るため。	第56回船橋市青少年交歓大会	10月29日	例年、「お化け屋敷」を全児童ホームが参加の上実施していたが、児童ホームの行事等の関係からお化け屋敷の実施はせず、交歓大会当日は運営補助として参加する形となった。	なし	なし	/	例年行っていたイベントは実施できなかった。今後、児童健全育成に寄与するイベントを検討していく。
(4)3	放課後児童育成を図るため。	放課後児童健全育成事業	年間	保護者が労働や病気などで、放課後に子どもだけになってしまう児童を対象に、放課後ルーム事業を実施し、児童の健全育成を行う。	なし	なし	/	令和5年4月1日 55か所 入所児童数5,727人 放課後ルーム事業の実施により、放課後児童の居場所づくりを行い、放課後児童健全育成に努めた。待機児童が発生している放課後ルームにおいては、関係課と協議していく。

重点目標	(2)3児童虐待への対策 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(2)3	要保護児童等早期発見と早期対応。虐待予防。	家庭児童相談室	年間	児童養育に関する相談等を行う。	なし	なし	/	家庭児童相談室専門職21人、家庭相談員8人、心理職10人が相談に応じた。相談件数の増加や複雑化する相談内容への確に応じることができるよう外部研修に参加し、スキルアップを図った。
(4)2	こどもを守る地域のネットワーク。	船橋市要保護児童及びDV対策地域協議会	年間	協議会のネットワークを活用し支援対象児童等の早期発見及び適切な支援を行う。ケース情報の一元管理、関係機関との調整・協力、情報交換を行う。	なし	なし	/	協議会のネットワークを活用し支援対象児童等の早期発見及び適切な支援を行うことができた。児童相談所の支援する支援対象児童等についても、協議会のネットワークを利用して周知した。他分野にわたる多くの関係機関と連携を図ることが増え、より一層情報の一元管理、関係機関との調整・協力、情報交換において、それぞれの立場や役割を踏まえたうえでのネットワークの構築が必要になっている。

重点目標	(3)1青少年の就業能力の取得及び就労の支援 (3)2社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	サポステ基本プログラム	年間	社会人スキルアップ講座、グループワーク、働くための基礎知識、SST、ビジネスマナー、トラブルシンキング等。	650人	2,322人	A	運営団体の変更に伴い、サポステ基本プログラムが開所日の午前・午後の2回ずつ開催されることになったため、大幅に目標を超えることができた。
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	学び直し支援（学校連携推進事業）	年間	高卒認定試験受験のための準備や、小中学レベルの再学習のサポート。	50人	36人	B	支援対象者はいたが、目標には届かない程度の数だった。
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	若年未就労者合同就職フェア	9月22日 3月15日	就労に悩む若者と若年未就労者に理解のある企業が一堂に会し、お互いのマッチングを行う。（ハローワーク船橋共催）	60人	51人	A	今年度は公民館での開催となった。9月開催では2人、3月開催では1人の就職が決定した。
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	職場体験プログラム	年間	社会人として、必要な基礎能力の養成、実践的なスキルの習得、職場環境への適合を支援し、早期就職に結びつける。	40人	9人	D	今年度は支援対象者が少なく、目標値には達しなかったが支援を必要としている若者は一定数存在することから、重要な実施事業と考える。

(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	土曜相談会	4月15日 5月13日 6月3、17日 7月1、15日 8月5日 9月16日 10月7、14日 11月11日 12月2、9日 1月13、20日 2月10、17日 3月9、23日	若者に関する相談。 保護者の相談。	60人	28人	C	今年度は支援対象者が少なく、目標値には達しなかったが支援を必要としている若者は一定数存在することから、重要な実施事業と考える。
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	出張個別相談会	5月26日 7月28日 9月29日 11月24日 1月26日 3月29日	若者に関する相談。	30人	14人	C	今年度は支援対象者が少なく、目標値には達しなかったが支援を必要としている若者は一定数存在することから、重要な実施事業と考える。
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	就職に役立つ無料パソコン教室	年間	ビジネス文書作成の為のワード、エクセル、パワーポイントの基本スキルを習得する講座。	200人	182人	A	運営団体の変更に伴い、今年度から週1回の開催とした。
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	保護者の会	5月27日 6月24日 7月29日 8月26日 9月30日 11月25日 12月16日 1月27日 3月30日	保護者の体験談や情報交換、相談。	20人	28人	A	今年度は目標を達成することができた。 保護者相談も重要な事業であるので、引き続き支援を続けていく。
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	保護者サポート	8月24日 10月26日	就労の悩みを抱える子と親のかかわり方、サポステの支援状況などを事例を交えながらセミナー形式で実施。	30人	25人	A	船橋市と習志野市で計2回の開催となった。 自治体と連携し、周知・広報を行っている。

重点 目標	(4)1施設の整備と拡充							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(4)1	安全性を確保しつつ、重点的かつ効率的に維持管理を行う。	公園遊戯施設改築工事	5年11月～6年5月	公園の老朽化した遊戯施設の改修を行い、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	遊具31基	遊具29基	A	老朽化した遊戯施設の改修を行い、利用者の安全性の向上を図った。
(4)1	二和さつき公園の拡張整備。	二和さつき公園拡張工事	6年2月～5月	遊具及びベンチ等の施設整備を行い、利用者の利便性の向上を図る。	なし	なし	/	健康器具及び植栽等の施設整備を行い、利用者の利便性の向上を図った。
(4)1	既設公園の施設改修、充実化。	勝間田公園ほか3公園トイレ改修工事	6年2月～8月	勝間田公園ほか3公園トイレの改修を行い、利用者の利便性の向上を図る。	なし	なし	/	勝間田公園ほか3公園トイレの改修を行い、利用者の利便性の向上を図った。
(4)1	運動公園の施設改修、充実化。	運動公園体育館トイレ改修工事、野球場中央受水槽改修工事及び体育館倉庫建替	5年7月～6年3月	運動公園体育館トイレの改修、野球場中央受水槽の改修及び体育館倉庫建替を行い、利用者の利便性の向上を図る。	なし	なし	/	運動公園体育館トイレの改修、野球場中央受水槽の改修及び体育館倉庫建替を行い、利用者の利便性の向上を図った。
(4)1	法典公園の施設改修、充実化。	法典公園管理棟エレベーター等改修工事	5年8月～6年7月	法典公園管理棟エレベーター等の改修を行い、利用者の利便性の向上を図る。	なし	なし	/	法典公園管理棟エレベーター等の改修を行い、利用者の利便性の向上を図った。
(4)1	アンデルセン公園の施設改修、充実化。	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新工事、子ども美術館パフォーマンスゾーン外壁屋上改修工事及び風車改修工事	5年7月～6年3月	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等の更新、子ども美術館パフォーマンスゾーン外壁屋上の改修及び風車の改修を行い、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	なし	なし	/	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等の更新、子ども美術館パフォーマンスゾーン外壁屋上の改修及び風車の改修を行い、利用者の安全性及び利便性の向上を図った。
(4)1	ふなばし三番瀬海浜公園の施設改修、充実化。	ふなばし三番瀬海浜公園立体駐車場塗装改修工事	5年10月～6年3月	ふなばし三番瀬海浜公園立体駐車場の塗装改修を行い、利用者の安全性の向上を図る。	なし	なし	/	ふなばし三番瀬海浜公園立体駐車場の塗装改修を行い、利用者の安全性の向上を図った。

重点 目標	(4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(4)3	小学校の余裕スペース等を活用した安心・安全な子供たちの活動場所を確保し、放課後等における様々な体験活動や交流活動を支援する。	放課後子供教室推進事業	4月～3月 (月～金)	放課後や夏休み等の子供たちの安心・安全な活動場所を確保するため、小学校の施設を活用した放課後子供教室を全市立小学校55校で実施。	6.6%	6.1%	A	目標値、実績値は全児童数に対する平均利用率(日)。 目標値には届いていないが、前年度と比較して実績値は増加しており青少年の居場所づくりの推進に一定の効果があったと考えられる。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (1)5 青少年の生活・コミュニケーション能力の増進と指導 (4)4スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	生徒が生き生きと日頃の運動・文化活動を内外の関係者に発表する活動を通して、生徒の健全な心身の育成につなげる。	・α祭	9月	体育の部は9月12日(火)に実施。文化の部は同15日(金)に校内発表、16日(土)に一般公開という形式で2日間にわたって実施。	なし	なし	/	体育の部・文化の部ともにコロナ前と同じ形で実施することができた。生徒間でのコミュニケーションや活発に活動することができた。また、体育委員・文化委員・生徒会の生徒が自主的に運営活動を行うことで、生徒の自立を促すことができた。
(1)2	生徒が部活動を通してスポーツや科学、文化に親しむ心を育む。	・部活動への参加	年間	生徒が、運動部20団体、文化部8団体、愛好会6団体、同好会4団体。それぞれの団体で年間を通じて高い目標をもって活動。	なし	なし	/	部活動では、各部において目標に向けて日々積極的に活動していた。生徒個々の意識も向上し、学校生活との両立を図ることができていた。
(1)3	外部機関と連携して、生徒のボランティア精神を育成する。	・異校種交流 ・子ども食堂へのボランティア参加	適時	生徒が「子ども食堂」の運営に積極的に参画する。また、部活動単位で組織的に異校種に足を運び、ボランティア活動に勤しむ。	なし	なし	/	市場小学校の運動会ボランティア(野球部)や特別支援学校へのコンサート(吹奏楽部)を行い、生徒の奉仕の精神を磨くことができた。また、市場内の子ども食堂のボランティア(月1回)に有志生徒が参加し、様々な年代の方々と交流を深めることができた。

(1)5	各種集会を通して、高校生としての適切な生活について様々な場面で説諭することで、生徒に青少年としてのあるべき姿を考えさせ、実践させる。	・交通安全 ・情報モラル集会 ・服装頭髪指導 ・盗難防止活動 ・人権意識の向上	・毎月10日/4月中旬 ・6月上旬 ・年5回 ・年間 ・12月中旬/年間適時	交通安全講話や情報モラル研修、服装頭髪指導、生徒指導講話等、年間を通じて様々な行事を通して、生徒に「高校生としてあるべき姿」を指導する。	なし	なし	/	年度当初に交通安全講話を行い、生徒の安全意識の向上につながった。 また、各学年集会や全校集会で交通安全や高校生としての健全な生活について説諭した。
(4)4	SC、SSWを適切に活用し、教育相談体制の充実を図ることで、組織的に生徒を支援する。	・教育相談室の活用（SC） ・教育相談室の活用（SSW）	・年間（毎週木曜日） ・年間（毎週水曜日）	SC及びSSWと綿密にコミュニケーションをとりながら、個々の悩みや家庭に係わる悩みを有する生徒を個別最適なかたちで支援を行う。	なし	なし	/	令和5年度からSSWが常駐することとなり、教育相談室が一層充実した。 本校では、「教育支援部」という組織を校内分掌に位置づけており、引き続き、教育支援部と専門職との連携を密にしながら生徒の支援にあたっていきたい。

指導課

重点目標	(4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)4スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実 (5)3指導者の養成と資質の向上							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(4)2	学校における生徒指導体制の充実を図る。	船橋市学校・警察連絡委員会	7月6日	学校と警察の生活安全課、交通課からの情報提供及び生徒指導の現代的課題に関する研修を行い、各学校の生徒指導体制の確立を図る。 会場：総合教育センター 視聴覚ホール	市内全小中高特支103校	市内全小中高特支103校	A	改訂された「生徒指導提要」について講演を行い理解を深めることができた。また、関係各課からの資料を配付し、各学校の管理職が共通理解を図った。近年、生徒指導の現代的課題が多岐にわたっており、校種によっても課題が違うため、全体研修の内容の選定について、参加者のニーズを把握していく。
(4)4	児童生徒の悩み等に対応できる学校教育相談体制を構築する。	スクールカウンセラー全校配置（中学校）	年間	市立全中学校に配置されている千葉県スクールカウンセラーが、中学生の悩みや不安の相談に対応している。	なし	なし	/	生徒からの延べ相談件数が2,512件、延べ相談人数が2,576人で有効に活用されている。県教育委員会の配置事業のため、活動時間数の増加を県教育委員会に要望していく。
(4)4	児童生徒の悩み等に対応できる学校教育相談体制を構築する。	スクールカウンセラー全校配置（小学校）	年間	市立全小学校に配置されている千葉県スクールカウンセラー・船橋市スクールカウンセラーが、小学生の悩みや不安の相談に対応している。	なし	なし	/	児童からの延べ相談件数が5,849件、延べ相談人数が6,579人で有効に活用されている。平成30年度から配置された船橋市スクールソーシャルワーカーとの連携も図った。
(4)4	児童生徒の悩み等に対応できる学校教育相談体制を構築する。	スクールカウンセラー全校配置（高等学校）	年間	市立高等学校に配置されている船橋市スクールカウンセラーが、高校生の悩みや不安の相談に対応している。	なし	なし	/	生徒からの延べ相談件数が71件、延べ相談人数が71人で有効に活用されている。平成30年度から配置された船橋市スクールソーシャルワーカーとの連携も図った。

(5)3	学校における生徒指導体制の充実を図る。	小・中・特別支援学校生徒指導研修会	1月25日	小・中・特別支援学校の生徒指導主任、主事を対象に生徒指導に関する研修会を実施し、各学校の生徒指導体制の充実を図る。	市立小中特82校	市立小中特82校	A	市内を10ブロックに分け、各会場中学校の授業参観といじめをテーマに研修を行った。研修では各校から提出されたレポートの内容に基づき、事例の発表、意見交換、質疑応答等を行った。
(5)3	学校における不登校児童生徒への対応の充実を図る。	長欠対策研究協議会	5月24日 10月6日	小・中・特別支援学校の長欠担当者を対象に不登校児童生徒に関する講演会や事例検討会を実施し、長欠担当者の資質向上を図るとともに、各学校の不登校対策の充実を図る。	市立小中特82校	市立小中特82校	A	5月の標記協議会はオンラインで開催した。子どもと親のサポートセンター不登校児童生徒支援チームを招聘し、不登校の未然防止・初期対応について研修を行った。10月は、9グループに分かれ、各校の事例について意見交換等を行った。

保健体育課

重点目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)4健康教育の推進と健康増進の確保							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)2	市内中学校体育の振興を図り、市内中学生の健全育成に寄与する。	中学校総合体育大会	7月1日～22日	市内公立中学校27校16競技、約6,000名の参加による船橋市中学校総合体育大会を実施し、市内中学生のスポーツ活動の推進を図る。	市内公立中学校27校参加	市内公立中学校27校参加	A	近年、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施していたが、令和5年度は通常どおりに開催した。熱中症について、各専門部で配慮しながら実施し、大きな問題もなく終了した。日頃の練習の成果を発揮し、各種目で熱戦が繰り広げられた。
(1)2	市内中学校体育の振興を図り、市内中学生の健全育成に寄与する。	中学校駅伝競走大会	10月14日	市内中学生約400名の参加により、中学生のスポーツ活動の推進を図る。	市内全中学校26校参加	市内全中学校男女共に25校参加	A	1校が参加できなかったが、計画的に練習を実施し本番を迎えた。生徒は学校の代表として責任感をもって精一杯取り組んでいた。
(1)4	市内における学校給食の健全な発展を促進し、食育の推進に寄与する。	学校給食PR展	2月26日～3月1日	市役所1階美術コーナーにて学校給食をPRする展示を行い、市民の理解を深めた。	来場者数500名	計測困難	/	令和5年度も学校給食展を中止し、学校給食への理解を深める場としてPR展を実施し、パネル展示を行い、給食レシピを市ホームページに掲載した。来庁のついでにみることもできるなどメリットはあるものの、市民に理解を深めてもらうため、ホームページの活用等、さらに検討していく必要がある。
(1)4	歯の寿命を延ばし、健康の保持増進に寄与する。	口腔衛生優良校及び優秀者表彰式	6月22日	口腔衛生優良校は、コロナ禍において積極的な学校歯科保健活動を推進できない中での表彰が公平性を欠くことから、選出を見送った。図画・ポスターコンクール入賞者に対して表彰式を実施した。口腔衛生優秀者は、例年通り各校で選出・表彰を行った。	図画、ポスターコンクール出点数500点	97点	D	令和5年度はコロナ禍明けで学校生活が活発になっていったことから、図画ポスターコンクールの参加が減ってしまう結果になった。口腔衛生優良校の選出は令和3・4年度に引き続き公平性を欠くと判断し実施しなかった。今後は児童生徒の歯の健康に対する意識の向上を目指し活動を推進したい。

重点 目標	(4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策 (4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)4社会貢献活動に対する支援								
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価	
(4)2	防犯対策及び防犯教育の強化。	児童・生徒防犯対策連絡協議会の開催	年1、2回	地域・保護者・学校・警察・行政等で児童・生徒の防犯対策を推進するため、事業等の協議を実施。	1回以上	1回	A	児童・生徒の防犯対策を推進するため、町会・自治会や児童・生徒に関係する市民関係団体及び行政機関を代表する委員と情報共有等を行い、各団体との連携を図ることができた。	
(4)5	交通安全教育の推進。	交通安全教室の実施	年間	市民安全推進課及び警察と連携し、交通安全教室を小学校及び中学校で実施。	63校	63校	A	児童・生徒が、自らの安全のための行動を身に付け、交通事故の被害者、加害者とならないようにするため、交通安全教室を実施した。令和5年度については、計画どおり、63校（小学校54校、特別支援学校1校、中学校8校）で交通安全教室を実施した。計画どおりの実施ができたため、達成度をAとした。	
(4)6	登下校時の防犯対策及び防犯教育の強化。	スクールガード・リーダー	年間	スクールガード・リーダー研修会を定期的に開催するとともに、スクールガード・リーダー及びスクールガード、学校、警察等の関係機関と連携しながら、登下校時の防犯対策及び防犯教育の強化を図る。	13回（研修）	13回（研修）	A	令和5年度については、スクールガード・リーダー研修会を計画どおり13回開催した。研修会では、不審者情報等をまとめた資料をスクールガード・リーダーに配付し、意見交換を行うなど、情報共有等を行った。計画どおりの実施ができたため、達成度をAとした。	
(4)6	防犯対策の強化。	不審者情報の提供	年間	児童・生徒に関わる不審者情報の収集や学校への情報提供及び各関係機関への情報提供を行う。	なし	なし	/	学校からの不審者情報に対し、警察等と連携を図り、速やかに近隣校へ情報提供を行うとともに、庁内関係各課など、関係機関への情報提供を行った。今後も、速やかな情報提供の継続を図る。	
(4)6	防犯対策の強化。	防犯用品の支給	年間	市内在住の就学前児童を対象に、就学時健診時に防犯ブザーと保護者向けの案内文を配付。	なし	なし	/	未就学児童に対して就学時健診時に、防犯ブザーの配付を行った。また、使用方法等の案内文を保護者に配付し、事前に使用方法等の確認、故障等がないか、家庭で確認するよう周知した。	
(4)6	防犯教育の推進。	防犯教育の推進	年間	防犯教育用として小学校1年生に「ふなっこのぼうはん」を配付するとともに、小学校2年生に冊子「ふなっこのぼうはん」を活用した学習を促進し防犯教育の推進を図る。	なし	なし	/	教育委員会で作成した「ふなっこのぼうはん」を各小学校に配付した。各小学校において「ふなっこのぼうはん」を活用した防犯学習を行い、防犯標語である「いかのおすし」を身に付けさせている。また、安全マップの作成を行うなど、児童が「自分の身は自分で守る」対応力を身に付けられるよう指導を行った。	
(5)4	登下校時の防犯対策の強化	スクールガード	年間	登下校における子供を見守るボランティア活動をスクールガード事業と位置付け、腕章・帽子を貸与し、防犯活動を促進。	なし	なし	/	令和5年度の不審者情報の件数については、64件であった。事案内容については、声掛けやつきまとい、露出が多く発生し、時間帯については、下校時の15・16時台が多かった。	

重点 目標	(2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)4スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(2)2	不登校児童生徒の保護者・家庭支援を図る。	リフレッシュ講座	年3回 (6、10、2月)	相談機関の事業内容の紹介や家庭での対応についての講座を開く。	90人	82人	A	第2回目は、サポートルームの卒業生で現在教職に就いている方を講師に迎えた。当事者からの話が聞けて良かったと好評をいただいた。また、参加者アンケートより、第3回目は講演会を実施せず、保護者同士の交流会をメインに実施した。
(4)4	環境に起因する問題を抱える児童生徒の支援を行う。	スクールソーシャルワーカー配置事業	適宜	船橋市立の全中学校区内の26校と市立船橋高等学校に原則週1日スクールソーシャルワーカーを拠点校配置とした。学校(校長)からの派遣申請を総合教育センターで受け、拠点校から該当校へスクールソーシャルワーカーを派遣し、児童生徒・保護者の支援を行う。	155件	251件	A	学校(校長)からの派遣申請を受けて、児童生徒、保護者の支援を行ってきた。前年度より申請件数が大幅に増えており、その役割を十分に果たしている。

重点 目標	(2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(2)2	家庭教育上の悩みや問題をもつ保護者を対象として相談の場を設け、青少年の健全育成に寄与する。	家庭教育相談	年間	子育てや家庭教育に関する悩みや問題をもつ保護者等を対象に市内公民館等を会場にして月2回実施。また、電話による相談も随時受け付ける。相談内容によっては、関係機関等を紹介する。	なし	なし	/	幼児から高校生までの「しつけ」「遊び」など家庭教育上の悩みや問題をもつ保護者を対象として、面接と電話による相談を行った。相談の内容が多岐に渡る場合は、関係各課との連携をとりながら適切に対応することを心がける。
(4)2	子どもたちが主体的に考え、学びに向かう力を育み、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとする。	ふなっこ未来大学	8月22～25日	近隣に理系の学部を持つ大学が複数存在するといった本市の特色を活かして、大学教授や大学生による専門分野に関する講座を実施し、わくわくするような体験機会を提供することにより、子どもたちが主体的に考え、学びに向かう力を育み、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとする。	定員 100% (72人)	定員 72.2% (52人)	B	令和4年度(40人)よりも定員を増やして募集を行ったが、当日の参加者が令和4年度(65人)よりも少なかったため、今後は、定員を見直すことを検討している。事後のアンケートの結果、93%の受講者が「受講前と比べてもっと理科が好きになった」と回答した。(令和4年度は87%)

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	音楽を中心とした船橋の魅力発信。	ふなばしミュージックストリート	10月16～22日	船橋駅周辺複数会場にて、周遊型のライブイベントを開催する。	来場者 6,000 人	10,480 人	A	千葉県誕生150周年記念事業として、規模を拡大して開催した。平日のバックストリートミュージックから始まり、ライブパフォーマンスは初めて土日通しの2日間開催した。また、新たな企画として、学生バンドコンテスト、あおぞらカラオケライブを実施した。
(1)1	音楽を通じた世代間交流。	音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭	2月4日	船橋アリーナにて、世代・ジャンルを超えた音楽祭を開催する。	来場者 2,000 人	1,734 人	A	千葉県誕生150周年記念事業として規模を拡大して実施した。当日は雨と雪の悪天候であったが、市内学校で管弦・吹奏楽部に在籍していた卒業生達による「千人の音楽祭スペシャルオーケストラ2023」ステージの企画演奏や、市内小中学校から「船橋愛」をテーマに募集した言葉を元に実行委員会で作成した新たなテーマソング「船橋讃歌～千人の音楽祭に寄せて～」をフィナーレにて初披露した。
(1)1	演奏の場の提供と地域の活性化。	まちかど音楽ステージ	通年	「まちかど」で市公認の路上ライブを行い、市民に音楽を気軽に楽しめる場を提供するとともに、ストリートミュージシャンや音楽団体の育成、交流を図る。	なし	なし	/	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度以降事業を中止していたが、令和5年度より事業を再開し、5月から12月にかけての最終金曜日にステージを実施した。
(1)1	豊かな心や創造性を育む。	文化活動普及事業	通年	審査のうえ登録された芸術家等を小・中学校へ派遣し、子供たちに身近な場所で質の高い文化活動の体験の場を提供する。	20校	20校	A	今年度より、事業の拡大を図るために公益財団法人文化・スポーツ公社にコーディネート業務を委託し、事業実施校を20校に拡大して実施した。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)3青少年の居場所づくりの推進 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策 (5)1青少年関係機関・団体への支援							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	青少年団体と一般参加の子供たちが交流し仲間づくりを図る。	第56回船橋市青少年交歓大会	10月29日	運動公園にて船橋市・船橋市教育委員会・船橋市青少年少女団体連絡協議会・船橋市青少年相談員連絡協議会・船橋市国際親善の会で実行委員会を組織し、各団体の子供たちと一般参加の子供たちが一堂に会し、スポーツなどのイベントを通して交流を深める。	10,000人	5,036人	C	船橋市運動公園において、他の青少年に関わる団体と連携・協力し、リアル野球盤、モンキーブリッジ、軽スポーツ、消防車写真撮影、巨大だるま落としなどを行い、青少年の交流を深めることができた。
(1)1	他の地域の青少年との交流を体験し、豊かで健全な心身を培う。	船橋市・津別町青少年交流事業	8月6～9日	船橋市の子供たちが津別町を訪問し、体験プログラム等を通して、異なる生活環境の中で育つ両地域の子供たちが交流を図る。	28人	28人	A	北海道網走郡津別町を訪れ、津別町青少年との合同体験活動等を実施。生活環境の異なる地域の青少年と、ホームステイや様々な体験活動を通じて、相互理解と地域間交流を推進した。
(1)1	集団野外活動の体験によりたくましい青少年を育成する。	第58回船橋市青少年キャンプ	7月28～30日	「山梨県立八ヶ岳少年自然の家」にて、市内小中学生を対象に、野外炊飯・キャンプファイヤー等を実施し、団体生活の規律と連帯意識の高揚等を図る。	90人	83人	A	今年度は「山梨県立八ヶ岳少年自然の家」において実施。子供たちはキャンプファイヤー、飯ごう炊飯などを通して仲間の大切さや自然の素晴らしさを体験した。
(2)1	野外活動をとおり家族や参加者同士の交流を図るとともに、船橋市立大神保青少年キャンプ場の利用促進を図る。	青少年キャンプ場イベント	8月～1月	船橋市立大神保青少年キャンプ場にて、市内小学生を含む家族等を対象に、プレーパークやデイキャンプ等の様々な体験活動や工作教室等を実施する。	6事業 11回 400人	6事業 11回 437人	A	参加者からも大変好評であり、青少年の体験機会の提供、親子の絆を深める機会づくり、キャンプ場の利用促進という目的を達成することができた。
(4)2	各青少年団体の連帯促進・行政との連携強化を図る。	船橋市青少年少女団体連絡協議会	年間	各青少年団体の連帯促進、育成を図るとともに、行政との連携を強化するために、船橋市青少年少女団体連絡協議会を組織・運営する。	7団体	7団体	/	なし

(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	年間	「地域の子供は地域で育てる」という観点から県の少年の日を「ハッピーサタデー」として、各公民館において地域団体等と連携を図り、様々な事業を行う。	26公民館 70,000人	26公民館 59,238人	A	学校完全5日制の土日の活用に伴いスタートした事業。不特定多数参加型の事業がコロナ禍を経て定員を設けた比較的少数参加型のものへ切り替えられていることが人数減少の要因と考えられるが、全ての公民館においてハッピーサタデーを実施し、青少年の居場所づくりの推進に寄与している。
(4)5	青少年が安心して生活できる社会環境の実現を目指す活動を支援する。	青少年健全育成のための啓発活動	年間	「青少年の環境を良くする市民の会」が中心となって活動している社会環境浄化運動を支援するため補助金を交付する。	なし	なし	/	青少年が安心して生活できる社会環境の実現のため、啓発活動等の実施に有効活用された。
(4)5	ネット環境に対する意識や対応強化。	インターネット安全利用講座	2月	青少年が、携帯電話やスマートフォンとインターネットを適切に利用し、トラブルに巻き込まれないよう保護者啓発の講座を開催する。	2回 計80人	2回 計59名	B	令和5年度は2月10日・2月24日の2日間で実施し、10日に35名、24日に24名の方の参加があった。事業実施後のアンケートでは、当講座に大変満足という回答が多かったが、開催時期については夏を希望する声が多くあったため、今後検討していく。
(5)1	地域で様々な体験活動ができるよう各種団体を支援する。	各種団体健全育成補助金交付事業	年間	市内青少年団体をはじめ各種団体が行う健全育成事業に対し補助金を交付する。 (青少年団体7団体・青少年育成団体3団体・青少年育成会40団体)	65団体	50団体	B	青少年団体7団体・青少年育成団体3団体・青少年育成会40団体の計50団体に交付し、各種団体の健全育成事業に有効活用された。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより事業を実施する団体が増え、交付団体が昨年度実績から2団体増加した。

生涯スポーツ課

重点目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (4)1施設の整備と拡充							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)2	スポーツの普及振興及び市民の健康増進に資する。	学校体育施設開放事業	4月～3月	学校教育に支障のない範囲で登録団体等に開放する。	なし	なし	/	学校教育に支障のない範囲で運動場・体育館等を登録団体に開放しスポーツレクリエーションの振興と体力づくりの高揚を図った。
(1)2	広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。	2023船橋市民マラソン大会	11月12日	ファミリーペアの部(宣言タイムレース)：2km、小学生(男女)：2km、中学男子の部：3km・5km、中学女子の部：2km・3km、一般男子の部：5km、一般女子の部：3km、高校男子の部：5km、高校女子の部：3km、マスターズ男子(40歳代)(50歳以上)の部：3km、マスターズ女子(40歳以上)の部：2km	なし	なし	/	本大会では、ファミリーペアの部への変更や小学生の部の新設などを行い、前回大会(令和4年：609人)と比べ完走者が747人と大幅に増加した。子どもから高齢者までの13部門で多くの走者が健脚を競い、活気のある大会となった。

(1)2	広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。	第68回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会	1月14日	運動公園から総合体育館までの公道を走るコース 中学男子・高校男子・一般男子： 19.9km（6区間）	なし	なし	／	4年ぶりの開催となった本大会では、中学校の部24チーム188名、高等学校の部8チーム64名、一般の部30チーム219名、合計62チーム471名の参加となった。公道でのレースに警察や消防をはじめ、各中継所やスポーツ団体等の協力を得て、事故なく終えることができた。
(1)2	広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。	第42回船橋市小学生・女子駅伝競走大会	2月3日	小学校男女(6区間)、中・高校女子、一般女子、(各5区間)運動公園内周回コース	なし	なし	／	本大会では、小学校52チーム、中学校24チーム、高等学校6チーム、一般3チーム、合計85チーム、742名の走者が健脚を競った。昨年より参加者数も増え、活気のある大会となった。
(1)2	体力の向上とスポーツの振興及び各種目の普及を図る。	春季・夏季市民体育大会 秋季市民体育大会	3月～9月 9月～3月	小・中・高校・一般を対象に39競技について、春季・夏季大会、秋季大会を開催する。	なし	なし	／	春季・夏季大会では31競技（27,571名が参加）、秋季大会では35競技（19,152名が参加）を実施した。新型コロナウイルス感染症への対策が緩和されたこともあり、実施競技数及び参加者数は前年度より向上した。
(1)2	スポーツへの関心と理解を深め、子どもから大人までスポーツに触れあえる環境づくりを推進する。	スポーツ健康都市宣言40周年記念事業	7月9日 10月9日 1月20日	・スポーツ講演会 ・スポーツフェスタ ・市立船橋スポーツフェスティバル	なし	なし	／	アメリカ男子体操チームと市立船橋体操部の合同練習一般公開、アメリカ体操協会富田氏と東京オリンピック男子体操金メダリスト橋本大輝選手をお呼びしたスポーツ講演会（163名が参加）、子供から大人まで誰もが様々なスポーツを楽しめるスポーツフェスタ（延べ5,143人が参加）、市立船橋の生徒が先生となり子供たちにスポーツの楽しさを伝える市立船橋スポーツフェスティバル（約700人が参加）と様々な角度から魅力あるスポーツイベントを実施することができた。
(4)1	スポーツを行うための環境を整備する。	法典公園球技場改修工事	10月～3月	・球技場人工芝の張替えを行う。 ・防球ネットを新設する。 （既存防球ネットより7m程度高いもの） ・近隣住民に支障をきたしていた樹木の抜根を行う。 ・球技場内の照明をLED化する。	なし	なし	／	予定通りの改修工事が完了し、芝の張替えを行ったことから利用者満足度が向上している。

重点 目標	(4)1施設の整備と拡充 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(4)1	10代向けの資料の充実を図る。	YA コーナーの充実	年間	図書館に設置している10代の利用者向けコーナー（YA コーナー）の充実を図る。積極的に資料を収集するとともに、興味を持ってもらえるような資料展示を行っていく。	3館 21回	4館 39回	A	資料の貸出状況をもとに、利用者の傾向を踏まえて購入図書を選定を行った。新刊を配架した際には関連本をコーナー入り口に展示した。また、近隣中学校の授業で作成したポップと関連本を展示した。
(4)3	10代の読書推進の向上を図る。	利用者参加型の掲示	年間	コミュニケーションボードを活用し、利用者同士の交流を図れるよう、利用者参加型の掲示を行っていく。	3館 20回	4館 27回	A	各図書館に設置したコミュニケーションボードを活用して、定期的にテーマを提示し、利用者からの投稿を掲示した。投稿内容をホームページとXで紹介した。また、利用者から投稿されたおすすめ本について紹介文をパネルにしてコーナー内に展示した。
(4)3	10代の読書推進の向上を図る。	中高生への情報誌の発行	年間	YA コーナーの担当者によるおすすめ本や図書館で開催するイベントの紹介、コーナーの活用方法等を掲載した「YA だより」を発行し、全図書館、公民館等図書室、市内中学校・高等学校に配布することで、図書館の積極的な活用につながるよう努める。	4回	10回	A	10代向けの情報誌を西図書館で4回、東図書館で6回発行し、全図書館、公民館等図書室、市内中学校・高等学校に配付した。利用者から投稿されたイラストなどを情報誌に掲載し、利用者参加型の形式をとった。YA関連の企画や講座について情報誌に掲載した。
(4)3	中高生への情報発信	中高生への情報発信	年間	図書館ホームページ内のYAページやXを用いた情報発信をしていく。	4館 57回	4館 90回	A	コミュニケーションボードのテーマや利用者からの投稿をホームページとXで定期的に紹介した。Googleビジネスプロフィールを用いて情報発信を行った館があった。
(4)3	10代の図書館利用の向上を図る。	10代の利用者向け事業の実施	年間	10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施する。	4回	4回	A	勉強のモチベーションアップや読書推進を目的として人気チューバーを講師に、ノート術の講座を西図書館で実施した。また10代の利用者が将来を決めるために役立つような職業に関する講座を中央図書館で開催した。（介助犬訓練士）。更に学校と連携した企画展示を開催した（東図書館・薬園台高校コラボレーション企画展示）。また若い世代が活用しているXを活用し、オンライン投稿企画を西図書館で開催した。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	障害者の交流と社会的自立支援。	青年教室「若草の会」	4月～2月	知的障害を持つ青少年を対象に、スポーツ大会、カラオケ大会、趣味講座等を実施し、障害者同士の交流と社会的自立への支援をする。	9回	9回	A	知的障害者の自立と交流の場として、特別支援学級の先生やボランティアの協力で毎月開催している事業である。会員自身が担当役員となり、積極的に会の運営に取り組んでいる。参加者も興味をもって学習に参加している様子である。趣味講座、スポーツ体験や運動会など多種多様な内容で実施された。自立への学習と会員同士の交流ができる場として、今後も継続し実施していく。
(1)1	地域の子供たちの交流。	こどもまつり	6月17日	遊びやゲームなど、体験活動を取り入れ、地域の子供たちの出会いと交流の場とする。	なし	なし	/	コロナ禍以降初めてのこどもまつりであった。様々な地域団体に協力いただき、子供が楽しめる企画（ストラックアウトやキーホルダーづくり、人形劇等）を実施した。公民館内外に響きわたる賑やかな声が、子供たちにとって楽しい交流の場になったことを物語っている。
(1)1	青少年の健全育成。	夏休みキッズダンス教室	7月～8月	ダンスを通じ子供たちの情操を豊かにし、健やかな育成を図る。	3回 20人	3回 19人	A	夏休みの期間を利用して、ダンスを通じ子供たちの情操を豊かにし、健やかな育成を図ることを目的に当教室を開催した。内容はヒップホップダンスで3日間のレッスンで一曲振付を完成させて、最終日は保護者を対象に練習の成果を発表した。今回の教室で子供たちはダンスによる身体表現を学習するとともに、達成感や連帯感を養うことができた。
(1)1	青少年の健全育成。	巡回児童ホーム（小学生わくわくタイム）	5月～1月	地域の小学生が集まる場として、簡単な工作やゲーム大会等を通して児童同士の交流、社会性や協調性を育む機会とする。	5回	5回	A	地域の小学生が集まる場を提供し、集団でのゲーム大会などを通して児童同士が交流しながら社会性や協調性を育成することに寄与することができた。当公民館の地域には児童ホームがないことから巡回児童ホームは貴重な機会であり、今後も継続していきたい。
(2)2	家庭教育の推進。	就学時健診等における子育て学習	11月	小学校の就学時健診の際に、子供の成長発達への理解や生活習慣の大切さなど、家庭教育を見直す学習機会として、家庭教育の充実を図る。	3回	3回	A	保護者の大多数が参加する場での子育て学習は、普段なかなか子育て講座に参加できない保護者にとって貴重な場であったと考えられる。実施後アンケートでの保護者の満足度は高く、限られた時間ではあるが子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直す良質な学習機会を提供することができた。

(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	中央公民館本館家庭教育セミナー	3月16、23日	「親子のコミュニケーション」をテーマに、ロールプレイを通じた参加者同士の体験的な学びを支援し、実践的な知識を身につける。	3回	2回	B	親子のコミュニケーションをテーマに「ほめ方」と「叱り方」の2つの視点から講座を企画した。評価に値する点としては、昨年と比較し事業の周知方法を工夫したことで参加者数が伸びたことだ。さまざまな年代、母親、父親、祖父母、子どもと関わる機会の多い職場に勤めている方など、さまざまな属性の方にお越しいただいた。参加者の満足度も高く、需要も高いと感じたため、今後も継続して地域の支援に取り組みたい。
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	家庭教育セミナー（市内全26館分）	年間	市内のPTAと連携し地域の連帯意識や教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実を図るためのセミナーを開催する。	34事業	29事業	A	地域社会に対する関心を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実には寄与することを目的に、学校、地域の団体等と連携し実施した。親子のふれあい、自然体験学習に関する事など、幅広く学習機会を提供することができた。
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診等における子育て学習（市内全26館分）	11月	引き続き全市立小学校で翌年新1年生となる幼児をもつ保護者を対象に子育て講座を実施する。	市内全市立小学校55校	54校	A	一部小学校の都合により、全市立小学校における実施は達成できなかったが、保護者の大多数が参加する場での子育て学習は、普段なかなか子育て講座に参加できない保護者にとって貴重な場であったと考えられる。実施後アンケートでの保護者の満足度は高く、限られた時間ではあるが子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直す良質な学習機会を提供することができた。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	4月～2月	毎月第3土曜日を「ハッピーサタデー」とし、子供たちの豊かな心や健全な精神を培う。	12回	11回	A	今年度のハッピーサタデーにおいても、工作や運動、料理に関する講座など、幅広く子どもたちが楽しめそうな企画を実施した。家で一人ではできないものや普段なかなか体験できないことを企画し、どれも盛況であった。子どもたちの居場所作りに貢献できるよう、今後も参加してよかったと思ってもらえる事業を考えていきたい。

西部公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	3学年の生徒を対象とした郷土史学習の一環として、自分たちの住む地域について学習する機会を提供する。	中山まちのむかしといま	6月21日	小栗原小学校3年生を対象とした郷土に関する講義	1回	1回	A	中山の昔の写真を見ながら歴史について説明していただいた。現在の比較写真では、全然違う風景にとっても驚いていた。授業終了後には生徒から講師の先生にお礼や質問のお手紙が届き、その質問全てに丁寧に回答していただいた。自分の住む地域を知る機会を提供できた。

(1)1	近年人気の職業である声優の体験をとおして、将来の職業を考えるきっかけとし、また、仲間づくりの一環とする。	みんなのあこがれ！声優体験	7月25、27～28日	小学生を対象とした声優体験講座	20人	25人	A	昨年度から実施した事業。今年度は広報ふなばしで募集をした効果で沢山の申込みがあり、定員を増やし開催した。初日から全員大きな声で発声練習を行っており、最終日の発表では保護者の前で堂々とした姿を見せていた。また、文化祭の司会を希望する子どもも多く、次回（他の事業）に繋がる良い事業であった。
(1)1	遠隔地の恐竜博物館と公民館をオンラインで繋ぎ、展示してある恐竜の骨格を観ながら講話を聞くことで普段は行けない博物館を楽しむ。	オンライン博物館～恐竜のなぞを知ろう～	8月23日	恐竜についての講話、骨格や化石の観察ポイント	30人	20人	B	当日キャンセルが多く、定員を下回る参加者数となってしまった。事前に博物館と接続の確認をしたため、当日は滞りなくオンライン中継で講座を受けることができた。博物館に保管されている恐竜の骨などの化石を借用し、学芸員からの説明を受けながら実際に手で触り観察をした。恐竜好きの子どもたちは化石を虫眼鏡で見たり、博物館にある恐竜の骨格についての質問をしたりと楽しく参加していた。
(1)1	紙のリサイクルについて正しい知識を学び、分別やリサイクルの大切さについて理解を深めてもらう。	楽しく学ぼう♪紙のリサイクル	11月4日	紙のリサイクルについて 手すきはがき作り	20人	7人	D	定員20名に対し参加者は7名と見込んだほどは集まらなかったが、少人数で落ち着いて取り組めたことで満足感が高かったようである。また分別やリサイクルのについての意識を変える良い機会であったとの意見があった。
(1)1	地域の子供たちが、様々な文化活動・交流・体験等をとおして成長し、豊かな心を育む。	こどもフェスティバル	3月2日	青少年団体の発表や遊び体験等	2,000人	2,833人	A	西部公民館で活動している青少年団体の発表の場であり、会場を埋め尽くすほど多くの観覧者に見守られながら堂々と発表していた。公民館や児童ホームの各部屋では社会教育関係団体などの協力を得てさまざまな遊びや体験を用意して実施し、模擬店や体験コーナーでは行列が出来るほど多くの来館者で賑わった。また、スタンプラリーを導入したことにより、将棋体験や英語ゲーム体験のコーナーに積極的に参加する子供たちの姿が見れた。

(2)1	少子化・核家族化が進んだ結果、子育てに対しての不安や悩みを持つ保護者が増えており様々な諸問題が生じている。保護者が集い、交流・相談の場を設けることで、不安や悩みを解消する場とする。	西部子育てサロン	5月～3月	親子フィットネス、コンサート、工作等	12回	12回	A	運動や工作、コンサートなど創作工夫を凝らした内容で毎月様々なイベントを計画し、親子で楽しんでもらってる。また、保護者同士での会話も見られ、地域の親子の交流の場としても機能しているため今後も継続していく。
(2)1	本を通して子どもと保護者が楽しいひとときを分かち合い、ふれあう機会を提供することで、幼少期の子どもが健やかに育つための環境づくりの一助とする。	本はともだち	4月～3月	本の読み聞かせ、工作等	11回	11回	A	絵本の読み聞かせや紙芝居だけでなく、ふれあい遊びや簡単なクラフト工作もあり、充実した内容となっており、本を通しての親子のふれあいやものづくりに興味を持ってもらう機会となっている。毎回一定の参加者もおり今後も継続していく。来年度はコロナ禍前に実施していた事業の最後に参加者同士の交流の時間を設ける予定である。
(2)1	親子でのスキンシップを通して心身ともにリフレッシュを図るとともに、子どもとのかかわりを深める機会とする。	親子で楽しもう	6月～2月	ママのボディメイク&ピラティス	3回	3回	A	全3回ピラティスを実施し多くの親子に参加してもらった。0歳児はタッチングを中心に、1～2歳児は一緒にボール遊びをするなど親子で笑顔になり、楽しんで体を動かす様子がみられた。ボディメイクを意識するきっかけともなり、乳幼児と一緒にリフレッシュする機会を提供できた。
(2)2	小学校に就学する児童の保護者を対象に子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	就学時健診等における子育て学習会	11月17日	小栗原小学校の保護者に対しての、子育て講演会	1回	1回	A	子どもを理解する方法として、親の声掛けの仕方など具体的に聞いて大変勉強になったとの意見も多かった。就学前に、スクールカウンセラーに親しみをもってもらう意味でも有意義であったと思う。

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	西部公民館本館家庭教育セミナー	7月1日 10月7日 12月7日	小学校保護者を対象にした家庭教育に関する学習会	3回	3回	A	「子どもの可能性を伸ばす」を本セミナーのテーマに全3回の公演を実施した。全3回講座とも講座内や終了後に講師への質問が多く、参加者の関心の高さが感じられた。第1回目と2回目は土曜日に実施したため父親の参加も多くあった。第3回目は当日会場に来ることが難しい方も講座を受けられるよう終了後に2週間ほど動画配信をしたことにより、全3回で一番の参加者数となった。共働き世帯が増えてきたこともあり、家庭教育セミナーは特に今の時代に合った事業形態を検討する必要性を感じた。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成	ふなばしハッピーサタデー	5月～3月	工作、スポーツ雪合戦、ダンス体験、バレンタインクッキング等	11回	9回	A	工作や運動、ゲームなど、様々なイベントを行った。様々な体験を個人で取組むことはもちろん、参加する仲間たちと一緒に取組むことの大切さや楽しさを感じてもらいたい。これからも子供の居場所作りとなるイベントを計画したい。

東部公民館

重点目標	(1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)3	中学生が将来の社会生活を送っていくうえでの進路選択の視野を広げる。	職業講演会	11月22日	前原中学校の生徒を対象とした職業について考える講演会を実施する。	250人	300人	A	前原中学校2年生を対象に3年ぶりに対面で行うことができた。学校より希望の職種の中から「イラストレーター」「理学療法士」「企業（建設）」の方々を招き、中学生の将来の職業選択に向けて視野を広げる機会を提供することができた。今後も生徒の希望に沿った講演会を実施していきたい。
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、こころ豊かな家庭教育の充実	二宮小学校PTA家庭教育セミナー	12月1、20日 1月27日	二宮小学校の家庭教育に関する学習会を実施する。	60人	184人	A	今年度は「未来の親子のために今できること」をテーマに二宮小学校PTA研修委員とともに企画・運営した。「心肺蘇生法・AEDを学ぼう」、「生と性の健康講座」、「親子de安心護身術」の計3回実施。いずれも親子の命を守るための大切な内容であり、貴重な学びを提供することができた。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	年間	軽スポーツフェア・夏まつり・工作・バスハイク・こどもエコ教室・子ども春まつり等を実施する。	7,000人	2,715人	D	今年度は東部公民館の大規模改修工事により10月から休館となったが、前原児童ホーム等の協力を得ながら全10回実施することができた。久しぶりのバスハイクでは、筑波山を登り、子供たちの達成感に満ちた笑顔を見ることが出来た。今後も各団体の協力をいただき、子供たちの体験の場を提供していきたい。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目 的	実 施 事 業	実施時期	実 施 内 容	目標値	実績値	達成度	総 合 評 価
(1)1	青少年の健全育成及び異学年の児童同士が交流できる場の提供。	巡回児童ホーム小学生わくわくタイム	5月27日 7月22日 10月7日 11月25日	簡単な工作、ゲーム大会、集団遊び。	4回	4回	A	小学1年生からできる工作やゲームを各種用意しており、参加児童たちは児童ホーム職員の巧みな指導で工作等に挑戦し、満足して笑顔で帰っていく様子を見ることができた。また、普段接することが少ない異学年の児童同士で協力する場面も多々見受けられた。この地域には必要な事業である。
(1)1	青少年の健全育成及び夏休み期間中の読書の奨励。	夏休み読書感想文教室	7月25、27、29日	本の選び方や読書感想文の書き方の基礎や上達のコツを学ぶ。	10人	22人	A	今年度は、講師との事前打ち合わせにより、短期集中で作文を書き上げることを目標に1週間に3日間の日付を設定し、実施した。講師は3名お越しいただき、参加者2～3名につき、担当講師が1名つく形で手厚い指導をしていた。小学生の子供達にとっては、1回2時間という時間は、とても長い時間であったかと思うが、各回子供達は集中力を切らすことなく、取り組んでいた。最終日は、ほとんどの子供達が作文を書き上げることができていた。夏休みの宿題の中でも、読書感想文を苦手とする子供が多いようなので、引き続き学習支援の一環として実施していきたい。
(1)1	豊富小学校のクラブへ地域住民の方を講師として派遣し、異年代の触れ合いの場を提供する。	クラブ活動支援事業	6月21日 9月27日 11月22日 12月20日 1月31日 2月14日	豊富小学校のクラブ活動時に、北部公民館にて活動を行うサークルによるウクレレ演奏の指導を行う。	なし	なし	/	6回にわたって講師とウクレレサークルとの指導により「キラキラ星・ミッキーマウスマーチ」の2曲が弾けるようになった。主旋律演奏とコードによる伴奏の仕方も学び、興味のある児童は両方をマスターすることができた。この時間にウクレレを借りて練習するのみなので、大きな上達は見られなかったが、どの児童も曲を仕上げていく楽しさを経験できたようだ。
(1)1	11月開催の文化祭の展示物の一つとして、公民館の玄関や窓ガラスに絵を描き、来場者に楽しんでもらえる催し物とする。また、参加者同士の交流や異年齢の仲間作りの場とする。	公民館に絵を描こう（新規）	10月14日	公民館の玄関や窓ガラスに絵を描く	15人	14人	A	他館で実施し、好評を得ていた同事業を当館でも実施できるよう、内容を変更し実施した。11月に開催された文化祭での展示物の一つとして、子供達には事前にテーマを設けて、自由に絵を描いてもらった。普段は、描くことのできない大きな窓ガラスに子供達は楽しみながら、来館者が見ても楽しんでもらえる絵を描き上げた。完成した作品は、約1ヵ月展示したところ、ご覧になられた来館者から「とても素敵な作品」と喜んでいただけた様子であった。参加者、来館者ともに大変好評を得た事業であった為、来年度も時期や作品のテーマを変えて実施していきたいと思う。

(1)3	管区内にある小・中・高・特別支援学校の協力の下、地域の連携を計り、児童・生徒による自主活動の推進と異年齢交流。	小・中・高・特別支援学校との事業連携 夏休みボランティア体験	8月2、10、20、24日	管区内にある小・中・高・特別支援学校の協力を得て、児童・生徒が文化祭や主催事業での協力スタッフとしての参加やステージ発表などを行う。	3回	4回	A	今年度初めての試みとして、中・高校生を対象とした、ボランティア体験を実施。小学生を対象とした事業にボランティアスタッフと参加していただいた。最初は小学生の参加者に対して、どのように接したらよいか、対応に困っている様子が見受けられたが、大人スタッフの対応を見ながら、自分達で接し方を考え、事業の後半では小学生の子供達に声掛けをしていた。また、業務内容も自分達でしっかりと理解し、積極的に作業に取り組んでいた。社会貢献の第一歩として良い機会と考えているので、内容を改善し、引き続き実施していきたい。
(1)3	船橋豊富高校の協力の下、地域の連携を計り、生徒による自主活動の推進と異年齢交流。	おはなし玉手箱&作って遊ぼう	2月17日	本の読み聞かせ、工作	1回	1回	A	今年度は、読み聞かせだけでなく、手作りおもちゃを使って遊ぶ内容も加え、高校生との交流の時間を多くとった。読み聞かせでは、図書委員会の手作り絵本「花さかじいさん」を読んでもらった。その後、手作りおもちゃを使ってバトミントンとゴルフのまねして遊んだ。年上のお兄さんお姉さんは小学生を大事に扱ってくれたため、小学生は気分よく遊んでいた。高校生からも「また、一緒に遊びたい。すごく楽しかった。」と言う感想をもらった。多くの子供の参加を望むには、冬の時期の開催は学級閉鎖等が発生するため、違う時期の開催を考えた方が良いと思われる。
(2)1	親子のふれあい及び保護者同士の情報交換の場の提供。	巡回児童ホーム 0・1・2歳ぽかぽか広場	5月12日 7月22日 9月8日 11月25日 2月9日	親子のスキンシップ遊び、紙芝居、保護者同士の情報交換。	5回	5回	A	児童ホーム職員の慣れたサポートにより、乳幼児と保護者はリラックスしてこの時間を過ごすことができた。また育児相談や保護者同士の情報交換の場としても機能しているため、毎回のようにより一定数を確保することができている。
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	北部公民館本館家庭教育セミナー	6月16日 12月15日 3月8日	リズム体操、親子でリトミック、歌とパネルシアターなど	4回	3回	B	音楽を使ったリズム体操、パネルシアター・リトミック・打楽器を使ったリズムあそびを基本に、春夏秋冬を意識した内容を親子で楽しむ構成であった。4回のテーマは6月「あまだれぼったん」、10月中止、12月「メリークリスマス」 3月「春よこい」である。選曲もこのテーマに合っており、終始雰囲気盛り上げていた。 たまごマラカス、タンバリンを使ったリズム遊び、本物の楽器に触れるなど、子供に色々な興味を持たせたり、楽しませたり、飽きることのない内容で、子供達の健全な成長に寄与することができた。また、講師のシロフォン演奏も素晴らしく保護者も大変満足していた 楽しく遊ぶ体験や保護者同士が仲良く情報交換をするなど、有意義で楽しい時間を提供することができた。

(2)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診等における子育て学習	11月1日	子育てと親の役割	1回	1回	A	元校長である講師ならではの目線で、子供とのかかわり方や子供に寄り添った声かけなどの講話をいただいた。アンケートでは、参加者全員から「とても参考になった」「やや参考になった」との回答をいただき日頃の子育てについて振り返るきっかけにすることができた。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月13日 7月15日 8月2、10、20、24日 9月24日 10月28日 12月9日 1月20日 2月24日 3月16日	子どもエコ教室等	12回	12回	A	地区で活躍されている団体（スポーツ推進委員・青少年相談員・生涯学習コーディネーター・アースドクター）の協力をいただき、子供達に年間を通して楽しんだり興味を持ったりできる内容を提供することができた。1月の事業は学級閉鎖と重なって“参加者が集まらない・欠席者が増える”というアクシデントにみまわれ残念であった。来年度はパラスポーツ体験、環境を考えた事業など、今以上に取り入れたいと考えている。
(4)3	学習意欲がありながら、学習場所が確保できない小・中・高校生の方を対象に、公民館の空き部屋を夏休みの学習場所として開放する。また、公共施設としての有効活用を図ると共に、児童・生徒の学習場所確保に利便を図り、学力の向上に寄与する。	とよとみスタディスペース	7月21～30日 8月18～31日	小中高校生を対象とした学習場所の開放	なし	なし	/	空き部屋の開放事業の一環として、小中高校生を対象とし、夏休みの学習場所の提供を行った。当館では初めての実施だった為、周知があまり行き届かず利用者は少なかったが、何度も繰り返し利用して下さる方もいた。また、「今回は利用できなかったが、次回は利用したいので、引き続き実施してほしい。」と地域の方からのお声もいただいた。実施期間や対象者を見直し、今後も実施していきたい。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	夏休みの課題に役立つような作品を制作し、物作りの楽しさも体験できる教室を開催する。	夏休み子供工作教室	7月26日	レジンを使ったマリンボード作り	20人	11人	C	海砂や貝殻、亀や魚のフィギュア等をプラ写真盾(4-6年)や木箱(2-3年)にレイアウトし、透明や青色濃淡のレジン樹脂を上掛けして固定。子供たちそれぞれが思い思いの構図でA5判ほどのレジンアートを制作。夏らしい情景の作品を作ることができ参加者は大変喜んでいて。制作工程の関係で定員が12名までとなり残念。
(1)1	化石に関する学習と発掘体験を通して、自然科学と千葉県自然への興味関心を醸成する。	化石発掘体験	7月22日	古代の動植物と千葉県内の地層・化石に関する学習及び化石発掘体験。	15人	14人	A	当日1名体調不良での欠席があったが、定員15名を大きく超える37名の応募があった。前半の古代動植物に関する学習の時間では座学に飽きてしまう姿もあったが、講師の用意したクイズや写真などで興味を取り戻していた。体験の時間では参加児童全員が化石を見つけようと夢中になっていた。中には非常に珍しい化石を発掘できた児童もあり、皆何かしらの化石を持ち帰っていった。
(1)1	船橋二和高等学校書道部の顧問と部員を講師に招き、書初め指導を通して異年齢交流と仲間づくりの機会を提供する。	子供かきぞめ教室	12月16日	書初め指導	16人	9人	C	小学校の書初めを管区内高等学校の書道部生徒に指導してもらい、小学生異年齢交流と高等学校の地域貢献活動としている。児童、生徒とも昨年の参加者がおり、一年間の上達をほめるなど和気あいあいの中マンツーマンの指導と交流が行われた。次年度も開催していきたい。
(1)1	読書離れの傾向にある小学生に対し、文章構成や表現方法について学ぶ機会を設けることで、文章表現への苦手意識の克服と表現力向上を目指す。	親子で楽しむ読書感想文	7月27日	学校図書館スーパーバイザーを講師に迎え、読書感想文の書き方に関する学習機会を提供する。	10組	5組	C	小学校低学年を対象として開催。保護者は作品の内容について子供に質問し、その回答を記述したメモをもとに子供が読書感想文を書いていくという流れで行った。質問の仕方や子供のどんな考えについても否定しないといったコツを学び、親子で協力し、和気あいあいとした様子で読書感想文に取り組んでいた。次回は高学年の対象も検討する。

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	二和小学校PTA家庭教育セミナー	9月～1月	家庭教育の充実を目指した学習。	3回 60人	3回 140人	A	第1回「思春期、反抗期を迎える子どもの接し方」、第2回「給食試食会」、第3回「いのちのセミナー」と全3回のセミナーを二和小学校PTAと共催し実施した。コロナ禍により減らしていた実施回数を3回に戻すことができたが、セミナー全体を通して参加保護者数が伸び悩んだ。参加保護者をどのように増やしていくかという課題に、PTAとともに取り組んでいく必要がある。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	三咲小学校PTA家庭教育セミナー	12月～1月	家庭教育の充実を目指した学習。	3回 60人	2回 1,042人	A	第1回「生と性の健康講座」、第2回「和太鼓コンサート」と全2回のセミナーを三咲小学校PTAと共催し実施した。どちらも参加保護者からのアンケート結果の満足度は高く、毎年開催してほしいとの好評を得た。参加保護者をどのように増やしていくかという課題に、PTAとともに取り組んでいく必要がある。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー	5月～3月	体育レクリエーション、菓子作り、工作教室、他。	10回	10回	A	調理体験2回、運動系3回、工作2回、観劇1回、和太鼓・地域かるたの体験各1回の年間10回開催。管区内(三咲・二和小学校)の児童1,300名にチラシを配布し、保護者に船橋市電子申請・届出システムにより応募していただいた。内容により応募する学年が偏ることもあるが、ハッピーサタデーは子供たちに良い体験と交流の場となっている。3月の事業は学級閉鎖の影響により日程を後送りしての開催となった。

三田公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	子ども達が職業について考え体験する	職業研究講座 夏休みに楽しく学ぼう！看護師のお仕事～お話とお仕事体験～	8月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師ってどんな職業？(紹介・お話) ・聴診器で音を聴いてみよう！(体験) ・体のしくみをのぞいてみよう！ ・工作(肺の動くしくみの実験) ・ナース服着用体験 	1回	1回	A	まずはじめにドローン映像による東邦大学内の紹介後、看護師の資格や仕事内容について説明。「看護」という言葉は手と目(看)を使ってまもる(護)仕事だという事や、体をみる方法(問診・視診・触診・打診・聴診)などについてクイズを交えながら説明。その後は自分の脈をとったり、2人1組になり聴診器で心臓や腸の音を聞きあつた。休憩後は、ペットボトルと風船とストローを使った工作で、肺の動く様子を再現した。最後に希望者はナース服の着用体験をして終了。心臓の音をはじめて聞いた、という声もあり、看護師の仕事について体験しながら楽しく学ぶ事が出来た。

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	三田中学校PTA家庭教育セミナー	9月26日 11月1、9日 3月1日	助産師による「命の授業」（保護者向け）、思春期でもあきらめない親子の信頼関係の深め方（保護者向け）、中学生が陥りやすいSNSなどのネットトラブル（1年生向け）、助産師による「命の授業」（3年生向け）	3回	4回	A	1回目は保護者対象で、思春期の男女の「からだ」の変化から子どもの性器の洗い方まで詳細に説明し男の子を持つ保護者には目から鱗であった。2回目も保護者対象で、思春期の親子の信頼関係についての話、3回目は中学1年生を対象に、SNSのトラブルなどについての話だった。4回目は中学3年生を対象に“皆さんは両親や周囲の人達から祝福されて生まれてきたことを忘れずに、自分を、命を、大切にしたい”という命についての話だった。各回ともに、講師である鶴岡助産師の愛情深く温かい熱のこもったお話しに、受講者は時に涙ぐみながらも、終始和気あいあいと楽しく時間を共有できた。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成	ふなばしハッピーサタデー事業	4月～3月	子どもフラワーアレンジメント教室～季節を楽しむ春のアレンジ～、遊びながら楽しく遊ぼう！楽しいゲームとロープワーク、軽スポーツで楽しく遊ぼう！室内雪合戦、夏のおたのしみ会、夏休み！子どものための映画とお楽しみの会、職業研究講座夏休みに楽しく学ぼう！看護師のお仕事、軽スポーツで楽しく遊ぼう！紙サッカー、親子理科実験教室、＜秋のお楽しみ会＞ファミリーコンサート、子どもフラワーアレンジメント教室～季節を楽しむクリスマスのアレンジ～、お正月遊びと紙ヒコーキを楽しもう！、三田公民館子どもまつり、親子で学ぶ！こども航空教室	13回	13回	A	地域団体（三田習地区青少年相談員、ボーイスカウト船橋第9団、三田習地区自治会連合協議会、）や、管区内にある東邦大学の学生（TOHOボランティア部）、三山児童ホームなどと連携・協力しながら1年間実施した。来年度も各団体と連携を取りながら、子供達がより一層楽しく学び・遊び・体験でき、居場所にもなるような事業を実施していきたい。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	環境保護の意識を身につけてもらえるよう学習する。	こども環境教室	8月19日	地球環境保護の学習とワークショップ。	20組	9組	C	地球温暖化の学習が出来、環境への興味関心を持ってもらえた。
(1)1	地域の子供達に創作体験や遊びを通して、豊かな心を育むとともに、異年齢交流を図る。	こどもフェスティバル（こどもまつり）	9月17日	遊びやゲームなど体験活動を取り入れ、地域の子供たちの出会いと交流の場とする。	なし	622人	/	当日自由参加、参加費無料とし、お化け屋敷、レクゲーム、プラバン、絵本の読み聞かせ、塗り絵と折り紙等を行ったところ、全てのブースで予想以上の参加人数となり、楽しんでいる様子がうかがえた。
(2)1	乳幼児親子から児童まで、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝える。	法典おはなしの広場	4月～3月	社会教育関係団体と連携して毎月1回開催し、幼少期からの読書活動の推進を図る。（全12回）	120人	258人	A	毎月、乳幼児親子から小学生や大人までの方が参加して、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝えることができた。今後も周知や参加方法など工夫していきたい。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	家庭教育セミナー	9月～1月	家庭教育力の向上を図るための講座を実施。	3回	3回	A	昨年度は、コロナ禍で1回しか開催できなくて残念だったが、今年度は予定どおり3回実施できた。参加者のアンケートでは、どの講座も満足度が高かった。今後も子育て世代に関する家庭教育に取り組むきっかけになる講座を小学校のPTAと企画運営していきたい。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	地域の団体と連携して、SDGs体験学習や自然体験などを実施。	9回	9回	A	地域の子供たちの人気の事業の一つで、各回参加した子供たちにとっては異学年交流や生涯学習コーディネーターを交えての世代間交流を図ることができた。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	小学生を対象に科学を楽しく学び、科学への興味や関心を育む機会とし、地域の教育力の向上につなげる。	なつみこどもサイエンスクラブ	8月	学校の先生等を講師として科学実験等を実施する。	1回	なし	/	新型コロナウイルス感染症による開催中止の時期を経て、ご協力を頂いていた高等学校科学部の運営継続が困難となり、他への依頼も困難であったことから実施を断念した。
(1)1	小学生を対象に盆踊りを学び、お祭りに参加することで、地域に根差した文化を理解すると共に地域住民との異世代交流を図る。	夏だ、祭りだ、盆踊り	8月	地域の民舞団体の方を講師として盆踊りの練習とうちわ作りをしてお祭りに参加する。	1回	1回	A	当館で活動するレクダンスサークルなどが講師となり、親子三代が気軽に楽盆踊りの輪踊りに参加することを願い、盆踊り講習会を開催した。当日は子どもたちのみならず地域の幅広い人々が集う交流の場となり、大変熱気を帯びた素晴らしいひと時を過ごした。
(2)1	親子でのリトミックを通して日頃家庭で育児をしている保護者の心身のリフレッシュを図るとともに保護者同士の交流の場とする。	親子リトミック	6月、11月	1歳から就園前の親子リトミック体操。	計30組	計26組	A	音楽に合わせて親子で体を動かしたり、スティックやタンバリンを使ってリズムをとるなど、オルガン伴奏とともに楽しい時間を過ごした。参加の子どもたちも活き活きとリズムをとり、母親とのふれあいに興じていた。児童ホームを会場とすることで、普段通う場所で講師指導の教室に参加できると母親たちから好評を得ている。
(2)1	日頃、子育てに追われている保護者に、無理なく身体を動かす場を提供し、ストレスを解消して親子共々リフレッシュする。	親子ヨガ	6月、10月	親子でのヨガを通して日頃家庭で育児をしている親の心身のリフレッシュを図る。	計30組	なし	/	中止

(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	家庭教育セミナー	6月～1月	家庭生活、家庭教育に関する学習。	計6回	計6回	A	子育ての最中にある保護者たちが実行委員会を組織し、今知りたい役に立つ知識を学ぶ機会を企画運営することは大きな意義があり、2団体の何れの回も真剣に熱を帯びた様子からは保護者たちが子の健やかな成長を願う強い思いが伝わるものだった。
(2)2	多くの保護者が参加する就学時健診の機会を捉えて子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	就学時健診における子育て学習	11月	子育て学習講座。(八栄小学校、夏見台小学校共催)	計2回	計2回	A	就学時健診の時間枠を有効活用し、日頃の子育てで見失いがちな子供の心に寄り添うことを主題として、スクールカウンセラー、学習サポーターによる講演を聞いていただいた。参加者からは大変満足との声が多く寄せられ、引き続き時勢や学校を取り巻く状況を踏まえた機会を提供する。
(4)3	学校週5日制に対応した事業として実施する。子供たちがスポーツや文化活動に参加し、豊かな心や健全な精神を養う。	ハッピーサタデー	5月～3月	子供たちがスポーツや文化活動に参加し、豊かな心や健全な精神を養うとともに居場所づくりとして実施。	11回	15回	A	当初は年11回を予定していたが、これに加え地域諸団体などからの求め、そして従事する人々の人材育成の場を兼ねて追加実施し、年15回と大変充実した体験の機会を子どもたちに提供することができた。開催に当たっては諸団体との協働を前提として、それぞれが持つリソースを最大限に活用し地域に還元することを念頭に実施した。
(4)3	視聴覚教材等の映画を身近な公民館で上映することで青少年の健全育成を図るとともに、地域の拠点である公民館を居場所として学校間を超えた交流の場とする。	シネマなつみ	4月～3月	定期的な映画会の中に青少年も観覧できる日時・内容で上映する。(12回上映)	計3回	計5回	A	市所有の視聴覚教材を活用し年12回上映する「シネマなつみ」において、子どもたちにも是非とも見て欲しいと願う公民館からのメッセージを込めた作品を選定し、ハッピーサタデーを兼ねて上映した。何れの作品も世代を問わず心に響く内容であり、上映会では単なる娯楽作品では味わえない共感、感動が広がる様子が見て取れた。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推 進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	様々な催しなどに参加する中で、子供たちがともにふれあい楽しむ経験をすすめる機会を提供し、子供たちの健全育成に寄与する。	えびがさくこどもまつり	2月25日	地域の子供たちの集いの場、交流の場として開催。作成や遊びのコーナーなどの体験を通して、仲間づくりの場とする。	なし	なし	/	地域の青少年関係団体や、公民館利用団体等の協力を得ながら、子供たちに多くのコーナーを体験してもらうことができた。新型コロナウイルス流行以降、徐々に人数や内容に制限のない開催となった。雨天にもかかわらず参加者も多く、地域、異世代間の交流の場にもなっていた。
(2)1	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、家庭教育の充実を目指す。	大穴小学校PTA家庭教育セミナー	年間	家庭教育充実のための研修講座や、親子のふれあい事業をPTAや学校と連携しながら企画・実施していく。	2回	2回	A	「インターネットを安全に使うために」の講座や、親子で取り組む「科学工作」を通じて、家庭でも親子で会話ができるような事業をPTAと協力しながら行うことができた。
(2)2	多くの保護者が参加する就学時健診の機会を捉えて子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	就学時健診等における子育て学習会	11月30日	小学校就学時頃の子供の成長発達の理解や、基本的な生活習慣の大切さ等の家庭教育を見直すための学習機会を提供する。	1回	1回	A	子供の話の受け止め方、返し方について具体例を挙げながらのわかりやすい講話を通じ、子供とのコミュニケーションを改めて考えてもらう機会となった。
(4)3	地域の団体や学校と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	地域の青少年関係団体等と連携して、子供たちにスポーツや製作などの体験機会を提供する。	9回	8回	A	ニュースポーツや、工作、親子プログラミング等、毎回様々な体験を地域の青少年関係団体と協力しながら、実施することができた。ニュースポーツは、学年を超えての交流や、競うことの楽しさを体験できる機会となっている。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	自然の残っている地域性をいかし、その自然環境について学び体験をするとともに、講座を通して地域の方どうしの交流を図る。	子ども自然観察会	8月	金杉緑地の自然を親子で観察する。	親子10組	5組	C	昨年度は雨天のため中止であったが、今年度は開催することが出来た。当日は猛暑であったが、5組の参加者があり、高根公民館の社会教育関係団体「みちくさ」の方々が自然観察しながら説明してくれた。熱中症対策をしながら自然を楽しむことが出来た。
(1)1	夏休みの子供たちに時間がある時期を狙って、管区の工務店の協力で日本の木材を使用し、工作する。	夏休み工作講座	8月	木製写真立てとコラージュの制作	15人	16人	A	SDGsに関連した山と木についての話しと木製写真立てとその中に飾るコラージュを作った。写真立ての材料はボンドではればよい大きさに切ってあるので簡単に作る事ができた。コラージュはシールやマスキングテープなどで自由に制作した。初めての内容で子供たちは楽しかった、又体験したいという感想が多かった。
(1)1	高根小学校1・2年生と地域住民との昔遊びを通じて、異年齢の交流を図るとともに子供の情操教育の支援を図る。	昔あそび体験交流学习	1月	折り紙・コマ等の昔あそび体験。	80人	78人	A	高根小学校の1・2年生を対象に行われている「昔遊び」は昨年度に続き開催。船橋市公民館中部ブロックのコーディネーターさんに来校して頂き、子供たちに遊び方を教えて頂いた。コマ・紙ひこうき・めんこなど8つの各エリアをグループに分かれて全て体験してもらった。昔からの遊びにみんな夢中になって遊んでいた。
(1)2	卓球を通して青少年の身体育成及びスポーツへの興味と関心を育てる。	青少年向け卓球開放	5月～3月	卓球開放	200人	6人	D	広くチラシを周知したが、参加人数が少なかった。参加してくれる子どもは常連。小学生だけでなく中学生の参加者も増やしたいので、次年度は周知方法を検討したい。

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	金杉台小学校PTA家庭教育セミナー	6月～2月	子育てなど家庭教育に関する学習。	3回	2回	B	1回目は小児歯科医師が虫歯ができる原因や予防についての講話と舌の体操の指導を行った。子供の歯は親が気を付けていかなければならないと感じた。2回目は整理収納アドバイザーによる家の片づけを子供たちと一緒に見直すことを目的にした講話とワークショップを行った。子供の物の片づけは親だけでやらず、子供に判断させることが大切だということを学んだ。
(4)3	青少年の学習支援と居場所づくりを目的に、公民館の当日の空き部屋を学習場所として提供する。	空き部屋開放事業	5月～3月	当日の空き部屋を開放して、学習場所として提供する。	100人	93人	A	新学期後の出だしや夏休みは利用者が多かったが、徐々に減少していった。中学生のみではなく今年は高校生が受験勉強に利用してくれた。高校にはチラシを配布していないが、中学生の時のチラシを覚えていて来館してくれた。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ふなばしハッピーサタデー	5月～3月	子ども卓球教室・多文化を学ぼう・南極くらぶ・こども電気工作教室・ダブルダッチに挑戦しよう！・レザークラフトをしてみよう・スラックライン体験など。	1,500人	739人	C	4月を除く計11回開催。児童ホームや青少年相談員、千葉県ダブルダッチ協会、NECネットエスアイなどの方々に講師を依頼し、バリエーション豊かな事業を開催することが出来た。4年ぶりのこどもまつりを開催した。ピザやからあげ・パン・ポップコーン・綿あめなど食べ物も出店したおかげが大盛況であった。午後からは「マリンバコンサート」で盛り上がった。

小室公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)4健康教育の推進と健康増進の確保 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の子供たちや親子が集い、創作体験や遊びを通して成長し、豊かな心を育むとともに、「思い出づくり」の場となることを目的とする。	小室こどもまつり(※ハッピーサタデー事業)	8月26日	ゲーム・遊び・工作など。	100人	130人	A	小室児童ホームを会場とし開催。午前・午後各50人の事前申込みとしたが、定員を超える申込みがあり好評であった。子供たちが分散してコーナーを回れるよう「スタンプラリー」を実施。課題は前年まで冬場の開催であったが今回は8月の夏休み開催とした。そのためスタッフとして参加いただける各協力団体が少なくなったことがあげられる。したがって来年度は開催時期については再検討を要する。

(1)1	豊かな自然の中での遊び体験を通して、異年齢や学校外の子供との交流を図る機会とする。	子供の体験活動推進事業	10～12月	自然の中で遊び、学ぶ体験。	なし	なし	／	(実施せず)
(1)2	子供たちに文章力を身に付けてもらうこと、読書・文学に関して興味を持つことを図る。	夏休み読書感想文教室	7月27日 8月2日 8月9日 (計3回)	読書感想文の書き方を指導する。 ①「本との出会いと受け取ったもの」 ②「感想文の組み立てと書き方」 ③「感想文の見直し」	16人	16人	A	読書感想文は小学校の夏休みの課題ということもあり、保護者の関心も非常に高く、募集定員がすぐに埋まるほどの人気講座である。対象学年を3・4年生に限定し、また1講座90分×3回とし、時間的にも最後まで集中して講座に参加できた。感想文の書き方だけでなく本に興味を持つことへのアドバイスをされたことにより、参加者が持参した本にも興味を持って、全員読書感想文を完成することができた。次年度も同内容の講座を引き続き開催したい。
(1)4	身体機能調整とストレス及び産後うつなどの解消。	親子ピラティス教室 (※児童ホーム/公民館共催)	1月30日	未就学児親子対象ピラティス	20組	18組	A	児童ホームとの共催にて実施。身体機能の調整やストレスや産後うつ等の解消を目的に乳幼児を持つ子育て世代を対象に実施。参加者からは好評を得た。
(2)1	乳幼児が楽しめる内容の人形劇鑑賞会。	人形劇鑑賞会 (※児童ホーム/公民館共催)	2月17日	人形劇	30組	30組	A	児童ホームとの共催で実施。日常生活でなかなか体験できない人形劇を親子、または家族で見ることができた。幼児親子と小学生が同じ空間で行うイベントは少ないのでよい機会となった。また同年代の子供や保護者同士が交流する良い機会にもなった。児童ホームと公民館共催とした子育て支援の場としての機能を果たせたと考える。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	小室公民館本館家庭教育セミナー	①10月28日 ②11月25日 ③12月9日 (計3回)	現代の子供に関わる問題を学ぶ。講演会・講習等。 ①「ヤクルト出前教室・おなか元気教室」 ②「X'masに向けて親子でカップケーキ作り」 ③「個性を伸ばす！オーダーメイドの教育法」	3回	3回	A	小室小学校PTA・小室中学校PTAとの共催事業であり、忙しい保護者の参加も難しい状況の中、参加された親子は、体験や実習および学習しながら家族のコミュニケーションもとることができ、とても楽しく充実した時間を過ごすことができた。特に「クリスマス親子カップケーキ作り」のような料理系は評判も良く、多数の応募を頂いた。反省点としては各PTAの役員との事前の連携がまだまだ不足であったことがあげられる。来年度はこの点を考慮し、事前の情報共有を図りたい。また企業タイアップ事業を増やして中身を充実させたい。

(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー (※こども祭り除く)	①5月13日 ②6月10日 ③7月26日 ④7月22日 ⑤9月30日 ⑥10月14日 ⑦11月18日 ⑧11月19日 ⑨1月20日 ⑩2月10日 ⑪3月16日	軽スポーツ・ゲーム大会・ウォーク 囲碁将棋等	11回	11回	A	コロナ禍も明け、積極的に開催できた。開催時には、毎回多くの申し込みがあり子供たちの笑顔や真剣な眼差しに楽しむ姿が垣間見れよかった。今後も、地域の青少年団体や児童ホームと連携をし、健全育成に努めたい。内容的にもマンネリをなくし、できるだけ新しい要素を組み入れた事業となるよう工夫していきたい。
------	------------------	------------------------	---	---------------------------	-----	-----	---	---

浜町公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	浜町地区の子供達が自由に遊び、交流し自主性・創造性を伸ばしていくことを目的に実施する。また、このまつりを通して、「子供は地域で育てる」という大人の意識と連帯を醸成し、“子育てのまちづくり”を目指す。	わんぱくフェスタ	2月18日	模擬店・体験コーナーなど、各団体による催し物。	1回	1回	A	当日は天候に恵まれなかったが、沢山の子どもが来館した。食品を扱う模擬店も本年度より再開し、元気に遊ぶ姿が見れた。

(2)1	目の前に展開する三番瀬や東京湾を通して海について学び、団体行動の体験と親子の交流を図る。	海とのふれあい講座 親子海洋教室	9月17日 11月19日	はぜ釣り体験 ヨット体験	3回	2回	B	広報に掲載されるや申し込みが殺到し人気の高さがうかがえた。はぜ釣りはほとんどの親子がはぜを釣り上げ、スタッフと親でそのはぜを料理し皆で食べる事が出来た。ヨット体験は初めて乗る遊覧船ではない本格的なヨットに乗船し驚きの体験ができた。3回目として予定していた海苔スキ体験は海苔の不漁により中止した。船橋の海に触れる貴重な機会として今後も継続していきたい。
(2)1	外国人（ベトナム人）と交流し、郷土料理を親子で学ぶ	浜の子どもキッチン 異文化交流 ベトナム料理教室	8月6日	ベトナム式生春巻きの料理教室	1回	1回	A	当初予定としては魚料理を予定していた事業であったが、ベトナム国際交流員の協力のもと春巻きづくりの親子料理教室を実施した。ベトナム人講師、ボランティアと話しながら、生春巻きを親子で協力してつくり、おいしくいただいた。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	家庭教育セミナー	7月7日 10月24日 10月25日	家庭教育に関する講演や講義。	3回	3回	A	「SNS事故啓発」「思春期の性」をテーマで開催した。それはPTAの希望による内容で実施し、参加者の役に立つ内容であったと感じる。今後も保護者が何を必要としているかくみ取りながら学習内容を検討していきたい。
(4)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診等における子育て学習			1回	0回	/	中止
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	4月から 毎月1回 計10回	ボッチャ、親子でシネマ、夏祭り他	12回	10回	A	年間を通し、若松地区青少年健全育成会、スポーツ推進委員会、地域の方々の協力をいただき、また、児童ホームと連携し、様々な講座を地域の子供たちに提供できた。今年度は、親子でシネマなど新しい内容を取り入れ、より充実した時間を提供できた。今後も地域の方々と連携し、子ども達の遊び、学び、交流の場を提供していきたい。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	環境保護の意識を身につけてもらえるよう学習する	夏休みエコ教室	8月10日	SDGsの話、工作など	1回	1回	A	SDGsをテーマに動画、歌などで学習し、水素ロケットの実験では子供たちが積極的に参加する姿が見られ、地球環境について学習する意欲を感じた。
(1)1	夏休み課題のポスター制作の助力とする	夏休みこどもポスター教室	7月	ポスターの描き方の指導	3回	3回	A	ポスターの描き方について講師が丁寧に説明し、参加者は熱心に取り組んでいた。参加者の中に描いたポスターが入選した作品もあった。
(1)1	将棋を通して読解力、創造性を養い、参加者との交流を図る	夏休みこども将棋教室（初心者）	8月	駒の動かし方や将棋の考え方を勉強し、将棋の楽しさを理解する。	2回	2回	A	参加した2日間で全員が対局できるようになった。見学に来ていた保護者及びボランティアも対局に加わり参加者同士の交流だけでなく世代間交流も達成することができた。
(1)1	将棋を通して読解力、創造性を養い、参加者との交流を図る	夏休みこども将棋教室（経験者）	8月	対局	2回	2回	A	礼儀作法や負けないための駒の動かし方を講師から学び、対局をおこなった。対局後には講師と一緒に感想戦をおこない学びを深めることができた。
(1)1	冬休み課題の書初めの助力とする	書初め教室	12月23日	書初めの書き方の指導	1回	1回	A	学年別で書き方の指導があり、個別でも指導が行われ参加者は指導されたとおりに書けるよう一生懸命取り組んでいた。2時間の中で見違えるほどの成果が見られた。
(1)1	冬休み課題の書初めの場所を提供する	書初め大会	1月4日	席書会	1回	1回	A	冬休みの課題をこの場で終わらせようと、熱心に書いている姿が多くみられた。講師からのアドバイスもあり、学校では得られない技術も学べた。
(2)1	親子のコミュニケーションを深め、料理の楽しさや食事の大切さを学習する	親子クッキング教室	2月10日	親子のコミュニケーションを目的とした料理教室。	1回	1回	A	バレンタインのお菓子作りをおこなった。イチゴとチョコレートでトッピングしたエクレアは参加者から大好評だった。親子だけでなく同じグループとなった参加者とも交流を深めることができた。

(2)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供	就学時健診を活用した子育て学習	11月	心を動かす関わり方、1年生になる前に 学童期の子育てに備えて(習志野台第一・習志野台第二・高郷小学校)	3回	3回	A	小学校に入学するにあたっての心構えや、子供とのコミュニケーションの取り方などを中心にした講座となった。アンケートでは「とても参考になった」が過半数を占めており、子供との関わり方の参考になったことが窺えた。
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実	習志野台公民館家庭教育セミナー	5月～2月	ベビーマッサージ、親子フィットネス、わらべうた、ボディメイク&ピラティス。	4回	4回	A	どの講座も親子のコミュニケーションを大切に、親子共に体を動かしてリフレッシュすることができた。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める	ハッピーサタデー	5月～3月	軽スポーツ、コンサート、映画会、防災、工作など	11回	11回	A	地域の団体で組織したハッピーサタデー事業実行委員会との協働により、企画運営している。制限を解除して実施したため当日自由参加だった月は特に多くの参加者でにぎわった。

八木が谷公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)5青少年の生活・コミュニケーション能力の増進と指導 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の青少年を対象にスポーツや文化活動等に親しむ環境づくりを進める。	ドローン体験講座	8月8日	ドローン操作体験	20人	20人	A	個人での手動操作からグループでプログラミングをして行う自動操作をする内容で特にグループでの活動は協力しながら積極的に取り組む姿勢が見られて良かった。アンケートでも「初めてで難しかったけど楽しかった」「みんなと協力出来て良かった、またやりたい」という意見があり、好評だった。
(1)1	地域の青少年を対象にスポーツや文化活動等に親しむ環境づくりを進める。	けん玉教室	3月23日	けん玉パフォーマーによる実技指導、けん玉認定試験実施。	15人	25人	A	実技のほか実演、検定試験、ゲームもあり楽しみながら習得することができた。子供たちのみ検定試験に挑戦し、真剣そのもので緊張感ある中受験した。最後に一人一人に講師から賞状を受取り、満足感の表情を見ることができた。

(1)2	地域の青少年を対象にスポーツや文化活動等に親しむ環境づくりを進める。	親子いけばな教室	年間	親子で月1回、伝統文化である生け花を体験・習得する。(全9回実施)	15組	10組	B	参加数が定員割れではあったが参加者からは楽しかった、ためになったとの声をいただいた。花を生ける前には季節の風習などの講義を受け、意味を理解した上で花を生ける姿勢がみえる教室であった。数年続けている事業ではあったが年々親子での参加が難しくなっているため次年度は休止とする。
(1)5	読書に親しむ機会の充実	読書感想文教室	7月26、28日 8月3日	本の読み方から感想文の書き方までを習う。	16人	16人	A	講師が教えることができる人数にあった募集定員のため参加者の満足度が高いものとなった。アンケートでは楽しかったという感想が多数あり講師との信頼感も得られたようであった。読書感想文の書き方は学校での指導がないため保護者からの要望も多い。次年度も引き続き計画を予定している。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	書き初め教室	12月24日	書き初めを習う。	24人	18人	B	書き初めが冬休みの宿題である3～6年生を対象に、講師が手本を見せながらの丁寧な講座だった。子供たちも徐々に上達して渾身の一枚を書き上げ、満足のいったものとなった。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー	年間	「子供の居場所づくり」を目的に様々な創作活動・スポーツ・遊びに挑戦する。	9回	9回	A	地域団体等の協力を得て様々な内容で実施することができた。こどもまつりでは地域住民による実行委員会が先頭となり、いろいろな催し物により大変賑わったお祭りとなった。今後も地域の諸団体と協働し地域の教育力を養いながら、子供たちがより豊かな体験ができるよう運営していきたい。

飯山満公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の青少年の交流を促進する。	はさま子供まつり	2月25日	模擬店・遊びコーナーを通じて各学校間の文化交流を進める。	650人	4,974人	／	朝から雨でとても寒かったが、たくさんの参加者でにぎわった。昨年度は、模擬店で売った食べものは持ち帰っていただいたが、今年度は和室を開放し、食事処としたため、館内で食事をする方も大勢いた。ご協力いただいた地域の諸団体の方々準備から後片付けまで、大変だった様子だが、青少年の居場所づくりを地域ぐるみで盛り上げることができた。 ※目標値は実人数、実績値は延べ人数で算出した数値のため評価なし。

(2)1	就学時健診時に、多くの保護者が集まる機会を利用し、子育てやしつけなどの子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	飯山満小学校就学時健診における子育て学習	年間	新年度、小学校に入学する児童の保護者に、子育てやしつけなどに関する学習機会を提供する。	120人	119人	A	元小学校校長で、現在は幼稚園園長をされている講師より「子どもを自立させるために自己肯定感を高めることが大切」「考える力を伸ばすために子どもの思いに共感できる親でありたい」など、子育ては人育て、素晴らしいこと。自信をもって楽しみながら、また、「たまには自分自身もほめてご褒美を」という、子育てに悩む保護者が少しホッとできるお話だった。保護者はメモをとりながら、真剣に講師の話に聞き入っていた。
(2)1	就学時健診時に、多くの保護者が集まる機会を利用し、子育てやしつけなどの子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	飯山満南小学校就学時健診における子育て学習	年間	新年度、小学校に入学する児童の保護者に、子育てやしつけなどに関する学習機会を提供する。	100人	93人	A	スクールカウンセラーであり、小学生の子供もいる講師が、心理師・保護者の視点から、家の中と外それぞれで保護者ができることを説明していた。講師自身の子育ての経験談も交えながらの説明で、参加した保護者にとってもイメージがしやすい内容であった。保護者はメモをとりながら、真剣に講師の話に聞き入っていた。
(2)2	子どもたちが心身ともに健全に成長する上で、家庭教育の果たす役割が重要である。職業について考えることで、視野を広げ、選択肢を増やし、自分の将来について向き合うことを促す。	家庭教育セミナー	年間	地域全体で家庭教育を支える仕組み作りが必要なことから、家庭教育に関する学習機会や情報を提供する。	150人	54人	/	小学生とその保護者を対象に植物由来のエッセンシャルオイルの効能、精製水に虫が嫌う精油を入れた虫よけスプレー作り、親子で行うハンドマッサージの仕方を教えていただいた。保護者にとっても子供にとっても、貴重な触れ合いの時間となったようであった。 ※全3回開催予定だったが、内2回はインフルエンザ感染予防により中止のため評価なし。
(2)2	防災学習を行うことで、児童が防災について自分事として考えることができるようにする。	Pepperが先生 防災教育「大雨編」	9月14日	「大雨が続くとどんなことが起こる?」「対策について」を話し合い、発表する。	130人	124人	A	「大雨が続くとどんなことが起こる?」「大雨の災害に合わないためにどんなことをしたら良いか?」などのPepperの質問にまず、一人ひとりでワークシートに記入し、その後、周りの友達と意見を出し合い、発表する形で行った。記入しているワークシートを見せてもらおうと気象の単元を勉強しているせいも、とても良い意見が書かれていた。皆で意見を出し合うことにより、改めて普段からどんなことに気を付ければよいかという学習ができ、貴重な時間となった。

(4)2	学習機会を提供することで、学校、地域、家庭の連携をはかり、地域の教育力の向上を目指す。	夏休みの宿題応援企画 「高校理科部のお知恵拝借！理科実験工作講座」	7月28日	高校生と実験をしながら、自由研究の題材を考え、宿題を仕上げる。	20人	24人	A	高校理科部の生徒が考えた5つの実験工作のブースに、小学3年生から6年生の24人がやりたいものを2つ選び、順番に制作した。講座後のアンケートでは、「難しかったが高校生が優しく教えてくれたので楽しかった」「また、参加したい」など、小学生はとても楽しく学べた様子であった。また、高校生は、小学生に教えることは初めてで、小学生が理解できる説明をしなければならず、良い経験になったようだ。
(4)2	「冬休みの宿題応援企画」として、書道塾に通っていない小学校3～6年生を対象に書き初め教室を開く。	冬休みの宿題応援企画 「書き初め教室」	12月23日	小学3年生から6年生の初心者を対象とした書き初め教室を開催し、宿題を仕上げる。	20人	22人	A	大人からではなく、年齢の近い高校生から優しく教わり、小学生は緊張しながらも、どんどん上達していった。2時間以上集中して書き続け、仕上げるのができた。宿題を早く終えることができ、本人も保護者もかなり助かるのではないかと思われる。
(4)2	中学生が将来の進路や職業を選択するための学習の場を提供し、職業に対する知識や心構えを育み進路選択の視野を広げる。	飯山満中学校職業講演会	年間	様々な分野で活躍されている方を招き、中学生への職業についての講演会。（学校の進路指導を側面支援）	220人	なし	/	開催について中学校と話し合ったが、公民館との共催は行わず中学校が独自の方法で開催することとなったため、開催せず。
(4)2	中学生が将来の進路や職業を選択するための学習の場を提供し、職業に対する知識や心構えを育み進路選択の視野を広げる。	二宮中学校職業講演会	年間	様々な分野で活躍されている方を招き、中学生への職業についての講演会。（学校の進路指導を側面支援）	280人	248人	A	①働くことや社会に貢献することについて考え、適切な勤労観・職業観を学ぶ②自己を見つめ主体的な進路選択をしようとする態度を養う。③生き方（進路）に関する適切な情報を収集、整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えさせる。という3つのねらいのもと、警察官、日本語教師、ウエディングプロデューサー、理系会社の方のそれぞれの仕事内容ややりがい等を伺い、生徒からのさまざまな質問に答えていただいた。今すぐにはなくても、進路を選択するときの参考になることを期待したい。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月13日 6月10日 7月8日 8月3日 9月16日 10月14日 11月11日 1月20日	ラダーゲッター、モルック、ユニバーサルスポーツ、夏休み子供卓球教室、缶バッジ作成、ゲーム・クラブト、ねりきり作りほか。	8回 計130人	8回 計148人	A	今年度も近隣小学校にチラシを配布すると共に、保護者が時間を気にせず、申し込みができるよう、全回オンライン申請での募集とした。内容は、ユニバーサルスポーツ・クラフト・調理など多岐にわたり地域諸団体に企画、運営していただき、地域の子供達に体験する機会を提供できた。

(4)3	遊び体験・スポーツ体験を行うことで居場所を提供し青少年の育成に努める。	児童ホームで体験しよう！	年間	遊び体験・スポーツ体験。	20人	60人	A	大道芸を開催。次々と繰り出される不思議なマジックに子供たちも保護者もすっかり魅了されていた。また、簡単にできるジャグリング体験では「できた！」など子供たちの大きな声が聞こえ、とても盛り上がっていた。プロの技を間近で見ることは、子供たちにとって貴重な経験となったようだ。
------	-------------------------------------	--------------	----	--------------	-----	-----	---	--

丸山公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	丸山公民館区の子どもたちが学びや体験を通して豊かな心を育むとともに、健全な成長を図る。	第39回子どものつどい	3月3日	作品展示、子ども発表会、手作り遊びコーナー、ゲームコーナー、おはなし会、もちつき大会	1,475人	3,181人	A	町会・自治会、青少年関係団体で組織する子どものつどい実行委員が主体となって運営しており、当日は、たくさんの子どもたちで賑わっていた。また、地域が一体となって青少年育成に取り組む場となっている。「子どものつどい」の運営スタッフとして参加してもらう「まるキッズ・スタッフ」では、参加した子どもたちが会場の準備から各ブースの運営に積極的に携わり、ボランティア体験をするとともに、運営スタッフ、地域の大人たちとの交流の場もなった。
(1)1	乳幼児期、低学年に大切な読み聞かせの重要性を伝え、活発な読書活動につなげる。また、コミュニケーション能力の育成のため読み聞かせの機会を作る。	まるやまおはなし会	4月15日 5月20日 6月17日 7月15日 ①・② 9月16日 11月18日 12月16日 1月20日 2月17日 3月16日	おはなし・絵本・紙芝居などの読み聞かせ	12回	11回	A	目標値12回のうち1回については、子どものつどいの中で実施をしたため、当初目標通りの回数を実施することができた。

(1)1	青少年の健全育成及び児童同士が合流できる場の提供	巡回児童ホーム (小学生わくわくタイム)	5月18日 6月15日 7月20日 9月21日 10月19日 11月16日 1月18日 2月15日	簡単な工作、ゲーム大会、集団での遊び	7回	8回	A	放課後の空き時間に多くの子どもが参加して、元気に遊んでいる。内容もいろいろな工作を用意して、友達同士、またはひとりでも参加できるように工夫されている。
(2)1	親子のスキンシップを育み、家庭から出る子育て環境のトレーニングを行う。	巡回児童ホーム (0.1.2歳ぽかぽか広場)	5月18日 6月15日 7月20日 9月21日 10月19日 11月16日 1月18日 2月15日	親子のふれあい及び保護者同士の情報交換	8回	8回	A	参加者同士の交流や情報交換の場としても機能していて、参加者が常連として定着している。
(2)1	親子のコミュニケーションとふれあいの場を提供する。	親子体験教室	6月～3月	お菓子づくりなど。	2回	なし	/	ハッピーサタデー事業の中で親子参加の事業を開催したことによりこちらの講座は中止。
(2)1	家族の安心・安全のためにみんなで作る機会とする。	家族で学ぶ防災講座(新規)	8月5日	「日々の備え」から、家族の防災力を高めるためのポイントなどを学ぶ。	8家族	なし	/	講師との日程調整ができなかったため中止。
(2)1	子育てに関する方法や悩みの相談と親子のふれあいの推進。	出張子育てひろば	4月27日 9月7日 12月7日 3月7日	親子が気軽に集えて専門職による講座・相談が受けられる交流の場を提供する。	4回	4回	A	和室で子どもが動きまわることができ、親も専門的なアドバイスを受けることができるため、参加者から好評であった。
(2)1	家族で食育について考えるきっかけとし、家族みんなで作る食の学びながら、コミュニケーションを深める。	市場ツアーと食育クッキング	7月8日	市場の見学、食育座学、イタリアンクッキングを通して食について学ぶ。	2回	1回	C	昨年度に応募が多数あったことから、2回を計画したが、1回目の募集定員6家族に対して7家族の応募であったため、講師との調整の結果、1回の開催としたが、参加者からは好評であった。

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	丸山公民館本館家庭教育セミナー	10月28日 12月18日	家庭での基本的な生活習慣を身に付けるなど、子育てのための学習機会を提供する。さらに関係団体の協力を得ながら、学校、家庭、地域の連携を深める講座とする。	3回	2回	B	参加者は少なかったものの多くの質問があり、悩みや疑問も解消された様子だった。また、「興味のある分野だったが、どこから学べばいいかわからなかったの、たいへん有意義でした」との声があった。
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時検診等における子育て学習	11月16、 28日	就学時期の子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さを見直してもらうための学習機会を提供する。	2回	2回	A	「子どもの接し方などわかりやすく、すごく参考になりました」との声が多数あり、参加者から好評であった。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	4月22日 5月20日 6月10日 7月29日 8月12日 9月16日 10月21日 11月18日 12月16日 1月13日 2月3日 3月23日	工作、スポーツ、絵画、自然観察、科学実験など	12回	12回	A	地元の自然観察や絵画、少年野球チーム、卓球サークルなどと連携して小学生の動機付けの機会を提供するように努めた。集客が少ないプログラムもあったことから、募集方法を含めて再検討したい。

塚田公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の子供たちや親子が集い、互いに触れ合い交流することで青少年健全育成の場とする。	塚田公民館子どもまつり	2月17日	塚田児童ホームと共に開催、工作やゲーム、ニュースポーツ、絵本の読み聞かせ、模擬店など。	2,000人	3,560人	A	児童ホームとの共催で、公民館・児童ホームの全部屋に工作やミニSL乗車体験等の色々なイベントブースを設置した。どの部屋のイベントも待機列が出来るほどの大盛況となり、参加する子ども達の楽しそうな表情を見ることが出来た。今回の成功点や反省点を活かし、来年度も多くの方々に喜んでもらえるイベントを考え実施したい。

(1)1	幼児期における情操の発展と読書活動の推進を図る。	こどもおはなし会	4月～3月	絵本・紙芝居の読み聞かせ。	20回	20回	A	コロナ禍から参加者数も段々と戻ってきており、児童ホームを利用する幼児親子の方達の参加が多く、定期的に参加してくれる方もいる。絵本だけでなく、紙芝居は今の子供たちには珍しく、面白さを感じているように思う。今後もより多くの親子や子供に参加してもらえよう、広報活動に力をいれたい。
(2)1	幼児を持つ母親・父親が安心して交流できる場と、子育ての学習機会を提供することにより、親同士の友だち作りや子育ての不安解消を図る。	子育て支援ひよこ広場	5月～3月	保健師による健康&子育て相談、親子で楽しむヨガほか。	12回	12回	A	新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつあると考え、月1回開催のペースに戻して実施した。来年度も共催団体である塚田地区社会福祉協議会との協議等は必要だが、出来るだけ事業回数を増やしたいと考える。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	本館家庭教育セミナー	6月～12月	心豊かな家庭教育に必要な学習機会の提供。	3回	2回	B	塚田小学校と協力し、5・6年生児童と保護者を対象に生（いのち）と性についての講話を行った。5年生と6年生に分けて開催し、各回とも赤ちゃんの人形など模型を使いわかりやすい説明であった。児童向け講話の後に、保護者向けミニ講座で思春期の子供への対応も教わった。保護者から、命の大切さが伝わる、子どもにもわかりやすいと好評だった。
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供	就学時健診等における子育て学習	11月	就学時健診における家庭教育学習。	3回	3回	A	親業訓練協会シニアインストラクターの経験を踏まえた子どもとの接し方や、スクールカウンセラーによる実際の生活習慣に則したお話に、参加者は聞き入っていた。アンケート結果は各校とも好評で、子どもとの向き合い方や家庭でのルール作りを改めて考えたいとの記載があり、短時間ではあるが、各家庭で参考にできる内容を届けることが出来た。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー	6月～3月	塚田児童ホームとも協力しながら行うスポーツ、工作、料理などのさまざまな体験活動。	10回	12回	A	年間を通して、自然体験やスポーツ体験など、塚田児童ホームとの共催や地域の団体の方々の協力も得ながら様々なプログラムを行い、コロナ禍で募集人数を減らしての対応となったが、子供たちのニーズに応えることができた内容であった。今後も管内小学生の児童数が多い公民館ならではの対応を検討し、開催したい。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	一輪車の乗り方を習得しながら交流を図る。	一輪車教室	11月11、12日	一輪車の乗り方の練習。	20人	16人	A	児童ホームとの共催事業で、一輪車に乗れない小学生を対象に実施した。講師の丁寧な指導により、子供たちは2日間で少しずつ一輪車に乗れるようになっていった。練習中は皆笑顔で楽しそうに取り組んでおり、子供たちの良い交流の場とすることもできた。
(1)1	子供たちが地域の歴史について興味を持つ機会の提供。	地域の歴史を学ぶ	7月26日	地域の歴史・史跡についての学習。	20人	10人	C	夏休みの課題のきっかけになればと、子供たちが地域、みやもとの歴史を学ぶをテーマに夏休みの初めに講座を実施した。講師が小学生向けにわかりやすく歴史とは何かを説明した後、このまちの歴史について話し、昔の写真からなに？なぜ？を考えて、現在との違いについて学んだ。何でだろうという疑問を考えて調べて、答え合わせをしてそのままをまとめると自由研究になるという講師のアドバイスもあり、夏休み中の講座の参加者にとって少しお得な内容であった。申込者が定員に達しなかったが、参加者の評判は良かったため、広報活動方法を工夫し、今後も夏休みに小学生向けの講座を継続して実施していきたい。
(1)1	親子でプログラミング体験学習の機会を提供。	家族で楽しく！iPadではじめてのプログラミング体験	8月19日 8月24日	親子プログラミング体験。	20組	10組	C	夏休み期間中ということもあり、土曜日・木曜日にそれぞれ実施したが、土曜日の実施回は申し込みが少なく残念だった。当日は、前半を保護者向けに子供にスマートフォンを持たせる時に保護者が留意すべきことや、設定の方法などについて学ぶ時間とし、後半は子供たちがプログラミングでロボットを動かす体験をした。iPadを学校でも使用しているせいか、子供たちは慣れた様子で講師から出される課題を次々とクリアしていた。終了後の感想では、プログラミング学習をもっとやりたかったというご意見もあり、次年度は難易度を上げた講座の実施を検討したい。

(1)1	子供たちが遊びや製作活動を通して、交流を深める。また、公民館利用団体及び地域諸団体が同じ事業を実施することにより、地域の連携を図る。	みやもとこどもまつり	3月10日	遊びコーナー・人形劇・紙芝居・民話の語り・折り紙・模擬店など。	2,000人	5,926人	A	事前に子供スタッフを募集したところ17人の応募があった。準備ではポスターや飾りの制作、当日は放送やコーナーのお手伝いなどを担当してもらったが、子供たちは率先して仕事を見つけて、楽しみながらおまつりを盛り上げてくれた。コロナ禍や施設修繕で約5年ぶりの実施となったが、当日は天候にも恵まれ、予想を上回る来館者となった。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	家庭教育セミナー	1月24日 2月20日	幼児及びその保護者を対象とした、家庭教育の学習。	60人	78人	A	乳幼児親子を対象に、宮本児童ホームと共催で実施した。乳幼児期の親子で学ぼう！コミュニケーションのコツをテーマに、「親子で楽しく！ママのボディメイク」と「親子で楽しく！英語あそび」の講座を開催し、子育ての一助とすることができた。申込者が定員に達しなかったが、参加者の評判は良かったため、広報活動方法等を工夫し、今後も親子を対象とした家庭教育のための事業を継続していきたい。
(2)2	管区内小学校の就学時健診の機会を捉えて、子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診における子育て学習	11月	子育て講座の実施。 (市場小・宮本小・峰台小)	3回	3回	A	しつけ・子供の個性と夢・家庭でのルールを中心に、講師の経験を活かした講演内容で実施した。子供の小学校就学を控えて不安もある保護者にとって心に響く話であり、アンケートも非常に良い結果を得ることができた。

(2)2	親子のコミュニケーションを図るとともに、生活にプラスになることについて学ぶ。	親子の趣味教養講座	2月10日	アロマバスボム作り体験	15組	10組	B	宮本児童ホームと共催で4～6歳の幼児親子を対象に、一回の体験講座を実施した。テキストでかおりのはなしを聞いた後、親子で好みのかおりでバスボムを作った。土曜日に実施することで、平日は幼稚園等に通っている幼児親子も参加することができ、今後も親子を対象とした家庭教育のための事業を継続していきたい。
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー (こどもまつりを除く)	6月10日 7月1日 8月5日 9月16日 10月21日 11月18日 12月2日 1月21日 2月3日	ゲーム、軽スポーツ、制作、体験、クリスマス会、フラワーアレンジメントなど。	350人	291人	A	工作、バルーンアート、フラワーアレンジ、お菓子の家づくり、ニュースポーツ、電気の実験など、年間を通して様々なジャンルの体験を提供することができた。各回とも電話や窓口の他、オンラインでも申込みできるようにしたところ、夜間や朝など窓口時間外での申込みが多く見られた。今後も学校への募集チラシ配布と併せて保護者世代に向けてもホームページやSNSで発信し、子供たちに遊びや体験の場を提供していきたい。

三咲公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	文章を読むことが得意な子供を対象に、書き方のポイントや本の選び方などを学び、読書の楽しさを知るための講座を提供する。	夏休みこども応援プロジェクト 夏休み読書感想文教室	7月22、29日	読書感想文の書き方、本の選び方を学ぶ。	12人	12人	A	夏休み恒例の講座だが、今年は講師が新しいテキストを作成してくれたので、例年よりもスムーズに進行することができた。意欲的な子供たちが多く、1日目が終了する時には全員が下書きを書き始めていて、当初の目標が達成できた。2日目の個人添削も無事に終了し、アンケートの結果も好評だった。
(1)1	身近な自然を注意深く観察し、子供の感性で俳句を制作し、他の学校の児童との交流を深める。	夏休みこども応援プロジェクト こども俳句教室	8月2～3日	公民館の周りの自然に親しみ、俳句を制作する。	12人	4人	D	猛暑の中の自然観察を心配したが、みんな元気に、子供らしい感性の素敵な俳句を作ってくれた。今年も定員には満たなかったが、毎年楽しみに参加してくれる児童もいる。初めて参加した児童も、また来年も参加したいと話してくれ、企画して良かったと思う。

(2)1	親子で自然エネルギーについて学び、エコ工作を一緒に体験することによって、親子のふれあいを深める。	オンライン親子工作教室	5月27日	エコ工作づくりをとおして地球温暖化について学ぶ。	15組	6組	C	コロナ禍に始まったこの講座も3年目となったが、コロナ前の生活に戻りつつあり、今年は参加者が少なかった。しかし、家族で楽しく地球温暖化について学べる良い機会だったとの感想をいただいた。
(2)1	乳幼児の親子対象に親子のスキンシップを図り、家族の絆を深める。	本館家庭教育セミナー	5月19日 6月8日 11月18日	子育て応援セミナー 親子バランスボール体験 親子ピクス	4回	3回	B	児童ホームとの複合施設であることを考慮し、幼児親子を対象とした講座を児童ホームと共催で企画した。今年度はバランスボール体験を初めて行った。定員には満たなかったが、参加者の満足度は高かったと感じた。
(4)3	地域団体と協働し、子供たちにスポーツや文化に親しんでもらい、地域との交流や、子供たち同士のつながりを深める。	ハッピーサタデー	5月～2月	クッキー作り、火おこし体験、夏のお楽しみ会、科学教室、ヒップホップダンス教室、手作りおもちゃ作り、モルック体験、書き初め教室、プログラミング教室、こどもまつり	10回	10回	A	毎年恒例の内容に加え、新たに企画したものも取り入れ実施した。どの回も当日の欠席者が少なかった。2月のこどもまつりは4年ぶりにコロナ前の規模で児童ホームと共催で行い、たくさんの子供たちが遊びに来て大変なにごわいだった。

新高根公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進 (4)6安心・安全な地域社会の構築							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	夏休みに学習機会を提供する。	夏休み小学生「学習うスペース開放事業」	7月25、27日 8月1、3日 8月22、24日	小学生を対象に夏休みの宿題などを行う会場を公民館が提供し、自主学習で分からない教材がある時は、ボランティアがサポートに回り一緒に考え対応する。	15人	33人	A	本館を利用する市民の方から「子供たちの初歩の躓きを、微力だがサポートしたい」との声をいただき、近隣の小学校に周知を図り4年生から6年生を対象に開催。参加者は、学校の宿題や塾等のテキストを持参し、開始時間から終了時間まで集中を切らさず行う者や、自身で解いて分からない問題があるとボランティアの方に質問している様子が伺えた。青少年にも親しみやすい施設であることを知っていただく上で、今後も継続を検討していきたい。

(1)1	夏休みに学習機会を提供する。	夏休み小学生木工工作講座 (SDGs)	8月7日	陸の豊かな森林の自然環境と木材を使用する取り組みに関する講話をいただき、木材を使用した「踏み台」の工作を学び完成させる。	10人	7人	B	昨年の青少年事業のアンケートから「木工教室をしてほしい！」との希望が多数あり、地域に貢献されている工務店にご協力をいただき開催が実現した。木材を使用する際には森林へ対する自然環境への取り組み (SDGs) も行っている等の講義を受けた後、工作を開始。金槌の持ち方、釘の打ち方を学び、同工務店の社員が見守る中、踏み台を完成させた。参加者からは、「SDGsについていろいろな話を説明してくれてとても分かりやすかった」「釘を打つのが難しかったけど面白かった」などの声が寄せられた。環境問題への意識を高めるためにも継続を検討していきたい。
(2)1	読み聞かせやお話をとおして、子供たちの感受性を育てる。	おはなしの部屋	4月18日 5月16日 6月20日 7月4日 9月5日 10月17日 11月21日 12月19日 1月16日 2月20日	絵本の読み聞かせ、おはなし、手遊び、紙芝居ほか。	200人	164人	A	社会教育関係団体「たんぼぼ文庫」を講師に迎え実施しており、各回の内容についても提案をいただきながら開催できた。静かに見入る子供たちや紙芝居に出てきた動物の絵を指差して楽しそうにしている子供たち、様々な形で参加している様子が伺えた。手話を取り入れ歌と一緒に親子で真似て行うなど、好評の声があり今後も継続していきたい。
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診等における子育て学習	11月7、9、14日	高根東、芝山西、芝山東の各小学校に次年度入学予定の子供を持つ保護者を対象に子育てに関する講義を実施。	200人	224人	A	3校共に「とても参考になった」、「やや参考になった」のアンケート回答が多くあった。高根東小では、地域スクールカウンセラーを講師に招き、入学後の問題について実例をあげ説明をされた。 芝山東小では、講師自身の子育ての実体験も交えながら、身近なことを分かりやすく説明された。 芝山西小では、低学年の子育てとして生活の中で考え、選ぶ思考力の向上や家族の中での役割をもたせ「実行していく力」の向上を取り上げた。3校共に「日常のあいさつ (声掛け) をしよう」と話され、大切なコミュニケーションのきっかけであることを再認識できたのではないかと思う。

(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピー-サタデー	5月13日 6月3、17日 7月1日 10月7、28日 11月25、26日 1月13日 3月10日	こどもたちがスポーツや文化に親しめるようにする。	961人	907人	A	子供たちがただ参加するだけでなく、体験して考えて成長できる場を提供できるように組み立てた。子供たちは事業を通して交流を深め、豊かな心をはぐくみ健全な精神を養う一助になったと思われる。また、子供たちは各回とも大変楽しみにしており、地域に根付いた事業になった。次年度も充実した内容を計画し取り組んでいきたい。
(4)3	夏休みに学習機会を提供する。	夏休み小学生読書感想文教室	7月26日 8月2、9、23日	読書感想文の書き方や文章の表現力、添削指導を含め感想文を仕上げる。	15人	20人	A	小学校3年生から4年生を対象に開催。事前に本の選択と読み込みもされており、講師から作文用紙の書き方や文章表現を学び、初回から感想文を書き始めることができた。2、3回目は、個人の添削指導を行い、句読点の誤りや書きあげた内容に膨らみを持たせるなどの指導をしていただいた。最終回には、完成した感想文を参加者の前で読みあげて、講師から個々の着目点を説明し講座が終了した。今後も継続を検討していきたい。
(4)3	夏休みに学習機会を提供する。	「備長炭電池」を作ってみよう こども電気教室	7月29日	小学生を対象に工作キットを使用して、電気の使い方や省エネルギーに興味を持ってもらう。	15人	12人	A	工作を行う前に、日常生活の中で起こりうるタコ配線等による火災など、映像を通して講師から講話があった。また、電気機器の正しい取り扱い方や省エネに関する話に、頷いて聞いている様子が伺えた。 工作では、備長炭を使用してむぎ電球を点灯させる実験を行った。家庭にあるアルミホイル、食塩、ガーゼ、針金等を用い、個々の明かりが点くと「やったー！明かりがついたー！！」と歓喜の声が上がった。その後、二人組でむぎ電球を並列につなげて明かりを灯す体験も行い、学校が違う小学生同士の交流につながった。今後も継続を検討していきたい。
(4)6	地域の団体と連携して、地域の子供たちが安心して暮らせるような地域づくりを目指す。	しんたかねこどもまつり	3月10日	地域の団体と連携して、木のゲーム広場、ペンシルバルーン、ボディペイントアート、おはなしの部屋、作って遊ぼう！うたとフラとウクレレにさわろう、その他催物を実施する。	1,000人	646人	B	青少年相談員/地区社協のみなさまに協力していただき、地域の方々ともどもたちとの交流も深めることができた。なかでも、「木のおもちゃ広場」は体育館が子供たちでいっぱいになるほどの人気で、真剣に楽しく遊ぶ様子が見られた。「ボディペイントアート」では、さまざまなアートを顔などに描いていただき、おまつり気分を感じることができた。「ペンシルバルーン」では、作品をプレゼントしていただき大盛況であった。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の子供たちの交流	こどもまつり	2月18日	地域の諸団体からなるこどもまつり実行委員会を立ち上げ、レクゲームや工作などの体験活動をとおして、子供たちの交流の場をつくる。	1回	1回	A	地域の各団体を中心に実行委員会のメンバーとして企画、準備、運営、片付け等に携わっていただき4年ぶりの子供まつりを盛況に開催することができた。と同時に各団体と公民館の関係性を向上させることができた。
(1)1	地域社会の連携や教育力を高める。	お野菜スタンプdeエコバック	8月10日	地域の農家の方を講師に迎え、夏野菜を使ったスタンプを作り、いろいろな形の野菜があることを知る。	1回	1回	A	畑で獲れた夏野菜をスタンプにし、無地のバッグに模様を描き一人ひとりカラフルで個性豊かな作品を仕上げた。収穫の楽しさを題材にした絵本の読み聞かせやクイズなどもあり楽しい時間を過ごすことができた。
(1)1	地域社会の連携や教育力を高める。	ロボラボ教室	8月24日	小学生の生徒を対象にロボットカートを使用し、楽しみながらプログラミング体験ができる機会を提供する。	1回	1回	A	初めにプログラミングのレクチャーを受け、簡単なプログラムのゲームを行った。レゴのロボットカーを1から組み立て、動かすプログラムを作成した。参加者はロボットを理想通りに走らせるため、試行錯誤して調整をして楽しんでいった。プログラマーとはどういった職業なのかという講義も行い、将来の進路を考える一助にもなった。
(1)3	地域の青少年ボランティアと世代間交流	こどもまつりボランティア講座	12月16日 1月13日 2月17、18日	地域団体と共にボランティアとして運営に携わることで、行事を成功させる達成感を体験できる機会とする。	4回	4回	A	元こどもまつりボランティアの方を講師に迎え、ご自分が小学生の頃の体験談などを話していただいた。参加した子供たちは、参加者同士の交流の大切さや楽しさを体験を通して学ぶことができた。
(2)1	子育て世代の交流と仲間づくりの場の提供。子育てに関する悩みの相談。	すまいる広場	5月～3月	0～1歳6ヶ月の子を持つ保護者を対象に保護者同士の情報交換等の交流や仲間づくりの場を提供し、子育ての不安解消の一助とする。	10回	10回	A	0歳～1歳6ヶ月の子を持つ親子対象ということで、毎回参加者集めに苦勞をした。しかし育休中の方にとっては子育ての情報を得たり、子供同士を遊ばせたりとても貴重な場所となっている。来年度は地域の団体と連携し、より多くの方に参加していただけるよう情報を周知していきたい。
(2)1	子育て世代の交流と仲間づくりの場の提供。子育てに関する悩みの相談。	ちびっこ広場	4月～3月	乳幼児を持つ保護者を対象に保護者同士の情報交換等の交流や仲間づくりの場を提供し、子育ての不安解消の一助とする。	12回	12回	A	共助社会の創設「誰もが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり（地域づくり）」の推進を図り、福祉のまちづくりに関する活動等について必要な支援をすることができた。地域の乳幼児を持つ親子を対象とした講座を開催するとともに参加者同士の交流の場を提供することができた。

(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	家庭教育セミナー	8月5日 10月14日 12月7日	「親子で学ぼう！楽しい家庭生活」をテーマに、小学生とその保護者が関心を持ち、実生活に役立つような内容で、楽しく交流しながら心と体について学ぶための講座を実施する。	3回	3回	A	親子で参加できる講座や、より良い親子関係を築くことを目的とした講座を企画・実施した。モノづくりや料理に関する内容の講座は非常に人気が高く、定員を超える申し込みがあった。親子で一つのものを作り上げることで、各家庭とも絆を深めることができたのではないかなと思う。
(2)2	子どもの成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診における子育て学習	11月16、 21日	小学校での就学時検診の機会を利用した子育て学習会を開催することにより、入学前の保護者の不安の解消につなげることを目的とする。	2回	2回	A	元小学校長である講師より、生き生きと小学生が育つポイントをわかりやすくお話ししていただいた。保護者向けのアンケートでは、「とても参考になった」との意見が多く「小学生になるにあたり親としての心構えを教えてください参考になった」、「日々育児に悩んでいるので、ありがたいお話を伺えてうれしかった」など前向きな意見が多くみられた。
(4)3	青少年の居場所作りと健全育成。	ハッピーサタデー	5月～2月	小学生を中心とした地域の子供たちの居場所作り、スポーツや遊びをベースとした総合学習を目的に、月1回開催する。基本的に自由参加とするプログラムを実施する。	10回	10回	A	多くの地域団体にご協力をいただき、青少年育成のための充実した事業を行うことができた

葉岡台公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	体験を通しての好奇心や思考力を養うとともに、世代間交流により刺激や関心が生まれることを期待する。	夏休み子ども理科教室	8月2日	千葉県立葉園台高等学校と連携し、夏休み子ども向け理科教室を実施する。	1回	1回	A	葉園台高校との初めての連携事業で、化学部顧問と高校生の計14名の協力のもと、実施した。事業内容、役割分担を両者で検討し、当日の進行や司会、準備、実験のフォロー等は高校生主体で行った。薬液を混ぜて液体が固まる様子を観察し、手で丸めてゴムボールを作るという実験は、楽しく理科を学ぶには最適な内容だった。ふだん交流する機会が少ない小学生と高校生だが、やさしく声をかける高校生たちに小学生もすぐに打ち解け、楽しく有意義な時間となった。
(1)2	学校と地域が連携して、青少年の健全育成を行う。	クラブ活動支援事業	5月24日 6月21日 9月27日 10月18日 12月20日 1月24日 2月28日	葉岡台小学校のクラブ活動（和太鼓）を支援する。	7回	7回	A	普段和太鼓を叩く機会はほとんどないと思われるが、子供たちが楽しみながらも発表会に向けて熱心に練習していた。また、クラブ活動以外でも、個人個人に配付されているタブレットを活用し練習をしたとのことで、回数を重ねるごとに上達していく姿を見ることができた。葉岡台公民館で活動している社会教育関係団体が講師として毎回参加しており、社会教育関係団体が地元へ貢献し学者連携もしている良いケースと考えられるため、今後も継続していきたい。

(2)1	健全な家庭生活と親子のふれあいの学習。	カンガルーぼっけ	4月10日 5月15日 6月12日 7月10日 9月11日 10月23日 11月20日 12月11日 1月15日 2月19日 3月11日	乳幼児親子が交流できる機会を提供する。	11回	11回	A	感染症対策の点から本年もミニイベントを入れながら申込制で実施した。本年は参加者同士の交流ができる形もとることができ、継続して参加される方や誘い合わせての参加も徐々に増え、毎回定員を超える申し込みがあった。乳幼児なので当日の体調不良による欠席も多く残念であった。保育ボランティアの協力のもと、参加者に十分楽しんでいただくことができた。
(2)2	家庭教育の向上に寄与する。	本館家庭教育セミナー	9月28日 12月9日 2月3日 3月24日	家庭教育に関する学習。	3回	4回	A	本年は企画委員と骨子を決め3回の話し合いをもち、運営等は講座実施時やメールなどで連絡を密に取り進めた。公民館において乳幼児をターゲットにした講座の集客が難しいが、児童ホームの協力を得て100%の申込を得ることができた。ホームページからの申込で新規利用者がいたことは収穫であるが、広報等の通常の公民館の周知方法では難しく、周知方法については今後も検討する必要がある。
(2)2	家庭教育の向上に寄与する。	薬円台南小学校PTA家庭教育セミナー	9月22日 1月23日 2月1日	家庭教育に関する学習。	3回	3回	A	インターネットの危険性や性教育など、現代社会で子供たちがトラブルに巻き込まれがちな問題を取り上げ、全て外部講師を招いて開催された。高学年と保護者を対象であったが、子供たちも保護者も非常に熱心に講師の話に耳を傾けている様子であった。学校の教員では子供たちに教えきることができないことを深く学ぶことができる有意義な時間となったと感じる。
(2)2	家庭教育の向上に寄与する。	就学時健診等における子育て学習	11月10、17、29日	子育て学習。(七林小学校、薬円台小学校、薬円台南小学校)	なし	3回	/	学校ごとに講演をしていただいた講師は違うが、保護者は講師の話に興味深く聴いている様子であった。講師の経験をもとに事例をあげての講演が多く、保護者が家庭教育について改めて学ぶ機会になり、子供への接し方を再認識した有意義な時間となった。ただ、アンケートには強制的に開催される子育て学習に苦痛を感じるという意見もあり、今後の子育て学習のあり方についても検討していかなければならないと感じた。

(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ふなばしハッピーサタデー事業	5月20日 6月17日 7月25、29日 8月4日 10月21日 11月18日 12月16日 1月13日 2月3日 3月3日	走り方教室・交通安全・書初め・子どもエコ教室・子どもまつり 他。	11回	11回	A	今年度は、走り方教室、勾玉づくり、交通安全教室、獅子舞ショーなど新しい企画を多く盛り込み、地域の小学生がどんなことに興味をもっているのかを探りながら事業を行ってきた。また薬園台高校との連携事業としてかきぞめ教室を行い、地域交流、異世代交流という新たな可能性にも着目した。今後も地域の協力を得ながら、子供たちの興味・関心事を意識し、多彩な事業を行っていききたい。
------	------------------	----------------	---	----------------------------------	-----	-----	---	--

松が丘公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の子供は地域で育てるを目標として、子供を対象に手作りの楽しさや参加する喜びを体験させるとともに異学年や世代間の交流の場とする。	こどもまつり (フェスタin松が丘)	2月17日	ゲームコーナー、工作、ボッチャ体験。	なし	2,321人	／	子供たちに関係する地域の社会教育団体等の協力により、発表コーナー、ゲームコーナー、体験コーナー、工作コーナーに多くの子供たちが集まり楽しく過ごしていた。子供たち同士のコミュニケーションが図られ、また世代間の交流の場が提供できた有意義な事業となった。
(1)2	地域全体で学校を支援する活動の一環として、社会教育関係団体などの公民館利用団体が小学校のクラブ活動の時間(年6回)に講師となり、児童を指導することによって学校支援と地域社会づくりに寄与する。	クラブ活動支援事業	6月28日 7月19日 9月13日 11月8日 12月13日 1月24日	太鼓、茶道、ニュースポーツをサークル会員などからそれぞれ指導を受けて体験する。	なし	216人	／	子供たちはとても楽しそうに活動していた。子供たちにとって大変貴重な時間になったと考える。地域住民と子供との交流の場としての役割を果たす事業となった。また、学校を支援する活動の一助ともなった。

(1)2	親子で陶芸とそば打ちの楽しさや参加する喜びを体験させるとともに自分で作ったそば猪口でそばを試食し親子のコミュニケーションの場とする。	親子で陶芸とそば打ちに挑戦	7月22日 8月5、19日	作陶、絵付け、袖がけ及びそば打ちを体験する。	延べ72人	延べ46人	B	親子でそば猪口を課題として作陶・絵付けを行い、自分の作品を使いそば打ちで作ったそばを試食した。親子のきずなを深め夏休みの思い出づくりをする場の提供と地域の社会教育団体との世代間での交流ができた有意義な事業となった。
(1)2	図書に親しむ機会をつくるとともに夏休みの宿題対策として活用してもらう場とする。	夏休み読書感想文教室	7月26、28日 8月4日	読書感想文の書き方について学ぶ。	延べ45人	延べ31人	B	多くの子が読書感想文に苦手意識を持っていたが、講師の丁寧な指導により順序だてて文書を書くコツをつかみ感想文を仕上げた。この教室は、子供だけでなく指導法のわからない保護者にとってもニーズの高いものと思われ家庭教育の支援にもなったと考える。
(2)1	子育て支援事業として、乳児親子を対象に子育てについての育児不安の解決を図るとともに参加親子同士の交流の場とする。	子育て支援事業「おひさま」	7月11日 8月8日 9月15日 10月10日 11月7日 12月5日 1月9日 2月13日 3月12日	松が丘地区社会福祉協議会と共催により乳児親子を対象に遊び場を提供し保護者同士の仲間づくりを支援する。	なし	延べ64人	/	定員を設けず自由参加で、親子で交流を図る形式で実施しているが、参加者が少なくマンネリ化した事業で効果が感じられないので、新しい取り組みを検討していきたい。
(2)1	親子のスキンシップを育み「孤育て」になりがちな子育て世代の仲間づくりの場とする。	親子ビクス	6月13日 9月12日 11月14日 1月23日	松が丘児童ホームとの共催を通して親子で運動する場を提供する。	なし	延べ101人	/	毎年新たな児童ホーム利用者が参加しており、保護者には十分な運動と子供には飽きない工夫がされている。日常生活で運動の機会が少ない保護者のストレス解消につながり保護者同士の交流も図られた。
(2)1	親子を対象としたクリスマスイベントを開催し、親子の交流を深める。	親子クリスマス会	12月14日	松が丘児童ホームとの共催で演奏会とクリスマスカード作りを楽しむ。	30組	42組	A	親子で手遊び・歌・パフォーマンスに参加し、親子の交流が深まるとともに会場内に一体感が生まれ、参加者みんなで作り上げたクリスマス会となった。また、サンタと記念撮影を楽しんでいた。

(2)1	楽器演奏を聴いたり触れたりする機会を通して、親子がリフレッシュできる場を提供する。	オータムコンサート	10月12日	松が丘児童ホームとの共催で楽器演奏を聞いたり触れてみる。	90人	39人	C	30分を3回実施し1回の定員は30人とした。親子で楽しく聞くことができる曲をハープで演奏し、ハープの弦の数や材質の説明や楽器の紹介を聞きながら、25弦の小型ハープや超小型ハープの音を楽しんだ。ハープを間近で見たり聞いたりするのを楽しみにしている人が多かった。保護者もハープの音に癒されている様子だった。
(2)1	親子を対象として絵本の読み聞かせを通して図書に触れる機会を提供する。	おはなし会	9月21日 10月5日 11月30日 1月11日 2月22日 3月21日	松が丘児童ホームとの共催で社会教育団体の会員が絵本の読み聞かせをする。	なし	90人	/	自由参加で開催し、公民館の社会教育団体により、効果的な事業を展開することができた。乳幼児が絵本に興味を持ち、保護者とふれあいながら真剣にお話を聞いている様子が見られ、読書に親しむきっかけづくりができたものと思われる。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	本館家庭教育セミナー	9月28日 1月25日 2月22日	「子供の成長を守るためには」をテーマに家庭教育の諸問題を学び、心豊かな家庭教育に寄与する。	60人	41人	B	地域で子供を見守ることを視野に入れ、町会や自治会にも声をかけ参加してもらうことができた。これまでの講座は大人のみが参加する内容によって参加者が定員に満たなかったが、3回目の食育の講座では定員を満たす申込があり、親子で共通体験を通してコミュニケーションを図る機会となった。
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会を提供する。	就学時健診等における子育て学習	11月22日	家庭教育の重要性を多くの保護者に理解してもらうために、就学時健康診断の機会をとらえて、子育て学習を実施する。	なし	63人	/	「いのち、こころ、からだの大切」をテーマに保護者の年齢に近い講師を選定したことから、多くの保護者が集中して話を聞いていた。今回の子育て学習が今後の子育てに対して効果的だったと考えられる。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月7日 6月18日 7月16日 9月24日 10月22日 12月17日 1月21日 3月18日	環境教育プログラム(りさ育る)、DNAをみてみよう、工作(プラバン等)ポッチャ、書き初め教室、ビーズ工作、スポーツ雪合戦など。	185人	208人	A	今年度はすべてのプログラムを実施することができた。12月の書き初め教室では、昨年度に引き続き船橋古和釜高校に講師依頼をし、先生と生徒による丁寧な指導で参加した子供たちは高校生と楽しく交流していた。学社連携の観点から次年度以降も継続を検討したい。申込みはすべてオンライン申請により募集を行ったが、「プラバンなどの工作」と「ポッチャ」以外は定員を下回った。今後は楽しいことを連想させるタイトルを付けるなどの工夫が必要であると考えられる。

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域周辺に在住の子供とその保護者を対象に、交流と情報交換を図り地域の輪を広げていく。	たかね台子どもまつり 春だ！ジャンプだ！ 2024	3月2日	あそび、ゲーム体験や人形劇などの鑑賞。	3,000人	3,166人	A	数年ぶりに模擬店を再開したため、コロナ以前の水準まで参加者数が戻った。模擬店を中心に賑わいを見せ、参加者は楽しんでいる様子が見られた。
(1)1	お正月の伝統的な外遊びである凧あげの大会を実施し、手作り凧を中心に昔遊びの楽しさと奥深さを知るとともに、参加者の交流を図る。	新春子ども凧あげ大会	1月6日	昔から伝わるお正月の外遊びである“凧あげ”の楽しさを知り、地域における児童の交流を図る。	20人	25人	A	高根台第三小学校の校庭を会場とし開催した。当日のコンディションが悪くよい風が吹かず、校庭を何周も走って最後には何とか高く上げられていた。日本伝統の遊びである凧あげを親子で楽しむことができた。
(1)1	少子高齢化が進む地域の状況の中で、子ども達の健やかで健全な成長を願い、学校と地域が協力して事業を行う。	総合学習支援事業	9月11～15、19、21日	高根台第二小学校・高根台第三小学校と連携して事業を行う。	450人	559人	A	今年度も高根台第二小学校のみで行った。7日にわたり1クラス毎にはなし会を実施した。学年毎に選書していただき、年齢に相応しい昔話や絵本の読み聞かせを楽しんだ。本の紹介では、紹介された本を自分で選び読むことができ、いろいろな本に出会い読書に親しむ良い機会となった。
(1)1	宇宙事業の学びを通じ子どもの科学的好奇心をはぐくむとともに親子の交流を図る。	高根台宇宙の学校	6月18日 7月23日 8月20日	宇宙や自然科学に関する工作や実験、レポート発表。	25組	22組	A	昨年よりも参加者が少なく半数程度であった。今年度はメール配信による募集を試みたが、応募は少なかった。その後、チラシを配布しての募集を追加した。事業では宇宙や星の話を中心に身の回りの自然科学に関することを取り上げた。講師の手腕により良いものになり、参加した子どもや保護者からも「楽しかった」「良く学べた」などの声が多く聞かれた。レポートは思考過程がよくわかるよう、上手にまとめており、発表も緊張しながらも皆上手に発表ができていた。

(1)1	公民館で活動する社会教育関係団体の学習を小学生に体験してもらい、学習内容の習得や地域住民との異世代交流を図る。また、地域の人と交流するという「総合学習の一環」として、学校、地域、公民館の三者の連携協力の中で教育的な成果をあげる。	小学生の公民館 サークル体験学習	1月23、 30日 2月6日	各サークルの体験活動。	60人	48人	A	昨年度は公民館改修工事のため、高根台第三小学校を会場としたが今年度は例年通り、公民館で行った。将棋・空手・チアダンス・フラダンス・茶道・大正琴・和太鼓の7つの種目について、各社教団体が講師となり小学三年生に普段の活動を体験してもらった。3日間の短い期間ではあったが、どの種目も普段の学校生活では経験できない内容で、子どもたちには新鮮な体験となった。また、普段関わらない大人との関わりを経験することができ、意義深いものになった。
(1)1	高根台公民館区域のフェスティバルを通じて、地域福祉の向上や交流を図る。	第19回高根台地区 福祉フェスティバル	11月18日	小・中学校発表会、落語、健康相談、映画会、模擬店等。	3,000 人	1,191 人	D	4年ぶりの開催を皆さん楽しみにされていたようで、講堂は常に満席状態であった。プログラムもバイオリン・ピアノコンサートから寄席、まちづくりサミット、おもちゃづくり・遊びのコーナー等、バラエティーに富んでおり、「笑顔とありがとうのあふれる町を」とうたった高根台地区社協のスローガン通り、来館者の笑顔が絶えないフェスティバルとなっていた。このフェスティバルを契機に、地域の中でも笑顔と感謝が続いていくよう、今後の地区社協と協力しながら、事業を展開していきたい。
(1)2	本の選び方や読書感想文の書き方のポイントを学び、読書の楽しさを知ると共に、文章表現力を養う。	読書感想文の書き方講座～うまくなるコツをつかもう！～	7月22、 29日、8 月5日	本の選び方から読書感想文の書き方の指導まで。	16人	14人	A	小学3、4年生を対象に、感想文の土台作りから実際に原稿用紙に書くまでを学んだ。ワークシートに本との出会いから受け取ったものを書き込み、構成を決め感想文を書き上げた。子供たちは毎回熱心に取り組み、講師に質問する姿が多く見られた。今後も講師と連携を図り継続して開催していきたい。

(1)2	公民館管内にある特別支援学校(小学部)と連携し、障がいがある子供たちに演奏会を行い、音楽の楽しさを知るとともに、情操教育の一助となる機会とする。	障がいがある青少年自立支援事業(新規)	2月5日	マリンパコンサート		114人	114人	A	船橋特別支援学校高根台校舎の1~4年生の児童を対象に、2回に分けてマリンパコンサートを実施した。演奏者の楽しいおしゃべりや演奏の間に取り入れたリズム体操は笑顔で楽しみ、ゆったりした曲では緊張がほぐれていく様子がうかがえた。今後も支援学校と連絡を取り合い、児童の興味に寄り添った内容で継続していきたい。
(2)1	日本の伝統文化である竹と和紙を使った和紙を親子で作成し、手作りの楽しさを知るとともに親子の交流を図る。	親子和紙作り教室	12月10日	我が国の伝統文化である和紙作りの教室を実施し、手作りの楽しさを知るとともに親子の交流を図る。		16人	21人	A	和紙に絵を描き、骨をつけて、糸をつけるという流れで行った。講師は、糸の結び方など古来よりの工夫が詰め込まれた技を教えるなど、子ども相手にわかりやすく上手に教えていただいた。好きなキャラクターの絵や自分の名前など思い思いの絵を描き、自分だけの和紙を作った。糸を通すところなどは小学生1人では難しかったが、コーディネーターの助けもあり、親子で協力して完成させることができた。本格的な日本伝統の和紙を作る体験ができた。
(2)2	同じ悩みをかかえる母親たちの交流と情報交換の場としていく。	子育て講座にこにこワイワイ子育てキャンパス	5月~3月	育児にかかりきりで孤立しがちな親を支援し、同じ悩みをかかえる親同士の交流と情報交換を通じて、自分の発見と心のリフレッシュが出来るよう、講座や実技を通じて日頃の問題を解決していく場としていく。		全8回 230人	全8回 354人	A	乳幼児を持つ保護者のストレス発散の場、母親の交流、情報交換の場として機能している。新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、定員をコロナ前に戻して開催した。ヨガやフラダンスなど子どもと一緒に参加できたり、ストレス発散になったりするようなものは定員が埋まりやすい傾向にあった。今年度も、ねらいを達成する効果が十分に得られたと考える。
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	高根台公民館本館家庭教育セミナー	11月4、25日、12月2日	子供たちが心身共に健全に成長する上で地域における連帯意識や教育力を、地域社会の中で高めると共に、心豊かな家庭教育の充実に寄与するよう、子を持つ親を対象に子育てに関する課題を学習する。		30人	69人	A	今年度は小学生とその保護者を対象とし、環境教育を通して親子で学ぶ機会とした。興味を引く内容だったようで、募集はすぐいっぱいになった。第1回は、銅線と磁石と電池を使って、コイルトレインを作った。第2回は、放射線測定器を使って、身の回りの放射線を測定した。第3回は、フズリナ石灰岩(化石)の研磨を行った。どの回も小学生には少し難しい内容であったが、実験や工作を通しておおよそをつかむことができた。環境問題について親子で一緒に考え、家庭教育のきっかけとしてもらいたい。

(4)3	毎月第3土曜日を「ハッピーサタデー」とし、子供達がスポーツや文化活動に親しむことを目的とする。	ハッピーサタデー	5月～2月	そば打ち体験 手作りおもちゃと昔あそび みんなでゲームを楽しもう アウトドア講習会 他。	8回 250人	10回 194人	A	子どもまつりを除き全10回で開催した。事業の内容で応募者の人数に差が出るので、どの回も子供たちの興味を引く様に、新しい企画を取り入れて、事業計画を立てていきたい。
------	---	----------	-------	---	------------	-------------	---	---

海神公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	地域の青少年に係る団体や組織との連携により、遊びや制作活動等を通して豊かな心を育てる。	海神地区こどもまつり	2月25日	乳幼児の遊び場、模擬店、だごしや、おりがみの広場、ゲームのひろば（昔あそび、輪投げ、ペンシルバルーン、ミニボッチャ、スリッパ卓球、）チャレンジ広場、（かみてっぼう、ぶんぶんごま、かんつみ、なるこを使って遊ぶ）	4,000人	3,342人	A	4年ぶりのこどもまつり開催日は雨にもかかわらず、多くの人達に参加していただき、各コーナー地域の団体の協力のもと多くの子供たちが楽しんでた。子どもスタッフも頑張って各コーナーのお手伝いをしていた。
(1)1	一輪車の楽しさを知るとともに地域の子供たちの交流を図る。	一輪車教室	6月10、11日	初心者のための一輪車教室	20人	12人	B	2回の講習で乗れるようになる子ども達も数名おり、子どもたちの交流、そして運動能力向上の一助となったものと思われる。
(1)2	陶芸体験をすることで、日本の伝統文化を学び、豊かな心や健全な精神を養う。	子ども陶芸教室	7月26日 8月23日	陶芸の基本を学ぶ	18人	18人	A	昨年に続き開催したが、今回、回数を3回から2回にしたことで参加しやすくなったのか、申込者数が大分増加した。子ども達には貴重な体験となったと思われる。焼きあがった作品に満足な様子であった。
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	海神公民館家庭教育セミナー	11月4、18日	おなか元気教室・子どもの生活習慣を考える 時短で野菜たっぷり朝食づくり	48人	17人	D	親力アップの学習内容で、心身ともに健康であるための生活習慣改善の情報提供、望ましい生活習慣を身につける目的で実施したところ参加者が少なく、1回目・2回目は実施できたが3回目は申込みが少ないため講師よりお受けできないとの申し出があり中止した。今後、内容、周知の方法なども見直したい

(4)3	学校や地域団体等と連携協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成につとめる。	ふなばしハッピーサタデー	年間	初めての絵手紙、夏休みスペシャル工作、早く走れるようになるヒント教えます、親子料理教室、スノードーム、冬のお楽しみ会、親子で楽しくプログラミング教室、キャンプで大人気の【モルック】で遊ぶ、こどもまつり。	4,200人	3,514人	A	海神児童ホームと共催し、今年度も多彩な内容の事業を実施することができた。体を動かすものから、ものづくりまで、それぞれの事業で子供たちの楽しむ姿が見られた。1月20日のプログラミングはスマホ使用のルールを親子で話し合うきっかけ作りになったと思われた。
------	--	--------------	----	---	--------	--------	---	--

坪井公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	大学の研究者の指導を受けて実験に取り組むことにより、子供たちに科学の楽しさを知ってもらい、好奇心を大切にしたい学びの機会を提供する。	こどもサイエンス教室（全2回の学級講座）	7月28、29日	子どもの科学実験教室。令和5年度は「光る！ルミノール」「野菜から色を分けよう！」の2テーマに取り組んだ。	2回 計40人	2回 計36人	A	実験の基本的なことや器具の使い方など講師から丁寧な指導があり、実験ではルミノール反応による青白い光を熱心に観察したり、野菜の成分を付着させた紙をアルコールにつけて、現れた色を観察したりと、皆熱心に取り組んでいた。アンケートでは、「ルミノール反応の実験を体験できてよかった。」「いろいろな実験器具のことを知れてよかった。」等の声があり、科学の楽しさに触れる機会を提供できたと考えている。
(1)1	日本大学とのコラボレーションで子供たちに科学への興味を持たせる。	科学って楽しいな	2月3日	日大理工学部施設での科学実験に参加。ミュージアムの見学とワークショップ	1回 計30人	1回 計24人	A	普段はなかなか訪れる機会がない大学内のミュージアムで、展示品の解説を聞いたり、企画展見学するなど、参加者は興味深く聞き入っている様子だった。質問する姿も見られ、関心の高さが伺えた。ワークショップでは、大学教授の指導のもと、親子で楽しみながら学ぶ姿が印象的だった。大学生も助手として参加してくれた。参加者の評価も高く、継続していきたい事業である。
(1)1	坪井地区の子供同士が交流し、豊かな情操を育てる場を提供する。	こどもまつり	3月2日	子どもたちが、遊びと制作活動・レクリエーションを通し、交流を深める。（事前申込制で人数制限を行いハッピーサタデー事業として開催）軽スポーツ、ゲーム、迷路遊び、かるた等を実施	1回 80人	1回 296人	A	事前申込制の「こどもまつり」として、ハッピーサタデーに位置付けた。坪井地区社会福祉協議会、坪井地区スポーツ推進委員会、伝えよう船橋の会、坪井児童ホームの支援により、地域と一体となった事業ができたと感じている。

(2)1	読書教育の一環として、子供の情操教育と親子のふれあいの場を提供する。	おはなしいろえんぴつ	6月22日 8月24日 10月26日 12月21日 2月29日	幼児とその親を対象に、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、親子のふれあいの場とする。	5回 計75人	5回 計48人	B	コロナ禍で休止期間が続き、数年ぶりの開催となった。久々の開催で、講師は何度も練習を重ね、万全の態勢で本番に挑んだ。坪井地区は、乳幼児の子育て世代が多く、読み聞かせ活動は受け入れられやすい事業であると認識している。乳幼児向けの手遊びなども盛り込み、紙芝居やパネルシアターとセットで実施した。来年度も継続して実施していきたいと考えている。
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	坪井公民館本館家庭教育セミナー	10月14日 11月22日 12月2日	家庭教育にかかる学習 令和5年度は「揚琴コンサートと子育ての話」「我が子も相手も守るために～思春期に向けて大人が知っておきたいこと～」「調理実習～手作りパン～」の3講座を実施した。	3回 計75人	3回 計49人	B	第1回は、講師が子育て体験のエピソードを紹介しながら揚琴を奏でるといった手法で講演とコンサートを実施した。余韻が長く美しい響きと、アメリカでの子育て体験の話について参加者は熱心に聞き入っていた。2回目は小学生の心と体の成長をテーマに、保護者がどのように子供に接して行くかについて学習した。講師が豊富な経験と知識を持った方であったことから、役立つ学びとなったようである。3回目は、親子でパンづくりを体験した。気温や湿度がパンの膨らみ加減に微妙に影響するとのことで、講師が参加した親子の進捗状況をしっかりと把握しながら指導してくれたおかげで、おいしそうなパンが完成し、嬉しそうに持ち帰る子供たちの姿が印象的であった。テーマの選定については、成功したものと認識している。
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月20日 6月17日 7月15日 8月19日 9月2日 10月21日 11月4日 12月16日 1月13日 2月17日 3月2日	子供たちがスポーツと文化に親しむとともに、豊かな心や健全な精神を培う日として11回の事業を開催した。	11回 計220人	11回 計537人	A	年間を通して、各種工作や、民話・書道などの伝統文化についての体験活動まで幅広くテーマを選定して事業を行った。様々な分野での学びを地域の皆さんや指導者の協力のもと、子供たちに提供できたことは大きな成果であったと感じている。次年度でも創意工夫して子供たちの居場所づくりに努めていきたい。

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (3)2社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)1施設の整備と拡充 (4)6安心・安全な地域社会の構築							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	不登校児童生徒への支援の充実	一宮ふれあいキャンプ	6月～9月	船橋市不登校対策事業のひとつとして小・中学校の不登校児童生徒を対象にした長期プログラムの事業を実施する。 6月 事業説明会 8月 キャンプ準備会、一宮ふれあいキャンプ(2泊3日) 9月 ふりかえりの会	満足度90%以上	満足度92.5%	A	自然や人とのふれあいを通して、参加児童生徒の生活改善等がみられ、学校復帰への意欲につながった。不登校児童生徒が一人でも多く参加し、満足のいく体験活動となるようにしていきたい。 ○事後アンケートでは、満足度が92.5%であった。 ○参加者合計 38名(児童生徒12名 指導者26名)
(3)2	SNSによる問題行動等の早期発見・未然防止	学校ネットパトロール	年間	市内小・中・高・特別支援学校の児童生徒を対象に定期的なネットパトロールを実施し、書き込みや画像等によるいじめや犯罪被害から児童生徒を守る。	啓発資料活用率100%	啓発資料活用率96.4%	A	市内小・中・高・特別支援学校を対象に情報モラルに関する啓発資料の活用状況調査を実施し、調査結果を各学校に送付した。各学校が活用方法や活用状況の情報を共有することで啓発資料の活用の促進につなげていきたい。
(3)3	青少年の非行防止と保護活動の強化 青少年非行の早期発見・未然防止を目指した街頭補導活動の強化	街頭補導活動	年間	①センター補導 青少年センターの計画に沿って、150人以内の青少年補導委員が地域毎(市内6箇所)の補導を行う。(8月を除く毎月実施)近隣市との合同補導及び情報交換を行う。 ②地区補導 市内を12地区に分け、各地区の計画に沿って、補導委員の居住する地区の補導を行う。(毎月実施)11月に列車補導を行う。 ③地区別学校訪問 各地区毎に補導委員が地区内の全小・中・高等学校を訪問し、情報交換を行う。 ④センターパトロール 市の行事や学校行事等にあわせて、センター職員によるセンターパトロールを随時実施する。	街頭補導実施回数400回	街頭補導実施回数369回	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたセンター補導を再開した。不審者情報や生徒のたまり場、店舗情報などを共有することにより、非行の未然防止や防犯に貢献している。 ○街頭補導実施回数 369回 ・センター補導 42回 ・地区補導 151回 ・地区別学校訪問 86回 ・センターパトロール 90回 ○補導従事者人数 2,152人 ○補導合計人数 323人 <場所別> ・公園 144人 ・ゲームセンター 73人 ・店舗付近 43人 ・路上 59人 ・駅構内 1人 ・その他 3人 <行為別> ・状況確認 236人 ・帰宅指導 86人 ・迷惑行為 1人 <学識別> ・小学生 161人 ・中学生 131人 ・高校生 26人 ・無職青少年1人 ・その他 4人

(3)3	青少年センター 利用促進	広報活動	年間	広報誌の発行・配布 青少年補導委員連絡協議会広報紙 (はばたき) 2回 要覧(あゆみ) 1回 センター便り(ふれあい) 6回 ホームページでの活動内容紹介 情報交換・収集 関係機関、団体との会議、小・中 学校の巡回活動を通じて、情報の交 換、収集を行う。 講演会、研修会への参加 学校、関係団体等の要請に積極的に 応じるようにし、青少年の健全育 成・非行防止の啓発や青少年セン ター利用促進の依頼をする。	セン ターか らの広 報誌年 9回発 行 講演 会・研 修会等 への参 加50回	セン ターか らの広 報誌年 10回発 行 講演 会・研 修会等 への参 加52回	A	関係機関、団体、学校との連携を図り、青少年の健全育成及び 非行防止のための講演会や研修会、情報交換・収集に努め、情 報発信を行った。 ○広報誌等の発行10回 ・青少年補導委員連絡協議会広報紙(はばたき) 2回発行 ・要覧(あゆみ) 1回発行 ・センター便り(ふれあい) 7回発行 ○講演会・研修会等への参加 52回 ・千教研船橋支会参加 8回 ・中学校生徒指導連絡会参加 32回 ・県補導委員大会参加 1回 ・県補導委員連絡協議会ブロック研修会参加 1回 ・市補導委員連絡協議会研修会参加 3回 ・隣接地域補導関係者連絡会参加 2回 ・市補導委員連絡会理事会参加 5回
(3)3	青少年の健全育 成・非行防止 青少年の自立回 復を図るための 効果的な相談活 動の推進	相談活動	年間	①来所相談 親子、学校教員等の来所による相談 を行う。訪問相談 家庭、学校等を 訪問し、相談を行う。 ②電話相談 随時、電話による相談を行う。 ③メール相談 メールによる相談を行う。 ④継続相談 相談の結果、相当の期間、援助する ことが望ましい青少年については、 継続しての通所・訪問を通じて相談 にあたる。 ⑤小学校訪問 前期(6~7月)、後期(1~2月)に 小学校を訪問し、不登校や問題行動 等について協議を行い、支援につな げる。	来所・ 訪問・ 電話 メール 相談 2,500 件	来所・ 訪問・ 電話 メール 相談 4,329 件	A	ここ数年、新型コロナウイルスの影響で通所・訪問相談の件数 は激減していたが少しずつ相談者は増加してきている。相談を 受け、学校や家庭との連携を図りながら、電話相談、来所相 談、学校訪問、家庭訪問を行い、ケースに応じて関係機関や学 校と連携して対応することができた。児童生徒をめぐる問題 は、今後も多様化、複雑化していくことが予想される。社会の 変化や個々の家庭状況に応じた相談活動や学校支援をしていき たい。 ○来所訪問相談 2,048件 ・不登校 1,175件 ・進路 185件 ・登校渋り 164件 ・集団不適応(反) 161件 ・集団不適応(非) 132件 ・情緒不安定 93件 ・暴力行為 61件 ・いじめ 27件 ・不良交友 15件 ・家出 9件 ・しつけ 6件 ・金品持ち出し 1件 ・その他 19件 ○電話相談 2,276件 ・不登校 1,253件 ・登校渋り 325件 ・集団不適応(非) 165件 ・集団不適応(反) 153件 ・情緒不安定 123件 ・暴力行為 83件 ・家出 44件 ・不良交友 33件 ・しつけ 21件 ・進路 21件 ・家庭内暴力・反抗 8件 ・いじめ 7件 ・その他 45件 ○メール相談 5件 ・その他 5件 ○小学校訪問(前期6月~7月)、後期(11月~12月) ・訪問学校数 35校(訪問回数70回)

(4)1	青少年センターの整備拡充	青少年センターの整備	年間	青少年の健全育成や非行防止に係わる諸活動推進の利便の向上を図る。	なし	なし	/	青少年の健全育成や非行防止に係わる諸活動推進を図るため、関係機関・団体と青少年問題について、協議及び情報交換をおこなった。多様化する青少年の問題に対し、個々に応じて家庭・学校・関係機関・団体などと連携して対応していきたい。
(4)6	青少年の健全育成・非行防止	環境浄化活動	年間	①環境浄化 警察署や青少年の環境をよくする市民の会と連携し活動する。 ②環境調査・点検 学校訪問及び補導活動の際に、環境の点検、啓発活動を行う。	浄化点検活動 400回	浄化点検活動 369回	A	学校訪問及び補導活動の際に環境の点検、啓発活動をおこなった。また、警察署や青少年の環境をよくする市民の会と連携し、20歳未満の飲酒防止キャンペーンに参加した。 ○浄化点検活動 369回 ・センター補導 42回 ・地区補導 151回 ・地区別学校訪問 86回 ・センターパトロール 90回

青少年会館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進							
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値	実績値	達成度	総合評価
(1)1	遊びを通して体力の向上と参加者同士の交流を図る。	屋外レクゲームであそぼう！	5月6日	レクリエーションゲーム体験。	小学生 30人	13人	C	開催日がゴールデンウィーク期間中だったこと、翌週に別事業の「スポンジボールテニス教室」も予定していたことから、参加者の集まりが良くなかったものと思われる。今回、保護者にも参加してもらい、子供たちと一緒に楽しんでもらえた。今後の展開として、親子を対象とした企画も検討したい。
(1)1	遊びを通して体力の向上と参加者同士の交流を図る。	忍者修行道場	6月24日	9～10種類の修行場所（障害物アトラクション）をまわるレクリエーション。	小学生 30人	19人	B	コロナ感染予防のため、参加者が密集しないよう1回当たりの人数を制限した総入れ替え制での実施を考えていたが、参加者数がそれほど多くなかったため、最初のスタートだけ早く来た子供たちで始め、その後は順次、会場に入れて、時間の許す限り自由に遊んで、自由に帰ってもらうこととした。参加者それぞれが思い思いに修行メニューを時間一杯まで楽しんでもらえて、子供たちの体力向上に一役買うことができた。
(1)1	絵を描く技術・スキルの習得や豊かな想像力・表現力を養うとともに、参加者同士の交流を図る。	クレパスチョークアート～クレパスで似顔絵～	7月26日	クレパスを使って、有名人などの似顔絵を描く。	小学生 24人	17人	B	家族や自分、友達など、写真を見ながら似顔絵を描いている参加者も多かったが、漫画やアニメなどのキャラクターを描いた参加者も多かった。アニメのキャラクターを描くのは、似顔絵とは違うようにも思われ、テーマが難しかったのではとも思った。それでも子供たちは思い思いに楽しく絵を描いていた。最後にできあがった作品を集めて、みんなの作品を見せ合っ教室を終えた。次回は、もう少しわかりやすいテーマを考えたいと思う。

(1)1	料理への関心、興味を高め、家庭におけるお手伝いの動機付けを図る。	小学生料理教室	10月7日	家庭におけるお手伝いできる料理を学ぶ調理実習。	小学生 16人	14人	A	講師に考えてもらった調理方法は、子供たちでも簡単にできる内容で、出来上がりにも満足してもらえた。講師から材料や調理手順を説明してもらった後、4つに分けたグループに1人ずつアシスト講師がついて補助をしていただいた。おかげで無事に全員料理を完成することができた。アンケートでも「初めて料理をしたが楽しかった」「難しかったけれど、楽しかった」などの感想が出ていた。これをきっかけに料理などものづくりへの関心を持ってもらえればと思う。
(1)1	宝石石鹸作りを通してものづくりの楽しさを味わうとともに子供たち相互の交流を図る。	宝石石鹸づくり体験	11月18日	宝石石鹸づくり体験教室。	小学生 40人	38人	A	なるべく多くの子供たちに体験してもらいたいため、午前と午後の2回で実施することで講師の了解を得られたため、開催することとした。比較的に小学校低学年の参加が多いため、講座の内容もなるべく簡単で、危ない作業をさせないように考えてもらい、簡単な作業でも楽しめる内容となった。実際に参加した子供たちからも楽しく石鹸が作れたとの感想が多く聞かれ、当初のねらいを達成できたと考える。
(1)1	ケーキ作りを通してものづくりの楽しさを味わうとともに子供たち相互の交流を図る。	クリスマスケーキづくり	12月9日	クリスマスに家でもできるケーキづくりを学ぶ実習。	小学生 16人	15人	A	今回は1~3年生の低学年の参加が多く、たまごを割ったことがない子供もいて、恐々とたまごを割っていたが、上手く出来るとともうれしそうな様子が見られた。グループごとに1つのケーキを作り上げ、それぞれグループの個性が出ていて、みんな出来上がりに満足していた。講師からケーキを焼く際の大事なポイントを分かり易く教えてもらえ、各グループに講師アシスタントに付いていただいたおかげで、無事にケーキを完成することができた。
(1)1	ケーキ作りを通してものづくりの楽しさを味わうとともに子供たち相互の交流を図る。	バレンタインケーキづくり	2月3日	バレンタインデーに向けたお菓子づくり実習。	小学生 16人	14人	A	ケーキ作りは工程も少なく、比較的簡単にできて、時間的に余裕があり、使った調理器具などの後片付けも子供たちにやってもらい、予定時間で終了できた。アンケートでは「ケーキ作りが楽しかった。飾りつけが楽しかった。みんなと一緒にケーキ作りができた。またやりたい。」などの意見が多くみられ、参加者に満足してもらうことができた。このところ、市内の小・中学校でインフルエンザが流行し、学級閉鎖も多く出ており、前日までのキャンセルや当日に体調不良での欠席者が出た。キャンセル待ちの子供たちに入ってもらったが、最終的には定員16人に対して14人の参加となってしまった。参加したい子供が多数いたので、この点は残念であった。

(1)2	書初め課題への学習指導を行い、学校授業の一助とするとともに、参加者同士の交流を図る。	冬休み書きぞめ教室	12月23日	小学校書初め課題の練習と清書。	小学生 28人	19人	B	3~4年生・5~6年生の両クラスとも、今年の参加者は手際が良く慣れている様子で、講師からポイントの指導、アドバイスをもらい、より上手に書けるようになり、終了時間には全員が清書できていた。書きぞめは冬休みの宿題となっており、「書道の先生から指導してもらえないこと」や「家では場所を取るためやりにくい、集中できない」などから教室へのニーズがあり、今後も継続していきたいと考えている。
(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	スポンジボール教室	5月13日 6月10日 7月8日	スポンジボールテニス基礎技術。	小学生 20人	18人	A	募集当初、申込者が少なかったため、3回全部への参加から1回毎でも参加が可能に変更したところ、定員を超える申し込みとなった。教室はレッスンは2時間の設定だったため、低学年の子供たちにとって時間が長く、途中で集中力が切れてしまい、遊んでしまう子どもでいた。コーチも遊びを入れながら指導していた。このことから、最終回は低学年クラスについては、時間を短縮して30分早く終了することにした。逆に高学年の子供たちは、もっとやりたいと、物足りなさそうにしている、対照的であった。
(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	小学生硬式テニス教室	6月3~4日	硬式テニスの基礎技術の習得。	小学生 20人	14人	B	例年、夏休み期間中に開催していたが、午前中でも気温・湿度も高く、受講・指導者とも猛暑の中でのプレーは、体面や熱中症などの面でも厳しいため、今年度から開催時期を前倒しした。しかし、予想外の台風の影響を受け、1日だけの開催となってしまった。2日目は、天気も良く、過ごしやすい天候でみんな気持ちよくプレーができた。講師には初心者、経験者の各クラスに応じた丁寧な指導をしていただき、子供たちからもとても分かりやすかったとの感想が聞かれた。テニスの楽しさや難しさを体感してもらおうことができたと思う。
(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	スポンジボールテニス教室2	9月9日 10月14日 11月11日	スポンジボールテニス基礎技術。	小学生 20人	17人	A	2回目の開催は、市広報掲載のほか、ホームページや館内チラシで早めに告知を行い、参加申し込みが順調であった。前回の参加者が5人いた。今回も学年や経験などから3つのグループに分けて、レベルごとのレッスンを行った。どのクラスも回を重ねるたびに上達していた。一番低学年のクラスは、1~2年生ということもあり、集中力が待たないため、担当のコーチは途中で遊びを交えながら、楽しくレッスンができるように工夫されていた。参加者からは「楽しかった」「またやりたい」「硬式の教室に参加したい」といった感想も多く、楽しんで教室に参加してもらうことができた。

(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	小学生サッカー教室	9月30日 10月1日	サッカーの基礎練習とミニゲーム。	小学生 25人	22人	A	昨年度は、対象を小学校3年生～6年生としていたが、5～6年の高学年の参加が少なく、3～4年生が参加者のほとんどを占めていた。このことから4年生以下のニーズが多いと思われ、今年度は学年の制限をやめて対象を小学生としたところ、定員25名に対して30名の申し込みがあり、1～3年生の申し込みが多く、低学年層のニーズが高いことが分かった。ただ、当日は体調不良や別の用事などでキャンセルが多数出てしまい、実際の参加者は22名になってしまったことが残念である。
------	-------------------------	-----------	----------------	------------------	------------	-----	---	--

令和6年度 青少年関係事業 実施計画書

船橋警察署

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進		
	実施事業	実施時期	実施内容
(1)1	餅つき大会	12月頃	タッチヤング少年剣道全員を対象に、餅つき大会を実施予定。
(1)2	第37回タッチヤング千葉県少年柔道・剣道大会	7月27日	各署で選抜されたタッチヤング少年を対象に、大会に参加予定
(1)2	船橋警察署剣友会納会試合	3月頃	タッチヤング少年剣道全員を対象に、個人戦並びに団体戦を実施予定。
(1)2	少年野球大会	5月～6月中旬	小学生を対象に野球大会を実施予定。
(1)2	船橋警察署長杯	11月頃	タッチヤング少年剣道全員を対象に、大会を実施。

船橋東警察署

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策		
	実施事業	実施時期	実施内容
(1)2	豊富地区少年野球大会	5月26日	青少年の健全育成に向けた少年野球大会を開催する。
(3)3	薬物乱用防止教室、非行防止教室の実施	年間	当署管内に所在する小学校、中学校などに対して、千葉県警察本部少年センターと連携し、薬物乱用防止教室を通じて生徒に薬物乱用及び非行防止について広く周知する。

(4)5	不審者に対する防犯訓練等	年間	当署管内に所在する保育所、幼稚園、小学校、放課後ルーム等において不審者対応訓練を実施し、実際に想定した対応訓練を通じ、生徒や関係者の防犯意識を高める。
(4)5	ネット安全教室	年間	少年センター（サイバー犯罪対策課）と連携し、少年をインターネット犯罪から守るため、ネット安全教室を開催し、インターネットの危険性について周知を図る。

市川児童相談所船橋支所

重点 目標	(2)3児童虐待への対策		
	実施事業	実施時期	実施内容
(2)3	電話相談	毎週月曜日～金曜日	来所によらない相談方法として電話による相談支援を実施する。
(2)3	管内等児童虐待対応担当部署等職員連絡協議会	年5回	管内の児童虐待対応担当職員等を対象とし、研修形式・グループディスカッションを通して、児童虐待対応についての管内各関係機関の連携と専門性の向上を図る。
(2)3	被虐待児グループ指導	年9回程度	虐待により一時保護されている児童について、適切な対人距離や感情コントロールについて学び、肯定的な自己イメージを持てるようになることを目的としてグループ活動を行う。

船橋市自治会連合協議会

重点 目標	(4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)3指導者の養成と資質の向上		
	実施事業	実施時期	実施内容
(4)6	地域児童の見守り	通年	地域において、大人の責任と立場で見守りを実施する。
(4)6	子供たちの交通安全	通年	スクールガードを中心に活動を実施、また、自転車事故の減少の為に、保護者や地域住民が見守ることにより子供たちと一緒に取り組む。

(4)6	子供の為の社会環境の整備	通年	a. あいさつ運動 b. 見守り運動 c. 声かけ運動 を実施する。
(5)3	青少年健全育成講演会、視察研修	効率的な時期を設定	青少年の環境を良くする市民の会と共催で、青少年健全育成講演会および視察研修を実施する。

船橋市民生児童委員協議会

重点 目標	(5)3指導者の養成と資質の向上		
	実施事業	実施時期	実施内容
(5)3	主任児童委員の会	年間	主任児童委員の会代表者会議を開催し、5行政ブロックの代表者が活動・事例報告を行い、各委員間及び関係機関との情報の共有化を図ることで、連絡・協力体制の強化につなげる。

船橋市社会福祉協議会

重点 目標	(1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (4)1施設の整備と拡充 (4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)1青少年関係機関・団体への支援		
	実施事業	実施時期	実施内容
(1)3	青少年ボランティアの育成	年間	市内の学校で車椅子体験、白杖体験、点字体験、高齢者疑似体験等の福祉教育を行い、学校との連携及び青少年ボランティアの育成に努める。 また、中学生向けのボランティア養成講座を行い、青少年がボランティア活動を通して社会参画できるよう努める。
(2)1	明るい家庭とまちづくり運動	年間	地区社会福祉協議会事業を通じて地域や学校等との連携を図る。 世代間交流、子育てサロン等で家庭づくり、親子のふれあい、そして明るいまちづくりを進める。
(4)1	子どもの遊び場の安全点検運動	7月	子どもの遊び場1ヶ所に設置している遊具の整備・点検を行う。

(4)6	地区社会福祉協議会	年間	地域住民が主人公であり、誰もが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して、地域で生活上の諸問題を解決するための様々な仕組みづくりや、新たに必要な事業について、船橋市地域福祉計画と役割を分担しながら地域福祉活動計画（支え合いのまちづくりプラン）に基づき推進に努める。 地区社会福祉協議会は地域住民の参加を基本として、ミニデイサービス事業やふれあい・いきいきサロン事業、ボランティア育成事業、地域福祉まつり事業、広報活動事業、子育てサロン等を実施し、きめ細かに福祉ニーズの課題解決に努める。
(5)1	おもちゃの図書館	年間	東おもちゃの図書館・西おもちゃの図書館の活動に対する支援・協力を行う。
(5)1	こども食堂	年間	ふなばし子ども食堂ネットワーク及び市内こども食堂に対する支援・協力を行う。

船橋地区保護司会

重点 目標	(3)1青少年の就業能力の取得及び就労の支援 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化		
	実 施 事 業	実 施 時 期	実 施 内 容
(3)1	○面接場所の提供と予約 ①対象者、引受人（家族等）面接及び相談 ②一般相談窓口（不良行為その他） ③定期駐在面接場所提供	○定期駐在 毎月第3火曜日・第4木曜日 ・時間帯 9:00 ～ 16:30	・刑務所及び少年院を出所者及び保護観察処分を受けた人の再犯を防ぐ事業。（就業支援・就学支援・生活支援相談） ・千葉保護観察官の定期駐在（月2回）及び担当保護司による対象者面接を随時開催 ・一般市民の相談（非行防止）
(3)3	更生保護活動	年間	保護司、保護観察官との連携による対象者の再犯防止と速やかな社会復帰のため、適正な保護観察の実施。社会を明るくする運動は7月1日から5日、船橋市役所1階ロビーにて「社明と更生保護活動パネル展示会」「更生保護キャラクターぬり絵展示会」7月強調月間として再犯防止推進等の横断幕設置し啓発活動を行う。

(3)3	第74回社会を明るくする運動 ①更生保護パネル展示会（市役所1階ロビー） ②ぬり絵展示会（保育園児）同上 ③作文コンテスト（小中学校） ④啓発広報活動「再犯防止・犯罪防止」等の横断幕設置	●強調月間 7月～9月 ①②パネル展示会 7月1～5日 ③作文コンテスト募集 6月下旬～9月上旬 ④横断幕設置 7月1～31日	・7月の強調月間として犯罪防止・再犯防止の啓発活動としてパネル展示会及び広報活動を行う ・作文コンテストを市内小中学校より公募し優秀作品を県推進委員会へ推薦する。 ・啓発活動の一環で横断幕の掲示、電子看板にも掲載する。
(3)3	更生保護サポートセンターの設置 ①各部会会議場所予約管理 ②各地区処遇会議場所予約管理	平日 月曜 ～ 金曜 開設 ・時間帯 9:00 ～ 16:30	千葉県船橋合同庁舎3階に「更生保護サポートセンター」で市民相談窓口を開設する。 ・非行防止 ・再犯防止 ・薬物乱用防止 ・就労支援 ・地域の処遇会議などを行う。

船橋市スポーツ協会

重点目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進		
	実施事業	実施時期	実施内容
(1)2	春季・夏季市民体育大会	3月～9月	運動公園、総合体育館等を会場に春季38競技、夏季1競技（水泳）を開催予定。
(1)2	秋季市民体育大会	9月～3月	運動公園、総合体育館等を会場に38競技を開催予定。
(1)2	千葉県民スポーツ大会選手等派遣及び強化練習事業	6月～3月	千葉県民スポーツ大会への選手等派遣及び各競技団体による選手強化を行う。令和6年度は第74回大会（R6.1月～11月）及び第75回大会冬季競技（R7.1～3月）が開催予定。

船橋市スポーツ推進委員協議会

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (5)3指導者の養成と資質の向上		
	実施事業	実施時期	実施内容
(1)2	地区スポーツ振興事業	年間 12月1日	スポーツ推進委員を中心に市内各地でスポーツ行事を開催。 (342行事予定) 第9回元気ふなばし健康ウォーキング (300人予定)
(5)3	スポーツ推進委員が携わる各種大会・研修会	6月7～8日 7月6日 11月14～15日 1月19日 2月1日	関東スポーツ推進委員研究大会 (千葉県成田市) 60人 千葉県スポーツ推進委員初任者研修会 (県スポーツセンター) 40人 全国スポーツ推進委員研究協議会 (宮崎県宮崎市) 5人 千葉県スポーツ推進委員研究大会 (香取地区) 40人 学びと集い2024 (県スポーツセンター) 30人
(5)3	スポーツ推進委員協議会の活発化事業	5月25日 6月16日 9月8日 10月27日 12月5日	スポーツ推進委員研修会 (初任者研修) (中央公民館) 70人 第13回スポーツフォーラム (きららホール) 100人 ポッチャ交流大会 (中央大会) (船橋アリーナ) 100人 スポーツ推進委員研修会 (実技研修会・レクリエーション) (青少年会館) 100人 スポーツ推進委員研修会 (リーダー研修会) (船橋市役所) 100人

船橋市青少年相談員連絡協議会

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進		
	実施事業	実施時期	実施内容
(1)1	第59回船橋市青少年キャンプ	7月26～28日	「宇都宮市冒険活動センター」にて市内小中学生を対象に、野外炊飯・キャンプファイヤー等を実施し、団体生活の規律と連帯意識の高揚等を図る。
(1)1	第57回船橋市少年少女交歓大会	5月12日	船橋市・船橋市教育委員会・船橋市少年少女団体連絡協議会と当会で実行委員会を組織し、一般参加の子供たちが一堂に会し、スポーツなどのイベントを通じて交流を深める。

(1)2	第44回船橋市青少年のつどい大会	11月24日	市内の小学生を対象にスポーツ大会を実施する。
(1)2	葛南地区青少年つどい大会	6月29日	船橋市・市川市・習志野市・八千代市・浦安市の5市の青少年相談員が、八千代市を会場に青少年を対象としたスポーツ大会を実施する。

船橋市PTA連合会

重点 目標	(4)6安心・安全な地域社会の構築		
	実 施 事 業	実 施 時 期	実 施 内 容
(4)6	校外・環境委員長研修会	6月	子どもたちの安全を見守る地域や市の取組みを学ぶとともに、自分の身を自分で守る術を体験的に学び、より一層子どもたちの安全のための意識向上につなげるよう、市内小・中学校PTA校外・環境委員長向けに研修会を行う。
(4)6	「ひまわり110番」活動	年間	単位PTAに協力いただきながら、「ひまわり110番」への呼びかけや老朽化したプレートの交換などを行い、地域一体となって子どもたちの安全を高める。また、新規協力者の増員やプレート交換などの一助となるべく、プレートの無償配付を行う。

船橋市少年少女団体連絡協議会

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり		
	実 施 事 業	実 施 時 期	実 施 内 容
(1)1	第57回船橋市少年少女交歓大会	5月12日	船橋市・船橋市教育委員会・船橋市青少年相談員連絡協議会・船橋市国際親善の会と当会で実行委員会を組織し、運動公園にて、当会の子供たちと一般参加の子供たちが一堂に会し、スポーツなどのイベントを通して交流を深める。
(1)1	船橋市・津別町青少年交流事業	8月3～7日	船橋市教育委員会との共催により、津別町の子供たちが船橋市を訪問し、体験プログラム等を通して、異なる生活環境の中で育つ両地域の子供たちが交流を図る。

重点 目標	(4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築		
	実施事業	実施時期	実施内容
(4)2	運営協議会の開催	7月5日 10月11日 1月24日	青少年センター業務実施計画の協議 青少年センターにおける青少年補導と相談の状況報告・協議 船橋警察署及び船橋東警察署、市川児童相談所における青少年の状況報告 青少年の健全育成と相談活動を効果的に進めるために、関係機関、団体等との情報の交換・収集

重点 目標	(3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)6 安心・安全な地域社会の構築		
	実施事業	実施時期	実施内容
(3)3	街頭補導活動	年間	①計画補導 青少年センターの計画に沿って、青少年補導委員が地域毎（市内6ヶ所）の補導、8月を除き、毎月1回行う。 近隣市との合同補導及び情報交換を行う。 ②地区補導 市内中学校を12地区に分け、各地区の計画に沿って、補導委員の居住する地区の補導を行う。 11月には広域列車補導を行う。 ③地区学校訪問 各地区毎に補導委員が地区の小・中・高等学校を訪問し、情報交換を行う。 ④県下一斉合同パトロールの実施（7月）
(4)6	環境浄化活動	年間	①環境浄化 警察署や青少年の環境を良くする市民の会と連携し、活動する。 ②環境調査・点検 学校訪問及び補導活動の際に環境の点検啓発活動を行う。

重点 目標	(4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)4社会貢献活動に対する支援													
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値									
(4)6	啓発活動等を中心にして、市民一人ひとりの交通安全意識の向上、交通安全思想の高揚及び交通事故防止の徹底を図る。	全国交通安全運動に伴う交通安全啓発活動	4月、9月	船橋警察署・船橋東警察署等の関係機関と交通安全啓発活動を行い、交通事故防止の徹底を図る。	なし									
(4)6	交通安全教室を通し交通ルールやマナーを身につける。	交通安全教室	年間	市内保育園・幼稚園等を対象に実施。 内容： ①交通安全指導員によるパネルシアター等 ②模擬道路を使用した横断歩道の渡り方及び信号の見方 ③交通安全DVDアニメ上映	125回									
(4)6	犯罪情報等の提供。	犯罪情報等の提供	年間	ホームページ及び毎月15日号の「広報ふなばし」で、下記表の頻度で犯罪発生件数（ひったくり・空き巣・車上ねらい・自動車盗・特殊詐欺）と交通事故発生件数を掲載する。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; border: none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">犯罪発生件数</td> <td style="text-align: center;">交通事故発生件数</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td style="text-align: center;">月ごと</td> <td style="text-align: center;">月ごと</td> </tr> <tr> <td>広報ふなばし</td> <td style="text-align: center;">月ごと</td> <td style="text-align: center;">月ごと</td> </tr> </table> 警察や学校等から提供される犯罪情報や不審者情報、交通安全情報などを携帯電話やパソコンに電子メールで配信するサービス「くらしの安全・安心情報」を行う。		犯罪発生件数	交通事故発生件数	ホームページ	月ごと	月ごと	広報ふなばし	月ごと	月ごと	なし
	犯罪発生件数	交通事故発生件数												
ホームページ	月ごと	月ごと												
広報ふなばし	月ごと	月ごと												
(4)6	防犯体制の充実。	市民安全パトロール	年間	青色回転灯を装着した3台の市民安全パトロールカー「まもる号」「みはる号」「めぐる号」で市内全域をパトロール。小学生の下校時には、校門付近で駐留警戒や啓発放送を流し、子どもたちに注意を呼びかける。	なし									

(5)4	自主防犯活動の促進。	防犯パトロール隊への支援物資支給	年間	町会、自治会、商店会、その他の防犯活動団体を単位として防犯パトロールを実施している団体に対し、防犯パトロール用の物資を支給（団体の世帯数に応じ1団体20,000円～30,000円相当分を上限）する。 また、物資支給の申請期間経過後、新たに防犯パトロール隊を結成した団体に対し、一定の種類、数の防犯物資を支給する。	結成率 55.5%
(5)4	防犯体制の充実。	船橋ひやりハット防犯ネットワークの構築	年間	市内の事業所・店舗・団体等に協力を求め、不審者や犯罪者を寄せ付けないまちづくりを目指す「船橋ひやりハット防犯ネットワーク」の新規事業所の加盟促進を行っていく。	なし

地域子育て支援課

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	児童健全育成を図るため。	第57回船橋市少年少女交歓大会	5月12日	全児童ホーム参加で「おばけめいろ」を体育館で実施する。参加団体と一般のこどもが楽しめる企画を行い、遊びを通じた児童健全育成を行う。	なし
(4)3	放課後児童育成を図るため。	放課後児童健全育成事業	年間	保護者が労働や病気などで、放課後に子どもだけになってしまう児童を対象に、放課後ルーム事業を実施し、児童の健全育成を行う。	なし

児童相談所開設準備課

重点目標	(2)3児童虐待への対策 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(2)3	要保護児童等早期発見と早期対応。虐待予防。	家庭児童相談室	年間	児童養育に関する相談等を行う。	なし
(4)2	こどもを守る地域のネットワーク。	船橋市要保護児童及びDV対策地域協議会	年間	協議会のネットワークを活用し支援対象児童等の早期発見及び適切な支援を行う。ケース情報の一元管理、関係機関との調整・協力、情報交換を行う。	なし

重点 目標	(3)1青少年の就業能力の取得及び就労の支援 (3)2社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	サポステ基本プログラム	通年	社会人スキルアップ講座、グループワーク、働くための基礎知識、SST、ビジネスマナー、トラブルシンキング等。	2,000人
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	学び直し支援（学校連携推進事業）	通年	高卒認定試験受験のための準備や、小中学レベルの再学習のサポート。	40人
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	若年未就労者合同企業説明会	年2回	就労に悩む若者と若年未就労者に理解のある企業が一堂に会し、お互いのマッチングを行う。（ハローワーク船橋共催）	60人
(3)1	青少年の就業能力の取得及び就労の支援	職場体験プログラム	通年	社会人として、必要な基礎能力の養成、実践的なスキルの習得、職場環境への適合を支援し、早期就職に結びつける。	20人
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	土曜相談会	月1回	若者に関する相談。 保護者の相談。	30人
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	出張個別相談会	月1回	若者に関する相談。	30人
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	就職に役立つ無料パソコン教室	週1回	ビジネス文書作成の為にワード、エクセル、パワーポイントの基本スキルを習得する講座。	200人
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	保護者の会	月1回	保護者の体験談や情報交換、相談。	20人
(3)2	社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援	保護者サポート	年2回	就労の悩みを抱える子と親のかかわり方、船橋地域若者サポートステーションの支援状況などを事例を交えながらセミナー形式で実施。	30人

重点 目標	(4)1施設の整備と拡充				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(4)1	安全性を確保しつつ、重点的かつ効率的に維持管理を行う	公園遊戯施設改築工事	10月～3月	公園の老朽化した遊戯施設の改修を行い、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	遊具31基
(4)1	都市公園の整備	(仮称)三山8丁目公園整備工事及び(仮称)丸山3丁目公園整備工事	9月～3月	新たな公園整備を行い、利用者の快適性や都市防災の向上を図る。	なし
(4)1	既設公園の施設改修、充実化	宮本台公園ほか3公園トイレ改修工事及び浜町中央公園バスケットゴール整備工事	10月～3月	宮本台公園ほか3公園のトイレ改修、園路及び出入口のバリアフリー化を行い、利用者の利便性の向上を図る。	なし
(4)1	運動公園公園の充実化	ミニバスケットハーフコート整備工事	10月～3月	ミニバスケットハーフコートの整備を行い、施設の充実を図る。	なし
(4)1	法典公園の施設更新	管理棟受変電設備改修工事	10月～7年12月	老朽化した法典公園管理棟受変電設備の更新を行い、利用者の安全性を確保するため施設の保全を図る。	なし
(4)1	アンデルセン公園の施設保全	動物舎外壁改修工事、子ども美術館クラフトゾーン外壁屋上改修工事、レストランメルヘン外壁改修工事、北ゲート事務所受水槽改修工事及びコミュニティーセンター外壁塗装工事	6月～3月	老朽化した公園施設の改修を行い、利用者の安全性を確保するため施設の保全を図る。	なし
(4)1	ふなばし三番瀬海浜公園の施設保全	展望デッキ外壁塗装工事及び案内標識移設工事	9月～3月	老朽化した公園施設の改修を行い、利用者の安全性を確保するため施設の保全を図る。	なし

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (1)5 青少年の生活・コミュニケーション能力の増進と指導 (4)4スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	生徒が生き生きと日頃の運動・文化活動を内外の利害関係者に発表する活動を通して、生徒の健全な心身の育成につなげる。	・α祭	9月中旬	・体育の部。体育委員会及び部活動生徒による自主的運営。 ・文化の部。生徒会本部及び文化委員会による自主的運営。	なし
(1)2	生徒が部活動を通してスポーツや科学、文化に親しむ心を育む。	・部活動への参加	年間	・心身・技術のトレーニング。 ・各種奉仕活動。	なし
(1)3	外部機関と連携して、生徒のボランティア精神を育成する。	・異校種交流 ・子ども食堂へのボランティア参加	適時	・小学校や特別支援学校へのコンサート（吹奏楽部）や運動会のボランティア活動 ・市場内の子ども食堂のボランティア（月1回）に有志生徒が参加	なし
(1)5	各種集会を通して、高校生としての適切な生活について様々な場面で説諭することで、生徒に青少年としてのあるべき姿を考えさせ、実践させる。	・交通安全 ・情報モラル集会 ・服装頭髪指導 ・盗難防止活動 ・人権意識の向上	・毎月10日／4月中旬 ・6月上旬 ・年5回 ・年間 ・12月中旬／年間適時	・通学路に職員を適宜配置し交通安全指導を行う。交通安全講話（全校集会）を外部講師を招き実施。 登校時に生活委員会生徒による自転車の乗車マナー指導（自転車マナーアップ隊）・自転車安全点検 ・各種集会時に適宜生徒への案内や外部からの連絡について連絡。 ・ネットモラル向上指導 ・全校集会形式。いじめ投書箱を生徒昇降口に設置（毎日投書確認）。各種集会時に最新情報の提供、被害事例の解説。	なし
(4)4	SC、SSWを適切に活用し、教育相談体制の充実を図ることで、組織的に生徒を支援する。	・教育相談室の活用（SC） ・教育相談室の活用（SSW）	・年間（毎週木曜日） ・年間（毎週水曜日）	・年度当初に職員・生徒全体に相談体制の周知を行う。 ・教育支援部の毎週木曜日の部会において、生徒情報の共有と相談機関との連携を図る。	なし

重点目標	(4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)3青少年の居場所づくりの推進 (4)4スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実 (5)3指導者の養成と資質の向上				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(4)2	学校における生徒指導体制の充実を図る。	船橋市学校・警察連絡委員会	7月4日	学校と警察の生活安全課、交通課からの情報提供及び生徒指導の現代的課題に関する研修を行い、各学校の生徒指導体制の確立を図る。 会場：総合教育センター 視聴覚ホール	市内全小中高特支103校
(4)3	学校における不登校児童生徒への対応の充実を図る。	スクールアシスタント全校配置（小学校・特別支援学校）（新規）	年間	市立全小学校と市立特別支援学校にスクールアシスタントを配置し、児童・生徒の見守りや交流を行い、校内教育支援センターの充実を図る	なし
(4)3	学校における不登校児童生徒への対応の充実を図る。	ピアサポーター配置（中学校）（新規）	年間	県の不登校加配教員未配置校（10校）にピアサポーターを配置し、生徒との交流や見守り、学習支援を行い、校内教育支援センターの充実を図る	なし
(4)4	児童生徒の悩み等に対応できる学校教育相談体制を構築する。	スクールカウンセラー全校配置（中学校）	年間	市立全中学校に配置されている千葉県スクールカウンセラーが、中学生の悩みや不安の相談に対応している。	なし
(4)4	児童生徒の悩み等に対応できる学校教育相談体制を構築する。	スクールカウンセラー全校配置（小学校）	年間	市立全小学校に配置されている千葉県スクールカウンセラー、船橋市スクールカウンセラーが、小学生の悩みや不安の相談に対応している。	なし
(4)4	児童生徒の悩み等に対応できる学校教育相談体制を構築する。	スクールカウンセラー全校配置（高等学校）	年間	市立高等学校に配置されている船橋市スクールカウンセラーが、高校生の悩みや不安の相談に対応している。	なし
(5)3	学校における生徒指導体制の充実を図る。	小・中・特別支援学校生徒指導研修会	1月23日	小・中・特別支援学校の生徒指導主任、主事を対象に生徒指導に関する研修会を実施し、各学校の生徒指導体制の充実を図る。	市立小中特82校
(5)3	学校における不登校児童生徒への対応の充実を図る。	長欠対策研究協議会	4月25日 10月4日	小・中・特別支援学校の長欠担当者を対象に不登校児童生徒に関する講演会や事例検討会を実施し、長欠担当者の資質向上を図るとともに、各学校の不登校対策の充実を図る。	市立小中特82校

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)4健康教育の推進と健康増進の確保				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)2	市内中学校体育の振興を図り、市内中学生の健全育成に寄与する。	中学校総合体育大会	6月29日～7月23日	市内公私立中学校27校16競技、約6,000名の参加による船橋市中学校総合体育大会を実施し、市内中学生のスポーツ活動の推進を図る。	市内公私立中学校27校参加
(1)2	市内中学校体育の振興を図り、市内中学生の健全育成に寄与する。	中学校駅伝競走大会	10月12日	市内中学生約400名の参加により、中学生のスポーツ活動の推進を図る。	市内全中学校26校参加
(1)4	市内における学校給食の健全な発展を促進し、食育の推進に寄与する。	学校給食PR展	2月25～28日	市役所1階美術コーナーにて学校給食をPRする展示を行う。児童生徒の給食の時間の様子がわかる展示、および市ホームページの給食レシピ公開先の掲示を行い、食育への理解を図る。	児童生徒の給食時間の様子がわかる展示パネルを3枚作成
(1)4	歯の寿命を延ばし、健康の保持増進に寄与する。	口腔衛生優良校及び優秀者表彰式	6月20日	市内小中学校より、歯・口の健康に関する図画ポスターコンクールの作品募集を行い、優秀作品の表彰と庁舎一階での展示を行う。新型コロナウイルス感染症の影響で口腔衛生優良校の選出を令和3年度から令和5年度まで見合わせていた今年度は優良校の選出を行い表彰をすることで口腔衛生に関する意識の高揚に努める。	図画・ポスターコンクール参加者200名

重点 目標	(4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策 (4)6安心・安全な地域社会の構築 (5)4社会貢献活動に対する支援				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(4)2	防犯対策及び防犯教育の強化。	児童・生徒防犯対策連絡協議会の開催	年1、2回	地域・保護者・学校・警察・行政等で児童・生徒の防犯対策を推進するため、事業等の協議を実施。	1回以上
(4)5	交通安全教育の推進。	交通安全教室の実施	年間	市民安全推進課及び警察と連携し、交通安全教室を小学校及び中学校で実施。	64校

(4)6	登下校時の防犯対策及び防犯教育の強化。	スクールガード・リーダー	年間	スクールガード・リーダー研修会を定期的開催するとともに、スクールガード・リーダー及びスクールガード、学校、警察等の関係機関と連携しながら、登下校時の防犯対策及び防犯教育の強化を図る。	13回 (研修)
(4)6	防犯対策の強化。	不審者情報の提供	年間	児童・生徒に関わる不審者情報の収集や学校への情報提供及び各関係機関への情報提供を行う。	なし
(4)6	防犯対策の強化。	防犯用品の支給	年間	市内在住の就学前児童を対象に、就学时健診時に防犯ブザーと保護者向けの案内文を配付。	なし
(4)6	防犯教育の推進。	防犯教育の推進	年間	防犯教育用として小学校1年生に「ふなっこのぼうはん」を配付するとともに、小学校2年生に冊子「ふなっこのぼうはん」を活用した学習を促進し防犯教育の推進を図る。	なし
(5)4	登下校時の防犯対策の強化	スクールガード	年間	登下校における子供を見守るボランティア活動をスクールガード事業と位置付け、腕章・帽子を貸与し、防犯活動を促進。	なし

総合教育センター

重点 目標	(2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)4スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの相談体制の充実				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(2)2	不登校児童生徒の保護者・家庭支援を図る。	リフレッシュ講座	年3回(6、10、2月)	相談機関の事業内容の紹介や家庭での対応についての講座を開く。	90人
(4)4	環境に起因する問題を抱える児童生徒の支援を行う。	スクールソーシャルワーカー配置事業	適宜	船橋市立の全中学校区内の26校と市立船橋高等学校に原則週1日スクールソーシャルワーカーを拠点校配置とした。学校(校長)からの派遣申請を総合教育センターで受け、拠点校から該当校へスクールソーシャルワーカーを派遣し、児童生徒・保護者の支援を行う。	280件

文化課

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)2	音楽を中心とした船橋の魅力発信。	ふなばしミュージックストリート	10月19～20日	船橋駅周辺複数会場にて、周遊型のライブイベントを開催する。	来場者：6,000人

(1)2	音楽を通じた世代間交流。	音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭	2月2日	船橋アリーナにて、世代・ジャンルを超えた音楽祭を開催する。	来場者：2,000人
------	--------------	------------------	------	-------------------------------	------------

青少年課

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)3青少年の居場所づくりの推進 (4)5青少年を取り巻く有害環境への対策 (5)1青少年関係機関・団体への支援				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	青少年団体と一般参加の子供たちが交流し仲間づくりを図る。	第57回船橋市少年少女交歓大会	5月12日	運動公園にて船橋市・船橋市教育委員会・船橋市少年少女団体連絡協議会・船橋市青少年相談員連絡協議会・船橋市国際親善の会で実行委員会を組織し、各団体の子供たちと一般参加の子供たちが一堂に会し、スポーツなどのイベントを通して交流を深める。	10,000人
(1)1	他の地域の青少年との交流を体験し、豊かで健全な心身を培う。	船橋市・津別町青少年交流事業	8月3～7日	船橋市を訪問した津別町の子供たちと船橋市の子供たちが、ホームステイや様々な体験プログラムを通して互いの友情と相互理解を深め、時代を担う青少年の健全育成に寄与する。	36人
(1)1	集団野外活動の体験によりたくましい青少年を育成する。	第59回船橋市青少年キャンプ	7月26～28日	「宇都宮市冒険活動センター」にて、市内小中学生を対象に、野外炊飯・キャンプファイヤー等を実施し、団体生活の規律と連帯意識の高揚等を図る。	84人
(2)1	野外活動をとおして家族や参加者同士の交流を図るとともに、船橋市立大神保青少年キャンプ場の利用促進を図る。	青少年キャンプ場イベント	7月～1月	船橋市立大神保青少年キャンプ場にて、市内小学生を含む家族等を対象に、プレーパークやデイキャンプ等の様々な体験活動や工作教室等を実施する。	7事業13回 830人
(2)2	家庭教育上の悩みや問題を持つ保護者を対象として相談の場を設け、青少年の健全育成に寄与する。	家庭教育相談	年間	子育てや家庭教育に関する悩みや問題をもつ保護者等を対象に市内公民館等を会場にして月2回実施。また、電話による相談も随時受け付ける。相談内容によっては、関係機関等を紹介する。	なし
(4)2	各青少年団体の連帯促進・行政との連携強化を図る。	船橋市少年少女団体連絡協議会	年間	各青少年団体の連帯促進、育成支援を図るとともに、行政との連携を強化するために、船橋市少年少女団体連絡協議会を組織・運営する。	なし
(4)2	子どもたちが主体的に考え、学びに向かう力を育み、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとする。	ふなっこ未来大学	8月	近隣に理系の学部を持つ大学が複数存在するといった本市の特色を活かして、大学教授や大学生による専門分野に関する講座を実施し、わくわくするような体験機会を提供することにより、子どもたちが主体的に考え、学びに向かう力を育み、将来の夢や目標を持ち、自己肯定感を高めるきっかけとする。	定員100%

(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	年間	「地域の子供は地域で育てる」という観点から県の少年の日を「ハッピーサタデー」として、各公民館において地域団体等と連携を図り、様々な事業を行う。	75,000人
(4)3	小学校の余裕スペース等を活用した安心・安全な子供たちの活動場所を確保し、放課後等における様々な体験活動や交流活動を支援する。	放課後子供教室推進事業	4月～3月 (月曜日～金曜日)	放課後や夏休み等の子供たちの安心・安全な活動場所を確保するため、小学校の施設を活用した放課後子供教室を全市立小学校55校で実施。	7.0%
(4)5	青少年が安心して生活できる社会環境の実現を目指す活動を支援する。	青少年健全育成のための啓発活動	年間	「青少年の環境を良くする市民の会」が中心となって活動している社会環境浄化運動を支援するため補助金を交付する。	なし
(4)5	ネット環境に対する意識や対応強化。	インターネット安全利用講座	2月	青少年が、携帯電話やスマートフォンとインターネットを適切に利用し、トラブルに巻き込まれないよう保護者啓発の講座を開催する。	2回 計80人
(5)1	地域で様々な体験活動ができるよう各種団体を支援する。	各種団体健全育成補助金交付事業	年間	市内青少年団体をはじめ各種団体が行う健全育成事業に対し補助金を交付する。 (青少年団体7団体・青少年育成団体3団体・青少年育成会55団体)	65団体

生涯スポーツ課

重点 目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (4)1施設の整備と拡充				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)2	スポーツの普及振興及び市民の健康増進に資する。	学校体育施設開放事業	4月～3月	学校教育に支障のない範囲で登録団体等に開放する。	なし

(1)2	広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。	2024船橋市民マラソン大会	未定	運動公園周回コースにて13種目開催予定。 ファミリーペアの部（宣言タイムレース）：2km、小学生（男女）：2km、中学男子の部：3km・5km、中学女子の部：2km・3km、一般男子の部：5km、一般女子の部：3km、高校男子の部：5km、高校女子の部：3km、マスターズ男子（40歳代）（50歳以上）の部：3km、マスターズ女子（40歳以上）の部：2km ※令和6年度の内容は現在検討中のため、変更する場合あり	なし
(1)2	広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。	第69回成人の日記念船橋市民駅伝競走大会	未定	運動公園から総合体育館までの公道を走るコース（19.9km、6区間）にて3種目開催予定。 中学男子、高校男子、一般男子 ※令和6年度の内容は現在検討中のため、変更する場合あり	なし
(1)2	広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。	第43回船橋市小学生・女子駅伝競走大会	未定	運動公園周回コースにて4種目開催予定。 小学校男女混合、中学女子、高校女子、一般女子 ※令和6年度の内容は現在検討中のため、変更する場合あり	なし
(1)2	体力の向上とスポーツの振興及び各種目の普及を図る。	春季・夏季市民体育大会 秋季市民体育大会	3月～9月 9月～3月	小・中・高校・一般を対象に39競技について、春季・夏季大会、秋季大会を開催する。	なし
(4)1	スポーツを行うための環境を整備する。	武道センター改修工事（新規）	6年10月～8年3月 （実際の休館・工事は7年4月～8年3月）	・3階吊天井改修工事（特定天井）・外壁、屋根改修工事・電気関係設備改修工事・給排水設備改修工事（多目的トイレ設置含む）・受水槽改修工事・消防用設備改修工事・内装工事（床、壁、天井）・外構工事（門撤去、駐車場増台）・空調設備設置工事・エレベーター設置工事	なし
(4)1	スポーツを行うための環境を整備する。	運動公園陸上競技場改修工事（新規）	10月～3月	船橋市運動公園陸上競技場の2種公認継続を受けるために必要な消耗品・備品購入及び改修工事を行う。	なし

西図書館

重点 目標	(4)1施設の整備と拡充 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(4)1	10代向けの資料の充実を図る。	YA コーナーの充実	年間	図書館に設置している10代の利用者向けコーナー（YAコーナー）の充実を図る。積極的に資料を収集するとともに、興味を持ってもらえるような資料展示を行っていく。	4館 24回

(4)3	10代の読書推進の向上を図る。	利用者参加型の掲示	年間	コミュニケーションボードを活用し、利用者同士の交流を図れるよう、利用者参加型の掲示を行っていく。	4館 24回
(4)3	10代の読書推進の向上を図る。	中高生への情報誌の発行	年間	YA コーナー全体についての説明や、担当者によるおすすめ本、図書館で開催するイベントの紹介等を掲載した「YA だより」を発行し、全図書館、公民館図書室等、市内中学校・高等学校に配布することで、図書館の積極的な活用につながるよう努める。	4回
(4)3	中高生への情報発信	中高生への情報発信	年間	図書館ホームページ内のYAページやXを用いた情報発信をしていく。	4館 57回
(4)3	10代の図書館利用の向上を図る。	10代の利用者向け事業の実施	年間	10代の利用者の興味・関心の高い講座等の事業を実施する。	4回

中央公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	障害者の交流と社会的自立支援。	青年教室「若草の会」	4月～3月	知的障害を持つ青少年を対象に、スポーツ大会や趣味講座等を実施し、障害者同士の交流と社会的自立を支援する。	9回
(1)1	地域の子供たちの交流。	こどもまつり	6月15日	遊びやゲームなど、体験活動を取り入れ、地域の子供たちの出会いと交流の場とする。	なし
(1)1	青少年の健全育成。	夏休みキッズダンス教室	7月～8月	ダンスを通じ子供たちの情操を豊かにし、健やかな育成を図る。	3回 20人
(1)1	青少年の健全育成。	巡回児童ホーム（小学生わくわくタイム）	5月～1月	地域の小学生が集まる場として、簡単工作やゲーム大会等を通して児童同士の交流、社会性や協調性を育む機会とする。	5回
(2)2	家庭教育の推進。	就学時健診等における子育て学習	11月	小学校の就学時健診の際に、子供の成長発達への理解や生活習慣の大切さなど、家庭教育を見直す学習機会として、家庭教育の充実を図る。	3回
(2)2	家庭教育の推進。	中央公民館本館家庭教育セミナー	2月～3月	親子のコミュニケーション等について理解を深めてもらい、それぞれの家庭でできる取組みについて学べるような内容の実施。	3回

(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	家庭教育セミナー (市内全26館分)	年間	市内のPTAと連携し地域の連帯意識や教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実を図るためのセミナーを開設する。例年通り市内公民館・小・中・特別支援学校を会場とする。	30事業
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診等における子育て学習 (市内全26館分)	11月	引き続き全市立小学校で翌年新1年生となる幼児をもつ保護者を対象に子育て講座を実施する。	市内全市立小学校55校
(3)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	4月～2月	毎月第3土曜日を「ハッピーサタデー」とし、子供たちの豊かな心や健全な精神を培う。	12回

西部公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	3学年の生徒を対処として郷土史学習の一環として、自分たちの住む地域について学習する機会を提供する。	中山まちのむかしといま	12月	小栗原小学校3年生を対象とした郷土に関する講義	1回
(1)1	西部公民館文化祭での発表部門の司会を務めることを最終目的として、人に伝わる話し方を練習する。また、仲間づくりの一環とする。	アナウンサーによる司会体験講座 (新規)	9月	小学生を対象とした司会体験の講座	12人
(1)1	青少年の居場所づくりと健全育成	こどもフェスティバル	3月1日	青少年団体の発表や遊び体験等	2,000人
(2)1	少子化・核家族化が進んだ結果、子育てに対しての不安や悩みを持つ保護者が増えており様々な諸問題が生じている。保護者が集い、交流・相談の場を設けることで、不安や悩みを解消する場とする。	西部子育てサロン	4月～3月	親子フィットネス、コンサート、工作等	3回

(2)1	本を通して子と保護者が楽しいひと時を分かち合い、ふれあう機会を提供することで、幼少期の子どもが健やかに育つための環境づくりの一助とする。	本はともだち	4月～3月 (8月除く)	本の読み聞かせ、工作等	11回
(2)1	親子でスキンシップを通して、心身ともにリフレッシュを図るとともに、子どもとのかかわりを深める機会とする。	親子で楽しもう	11月	ママのボディメイク&ピラティス	1回
(2)1	楽器演奏を聴いたり触れたりする機会を通して、子どもの発達を促すとともに親子がリフレッシュできる場を提供する。	親子ふれあいイベント	年間	親子コンサート	2回
(2)2	小学校に就学する児童の保護者を対象に子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	就学時健診等における子育て学習会	11月	小栗原小学校の保護者に対しての、子育て講演会	1回
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	西部公民館本館家庭教育セミナー	年間	小学校保護者を対象にした家庭教育に関する学習会	3回
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成	ふなばしハッピーサタデー	5月～3月	工作、スポーツ、バレンタインクッキング等	12回

東部公民館

重点 目標	(1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)3	中学生が将来の社会生活を送っていくうえでの進路選択の視野を広げる。	職業講演会	11月	前原中学校の生徒を対象とした職業について考える講演会を実施する。	250人
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、こころ豊かな家庭教育の充実	二宮小学校PTA家庭教育セミナー	9月～3月	二宮小学校の家庭教育に関する学習会を実施する。	60人

(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	年間	軽スポーツフェア・夏まつり・工作・バスハイク・こどもエコ教室・子ども春まつり等を実施する。	2,000人
------	--	----------	----	---	--------

北部公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (1)5青少年の生活・コミュニケーション能力の増進と指導 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	青少年の健全育成及び異学年の児童同士が交流できる場の提供。	巡回児童ホーム 小学生わくわくタイム	5月～2月	簡単な工作、ゲーム大会、集団遊び。	4回
(1)1	青少年の健全育成及び夏休み期間中の読書の奨励。	夏休み読書感想文教室	7月	本の選び方や読書感想文の書き方の基礎や上達のコツを学ぶ。	3回
(1)2	管区内の小・中・高・特別支援学校に発表の場を提供	子どもまつり（新規）	2月	合唱や楽器演奏等、日頃の練習の成果を発表	1回
(1)3	管区内にある小・中・高・特別支援学校の協力の下、地域の連携を計り、児童・生徒による自主活動の推進と異年齢交流。	小・中・高・特別支援学校との事業連携	年間	管区内にある小・中・高・特別支援学校の協力を得て、児童・生徒が文化祭や主催事業での協力スタッフとしての参加やステージ発表などを行う。	3回
(1)5	豊富小学校のクラブへ地域住民の方を講師として派遣し、異年代の触れ合いの場を提供する。	クラブ活動支援事業	5月～2月	豊富小学校のクラブ活動時に、北部公民館にて活動を行うサークルによるウクレレ演奏の指導を行う。	6回
(2)1	親子のふれあい及び保護者同士の情報交換の場の提供。	巡回児童ホーム 0・1・2歳ぽかぽか広場	5月～2月	親子のスキンシップ遊び、紙芝居、保護者同士の情報交換。	5回
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	北部公民館本館家庭教育セミナー	6月～12月	家庭教育に関する学習。	3回

(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診等における子育て学習	11月	家庭教育に関する学習。	1回
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所の提供及び青少年の健全育成。	ハッピーサタデー	5月～2月	こどもエコ教室 他	12回
(4)3	学習意欲がありながら、学習場所が確保できない小・中・高校生の方を対象に、公民館の空き部屋を夏休みの学習場所として開放する。また、公共施設としての有効活用を図ると共に、児童・生徒の学習場所確保に利便を図り、学力の向上に寄与する。	とよとみスタディスペース	7月～8月	予約のない部屋を学習スペースとして開放	なし
(4)3	地域団体等と連携・協力して休日の居場所の提供及び青少年の健全育成。	外国の友達と遊ぼう（新規）	6月～7月	外国の子供達と遊びをとおして言語や文化を体験する	1回

二和公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	夏休みの課題に役立つような作品を制作し、物作りの楽しさも体験できる教室を開催する。	夏休み子供工作教室	7月26日	地球温暖化とSDGsを学びながら、ソーラーヘリコプターを作る。	20人
(1)1	二和公民館管区内の児童を対象に、家庭でも手軽にできる親子のパン作り体験教室を実施する。	簡単パン作り教室（新規）	5月11日	簡単な道具と材料で作れる親子パン作り体験	24人

(1)1	船橋二和高等学校書道部の顧問と部員を講師に招き、書初め指導を通して異年齢交流と仲間づくりの機会を提供する。	子供かきぞめ教室	12月	書初めの指導	16人
(1)1	読書離れの傾向にある小学生に対し、文章構成や表現方法について学ぶ機会を設けることで、文章表現への苦手意識の克服と表現力向上を目指す。	読書感想文の書き方講座	8月17日	本の選び方や読書感想文の書き方に関する学習機会を提供する。	10組
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	二和小学校PTA家庭教育セミナー	6月～2月	家庭教育の充実に目指した学習。	3回 60人
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	三咲小学校PTA家庭教育セミナー	5月～2月	家庭教育の充実に目指した学習。	3回 60人
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー	5月～3月	体育レクリエーション、菓子作り、工作教室、他。	10回

三田公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	子ども達が職業について考え体験する	職業研究講座 夏休みに楽しく学ぼう！絵本作家・イラストレーターのお仕事	8月	職業についてのお話しと体験等	1回
(2)2	家庭教育の推進	就学時健診における子育て学習	11月	小学校の就学時健診の際に、子供の成長発達への理解や生活習慣の大切さなど、家庭教育を見直す学習機会として、家庭教育の充実にを図る。	3回
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する	三山小学校PTA家庭教育セミナー	5月～2月	家庭教育に関する学習	4回

(4)3	学校や地域団体と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ふなばしハッピーサタデー	年間	子どもフラワーアレンジメント教室、遊びながら楽しく学ぼう！楽しいゲームとロープワーク、軽スポーツで楽しく遊ぼう！（6月・9月）、夏のおたのしみ会、夏休み！子どものための映画とお楽しみの会、職業研究講座、親子理科実験教室、秋のお楽しみ会、冬のお楽しみ会、スポーツとお正月遊びを楽しもう！、三田公民館子どもまつり、春のお楽しみ会	13回
------	---	--------------	----	--	-----

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	環境保護の意識を身につけてもらえるよう学習する。	こども環境教室	8月	地球環境保護の学習と工作。	20人
(1)1	地域の子供達に創作体験や遊びを通して、豊かな心を育むとともに、異年齢交流を図る。	こどもフェスティバル	9月	青少年の交流と自主活動の促進を図る。	未定
(2)1	乳幼児親子から児童まで、本を身近に親しみ、読書の楽しさを伝える。	絵本の読み聞かせ	4月～3月	社会教育関係団体と連携して毎月1回開催し、幼少期からの読書活動の推進を図る。（全12回）	120人
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	家庭教育セミナー	9月～1月	家庭教育力の向上を図るための講座を実施。	未定
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	地域の団体と連携して、自然体験などを実施。	10回

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)4健康教育の推進と健康増進の確保 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)2家庭・地域・学校等の連携手段の構築 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	小学生を対象に盆踊りを学び、お祭りに参加することで、地域に根差した文化を理解すると共に地域住民との異世代交流を図る。	夏だ、祭りだ、盆踊り	8月	地域のレクリエーションダンス、民舞サークルを講師として、公民館講堂に皆で手作りのやぐらを作り盆踊りの練習を行い、地域の夏祭りの盛り上げに寄与する。	1回
(1)4	シルバーリハビリ体操指導員であり、ラジオ体操指導員でもある講師により、誰もができるラジオ体操や、軽運動の指導を受け、幅広い世代が集い健康増進と地域交流を図る。	みんなでラジオ体操！（新規）	8月	ラジオ体操月間となる夏休み期間に設定し、空調が整う講堂にて開催し、高齢者を含めて体調管理に留意し無理なく楽しめる機会とする。	1回
(2)1	親子でのリトミックを通して日頃家庭で育児をしている保護者の心身のリフレッシュを図るとともに保護者同士の交流の場とする。	親子リトミック	6月、11月	1歳から就園前の親子リトミック体操。	計30組
(2)1	日頃、子育てに追われている保護者に、無理なく身体を動かす場を提供し、ストレスを解消して親子共々リフレッシュする。	親子ヨガ	6月、10月	親子でのヨガを通して日頃家庭で育児をしている親の心身のリフレッシュを図る。	計30組
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	家庭教育セミナー	6月～1月	家庭生活、家庭教育に関する学習。 八栄小学校PTA、ひまわり幼稚園が参加。	計6回
(2)2	多くの保護者が参加する就学時健診の機会を捉えて子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	就学時健診における子育て学習	11月	子育て学習講座。（八栄小学校、夏見台小学校共催）	計2回

(4)2	郷土資料館が長年取り組む「暮らしの道具と生活展」で紹介する収蔵資料を活用し、同館学芸員を講師として招き、地域の三世代が集い、それぞれの時代の生活道具を題材としてグループワークを行い暮らしの変遷、地域史を学ぶ。	おじいちゃん、おばあちゃんが子どもの頃を聞いてみよう～郷土資料館「暮らしの道具と生活展」連動企画～（新規）	1月	当館と郷土資料館が一昨年から取り組む回想法を取り入れた講座をベースとして、子どもたちには新たな出会いを、大人たちには自らの体験を懐かしみながら子どもたちに伝える交流の機会とする。	1回
(4)3	学校週5日制に対応した事業として実施する。子供たちがスポーツや文化活動に参加し、豊かな心や健全な精神を養う。	ハッピーサタデー	5月～3月	子供たちがスポーツや文化活動に参加し、豊かな心や健全な精神を養うとともに居場所づくりとして実施。	11回
(4)3	視聴覚教材等の映画を身近な公民館で上映することで青少年の健全育成を図るとともに、地域の拠点である公民館を居場所として学校間を超えた交流の場とする。	シネマなつみ	4月～3月	定期的な映画会の中に青少年も観覧できる日時・内容で上映する。（12回上映）	計3回

海老が作公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	様々な催しを通じ、子供たちがともにふれあい楽しむ経験をする機会を提供する。また異世代間の交流の場とする。	えびがさくこどもまつり	2月	地域の子供たちの集いの場、交流の場として開催。製作や遊びのコーナー、チャレンジランキングなどの体験を通して、仲間づくりの場とする。	なし
(2)1	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、家庭教育の充実を目指す。	海老が作公民館本館家庭教育セミナー	年間	地域の家庭教育充実のため、研修講座や、親子のふれあい事業を実施していく。	3回
(2)2	多くの保護者が参加する就学時健診の機会を捉えて子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	就学時健診等における子育て学習会	11月	小学校就学時頃の子供の成長発達の理解や、基本的な生活習慣の大切さ等の家庭教育を見直すための学習機会を提供する。	1回

(4)3	地域の団体や学校と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	地域の青少年関係団体等と連携して、子供たちにスポーツや製作などの様々な体験や交流の機会を提供する。	9回
------	--	----------	-------	---	----

高根公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	自然の残っている地域性をいかし、その自然環境について学び体験をするとともに、講座を通して地域の方どうしの交流を図る。	親子自然観察会	8月	金杉緑地の自然を親子で観察する。	親子5組
(1)1	夏休みの子供たちに時間がある時期を狙って、管区の工務店の協力で日本の木材を使用し、工作する。	夏休み工作講座	8月	日本の木材を使って工作する。	12人
(1)1	高根小学校1・2年生と地域住民との昔遊びを通じて、異年齢の交流を図るとともに子供の情操教育の支援を図る。	昔あそび体験交流学習	1月	折り紙・コマ等の昔あそび体験。	60人
(1)1	夏休みの子供たちに時間がある時期を狙って、社会教育団体の講師もつとめている方の協力でステンシル技法による染め物を体験する。	ステンシル体験（新規）	7月	Tシャツを南国模様の柄に色を染めて世界に一つだけのTシャツを制作する。	10人
(1)2	卓球を通して青少年の身体育成及びスポーツへの興味と関心を育てる。	青少年向け卓球開放	5月～3月	卓球開放	200人
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	高根公民館本館家庭教育セミナー	6月～2月	子育てなど家庭教育に関する学習	3回
(4)3	青少年の学習支援と居場所づくりを目的に、公民館の当日の空き部屋を学習場所として提供する。	空き部屋開放事業	5月～3月	当日の空き部屋を開放して、学習場所として提供する。	100人

(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ふなばしハッピーサタデー	5月～3月	子ども卓球教室・多文化を学ぼう・お札と切手のお話・子ども電気工作教室・ダブルダッチに挑戦しよう！・レザークラフトをやってみようなど。	1,000人
------	------------------	--------------	-------	--	--------

小室公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の子供たちや親子が集い、創作体験や遊びを通して成長し、豊かな心を育むとともに、「思い出づくり」の場となることを目的とする。	小室こどもまつり (※ハッピーサタデー事業)	10月5日	ゲーム・遊び・工作・模擬店など。	計100人
(1)2	子供たちに文章力を身に付けてもらうこと、読書・文学に関して興味を持つことを図る。	夏休み読書感想文教室	7月25日 8月1、7日 (全3回)	読書感想文の書き方を指導する。 ①「本との出会いと受け取ったもの」 ②「感想文の組み立てと書き方」 ③「感想文の見直し」	16人
(1)2	自分の好きなこと、得意なことを伸ばすことを目的とし、漫画を描くことで将来に向けて自らの才能を開花させる一歩とする。	夏休み！漫画の描き方教室（新規） (※対象：小学校高学年・中学・高校生向け)	7月24、31日 (全2回)	漫画の描き方をプロから学ぶ。 第1回目 デッサン基礎編 第2回目 プロわざ編	小中高生 20人
(2)1	乳幼児が楽しめる内容のクリスマス会。	乳幼児クリスマス会 (※児童ホームとの共催事業)	12月20日	未就学児親子対象クリスマス会 ハンドベルのコンサート	25組
(2)1	親子でふれあいながらヨガやマッサージを楽しむ機会を作る。	KeKeちゃんのリラクゼーションタイム (※児童ホームとの共催事業)	2月20日	①親子ヨガ ②親子でふれあいマッサージ	20組

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。小室小学校、小室中学校のPTAと連携し、家庭教育力の向上を目指す。	小室公民館本館家庭教育セミナー	①6月22日 ②8月3日 ③10月26日 ④11月16日 ⑤2月15日	現代の子供に関わる問題を学んだり、親子で楽しむ。講演会・講習等。 ①「プチプチ防災講座」 ②「JAL・空のお仕事講座」 ③「日ハム・飾り切り教室」 ④「親子で手作りケーキ教室」 ⑤「親子で落語会」	<5回開催> ①15組 ②30人 ③20組 ④8組 ⑤20組
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー (※こどもまつり除く)	①5月11日 ②6月8日 ③7月20日 ④7月26日 ⑤9月7日 ⑥10月12日 ⑦11月17日 ⑧11月30日 ⑨1月18日 ⑩2月1日 ⑪3月15日	軽スポーツ・ゲーム大会・ウォーク 折り紙ヒコーキ、もの作り等	11回実施

浜町公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	浜町地区の子供達が自由に遊び、交流し自主性・創造性を伸ばしていくことを目的に実施する。また、このまつりを通して、「子供は地域で育てる」という大人の意識と連帯を醸成し、“子育てのまちづくり”を目指す。	わんぱくフェスタ	2月	模擬店・体験コーナーなど、各団体による催し物。	1回
(2)1	目の前に展開する三番瀬や東京湾を通して海について学び、団体行動の体験と親子の交流を図る。	海とのふれあい講座 親子海洋教室	9月	はぜつり体験 ヨット体験	2回
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	家庭教育セミナー	7月～3月	家庭教育に関する講演や講義。	3回

(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	毎月1回	ポッチャ、親子でシネマ、夏祭り他	10回
------	--	----------	------	------------------	-----

習志野台公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	環境保護の意識を身につけてもらえるよう学習する。	夏休みエコ教室	8月8日	SDGsの話、工作など	1回
(1)1	夏休み課題のポスター制作の助力とする。	夏休みこどもポスター教室	7月	ポスターの描き方の指導	3回
(1)1	将棋を通して読解力、創造性を養い、参加者との交流を図る。	夏休みこども将棋教室	8月	駒の動かし方や将棋の考え方を勉強し、将棋の楽しさを理解する。	2回
(1)1	冬休み課題の書初めの助力とする。	書初め教室	12月21日	書初めの書き方の指導	1回
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	習志野台公民館家庭教育セミナー	5月～2月	ベビーマッサージ、親子フィットネス、わらべうた、ボディメイク&ピラティス。	4回
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診を活用した子育て学習	11月	心を動かす関わり方、1年生になる前に 学童期の子育てに備えて（習志野台第一・習志野台第二・高郷小学校）	3回
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	軽スポーツ、コンサート、もちつき大会他	11回

八木が谷公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)5青少年の生活・コミュニケーション能力の増進と指導 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の青少年を対象に体験活動を通した仲間づくりを進める。	ドローン体験講座	8月	ドローン体験やドローンを動かすプログラミング入門講座	20人
(1)2	地域の青少年を対象にスポーツや文化活動等に親しむ環境づくりを進める。	走るコツを学ぼう(新規)	10月	より速く走れるよう走り方の基本を学ぶ。	20人
(1)2	地域の青少年を対象にスポーツや文化活動等に親しむ環境づくりを進める。	書き初め教室	12月	書き初めを習う。	24人
(1)2	地域の青少年を対象にスポーツや文化活動等に親しむ環境づくりを進める。	手まり作り教室(新規)	2月	日本に古くからある玩具、手まりを作る。	15人
(1)5	読書に親しむ機会の充実。	読書感想文教室	7月	本の読み方から感想文の書き方まで習う。	16人
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー	年間	「子供の居場所づくり」を目的に様々な創作活動・スポーツ・遊びに挑戦する。	488人

飯山満公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (1)3得意な分野やボランティア活動で社会参画する青少年の育成 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の子供たちが体験活動や遊びを通して成長し、豊かな心を育むことを目的とする。	はさま子供まつり	3月2日	地域の諸団体と連携して、ゲーム・工作・模擬店等を実施する。	5,000人

(1)1	青少年の体験・交流活動と読書活動の推進を図る。	夏休み宿題応援企画 「図書館探検と読書感想文教室」 (新規)	7月24日 8月7日	選書と職場探検を兼ねた図書館訪問と、読書感想文の書き方教室。	10人
(1)1	学習機会を提供することで、学校、地域、家庭の連携をはかり、地域の教育力の向上を目指す。	夏休み宿題応援企画 「理科実験工作教室」	7月26日	小学生を対象とした理科実験工作教室を開催し、高校生理科部生徒と実験をしながら、自由研究の題材を考えるきっかけを提供する。	24人
(1)1	学習機会を提供することで、学校、地域、家庭の連携をはかり、地域の教育力の向上を目指す。	冬休み宿題応援企画 「書き初め教室」	12月21日	小学3年生から6年生の初心者を対象とした書き初め教室を開催し、高校書道部生徒と書き初めの宿題を仕上げる。	25人
(1)2	学校、地域、家庭の連携をはかり、地域の子供を地域で育てる体制の整備・充実を図る。	クラブ活動支援 (新規)	6月26日 9月11日 10月30日 11月27日 12月18日 1月29日 2月19日	公民館を拠点に活動するサークルによる小学校のクラブ活動支援	7回
(1)2	スポーツを体験する機会を提供することで、学校、地域、家庭の連携をはかり、地域の教育力の向上を目指す。	夏休み卓球教室	8月2日	小学生を対象とした卓球教室を開催し、中学校卓球部生徒との異年齢交流を図る。	24人
(1)3	中学生が将来の進路や職業を選択するための学習の場を提供し、職業に対する知識や心構えを育み進路選択の視野を広げる。	二宮中学校職業講演会	年間	様々な分野で活躍されている方を招き、中学生への職業についての講演会。(学校の進路指導を側面支援)	250人
(2)2	就学時健診時に、多くの保護者が集まる機会を利用し、子育てやしつけなどの子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	飯山満小学校就学時健診における子育て学習	11月	新年度、小学校に入学する児童の保護者に、子育てやしつけなどに関する学習機会を提供する。	1回

(2)2	就学時健診時に、多くの保護者が集まる機会を利用し、子育てやしつけなどの子育て学習を実施し、家庭教育の向上を図る。	飯山満南小学校就学時健診における子育て学習	11月	新年度、小学校に入学する児童の保護者に、子育てやしつけなどに関する学習機会を提供する。	1回
(2)2	子どもたちが心身ともに健全に成長する上で、家庭教育の果たす役割が重要である。職業について考えることで、視野を広げ、選択肢を増やし、自分の将来について向き合うことを促す。	家庭教育セミナー	年間	地域全体で家庭教育を支える仕組み作りが必要なことから、家庭教育に関する学習機会や情報を提供する。	3回
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月11日 10月5日 11月16日 1月18日 3月2日	くまちゃんのカップケーキ作り、かけっこ教室、テラコッタの雪だるま作り、アニソクラシックコンサート、子供まつり	5回

丸山公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	丸山公民館区の子どもたちが学びや体験を通して豊かな心を育むとともに、健全な成長を図る。	第40回子どものつどい	3月2日	作品展示、子ども発表会、手作り遊びコーナー、ゲームコーナー、おはなし会、もちつき大会	3,000人
(1)1	乳幼児期、低学年に大切な読み聞かせの重要性を伝え、活発な読書活動につなげる。また、コミュニケーション能力の育成のため読み聞かせの機会を作る。	丸山おはなし会	4月20日 5月18日 6月15日 7月20日① 7月20日② 9月21日 11月9日 12月21日 1月18日 2月15日 3月15日	幼児・小学生へ向けて絵本の読み聞かせなどを行う。小学校へチラシを配付しているが、掲示板などで未就学児などにも告知する。	11回

(1)1	青少年の健全育成及び児童同士が合流できる場の提供	巡回児童ホーム(小学生わくわくタイム)	5月～2月	児童ホーム職員が指導し、工作やスポーツなどで体を動かしながら友達同士で交流を深める。	8回
(2)1	親子のスキンシップを育み、家庭から出る子育て環境のトレーニングを行う。	巡回児童ホーム(0.1.2歳ぽかぽか広場)	5月～2月	親子のスキンシップを育み、家庭や家族以外の環境に慣れるトレーニングを行う。	8回
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	丸山公民館本館家庭教育セミナー	10月～11月	保護者にとって家庭教育の一助となるような講座を開催する。	3回
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時検診等における子育て学習	11月	新入生の保護者を対象に子供との向き合い方等についての講演会を開催する。	2回
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	年間	子供たちの体験機会の場として、軽スポーツ、工作教室、お菓子作りなどを実施する。	12回

塚田公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の子供たちや親子が集い、互いに触れ合い交流することで青少年健全育成の場とする。	塚田公民館こどもまつり	2月15日	塚田児童ホームと共に開催、工作やゲーム、ニュースポーツ、絵本の読み聞かせ、模擬店など。	2,000人
(1)2	幼児期における情操の発展と読書活動の推進を図る。	こどもおはなし会	4月～3月	絵本・紙芝居の読み聞かせ。	20回
(2)1	幼児を持つ母親・父親が安心して交流できる場と、子育ての学習機会を提供することにより、親同士の友だち作りや子育ての不安解消を図る。	子育て支援ひよこ広場	4月～3月	保健師による健康&子育て相談、親子で楽しむヨガほか。	12回

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	本館家庭教育セミナー	6月～12月	心豊かな家庭教育に必要な学習機会の提供。	3回
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供	就学時健診等における子育て学習	11月	就学時健診における家庭教育学習。	3回
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー	5月～3月	塚田児童ホームとも協力しながら行うスポーツ、工作、料理などのさまざまな体験活動。	11回

宮本公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	一輪車の乗り方を習得しながら交流を図る。	一輪車教室	11月9～10日	一輪車の乗り方の練習。	20人
(1)1	子供たちが地域の歴史について興味を持つ機会の提供。	地域の歴史を学ぼう	7月～8月	地域の歴史・史跡についての学習。	20人
(1)1	夏休み親子で工場見学	親子で地域の工場を見学しよう (新規)	7月～8月	夏休みの機会をとらえて親子で地域の工場を見学する。	8組
(1)1	子供たちが遊びや製作活動を通し、交流を深める。また、公民館利用団体及び地域諸団体が同じ事業を実施することにより、地域の連携を図る。	みやもとこどもまつり	3月10日	遊びコーナー・人形劇・紙芝居・民話の語り・折り紙・模擬店など。	6,000人
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	家庭教育セミナー	6月～2月	幼児及びその保護者を対象とした、家庭教育の学習。	60人

(2)2	管内小学校の就学時健診の機会を捉えて、子供の成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診における子育て学習	11月	子育て講座の実施。 (市場小・宮本小・峰台小)	3回
(2)2	親子のコミュニケーションを図るとともに、生活にプラスになることについて学ぶ。	親子の趣味教養講座	未定	親子で趣味を楽しむ。	15組
(2)2	親子のコミュニケーションを図るとともに、食育について学ぶ。	親子の料理講座	未定	親子で料理を楽しむ。	12組
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ハッピーサタデー（こどもまつりを除く）	5月～2月	工作、お化け屋敷、軽スポーツ、体験、クリスマス会、料理など。	350人

三咲公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	文章を読むこと表現することが不得意な子供を対象に、書き方のポイントや本の選び方などを学び、読書の楽しさを知るための講座を提供する。	夏休みこども応援プロジェクト 夏休み読書感想文教室	8月3、10日	読書感想文の書き方、本の選び方を学ぶ。	12人
(1)1	世界中で問題となっている地球温暖化について学び、親子で考える機会を提供する。	夏休みこども応援プロジェクト 親子環境講座（新規）	7月27日	親子で地球温暖化、環境マークについて学ぶ。	15組
(1)1	社会には様々なハンデキャップのある方がいることを知り、また体験を通してその方たちの気持ちを少しでも理解することを目的とする。	夏休みこども応援プロジェクト バリアフリーアクセサリ作り（新規）	8月1日	片手で作るバリアフリーアクセサリ作り体験。	15名
(2)1	乳幼児の親子対象に親子のスキンシップを図り、家族の絆を深める。	三咲公民館本館家庭教育セミナー	4月～2月	親子ピクス 他	3回

(4)3	地域団体と協働し、子供たちにスポーツや文化に親んでもらい、地域との交流や、子供たち同士のつながりを深める。	ハッピーサタデー	5月～2月	お菓子作り、折り紙ヒコーキ教室、夏のお楽しみ会、けん玉教室、こどもまつり 他	9回
------	---	----------	-------	--	----

新高根公民館

重点 目標	(4)3青少年の居場所づくりの推進 (4)6安心・安全な地域社会の構築				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	子供たちがスポーツや文化に親しめるようにする。	計200人
(4)6	地域の団体と連携して、地域の子供たちが安心して暮らせるような地域づくりを目指す。	しんたかねこどもまつり	3月9日	地域の団体と連携して、木のゲーム広場、ペンシルパルーン、ボディペイントアート、おはなしの部屋、作って遊ぼう！うたとフラとウクレレにさわろう、その他催物を実施する。	計1,000人

葛飾公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の子供たちの交流	こどもまつり	2月16日	地域の諸団体からなるこどもまつり実行委員会を立ち上げ、レクゲームや工作などの体験活動をとおして、子供たちの交流の場をつくる。	1回
(1)1	地域社会の連携や教育力を高める	ロボラボ教室	8月	小学生の生徒を対象にロボットカートを使用し、楽しみながらプログラミング体験ができる機会を提供する。	1回
(1)1	地球温暖化と再生可能エネルギーについて考える場の提供	環境講座	7月25日	環境についてのお話しと工作キッドを用いた学習	1回
(2)1	子育て世代の交流と仲間づくりの場の提供。 子育てに関する悩みの相談。	すまいる広場	5月～3月	0～1歳6ヶ月の子を持つ保護者を対象に保護者同士の情報交換等の交流や仲間づくりの場を提供し、子育ての不安解消の一助とする。	10回

(2)1	子育て世代の交流と仲間づくりの場の提供。 子育てに関する悩みの相談。	ちびっこ広場	4月～3月	乳幼児を持つ保護者を対象に保護者同士の情報交換等の交流や仲間づくりの場を提供し、子育ての不安解消の一助とする。	12回
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	家庭教育セミナー	8月～12月	「親子で遊ぼう！楽しい家庭生活」をテーマに、小学生とその保護者が関心を持ち、実生活に役立つような内容で、楽しく交流しながら心と体について学ぶための講座を実施する。	3回
(2)2	子どもの成長発達への理解や基本的な生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会の提供。	就学時健診における子育て学習	11月	小学校での就学時健診の機会を利用した子育て学習会を開催することにより、入学前の保護者の不安の解消につなげることを目的とする。	2回
(4)3	青少年の居場所作りと健全育成。	ハッピーサタデー	5月～2月	小学生を中心とした地域の子供たちの居場所作り、スポーツや遊びをベースとした総合学習を目的に、月1回開催する。基本的に自由参加とするプログラムを実施する。	10回

薬田台公民館

重点目標	(1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)2	学校と地域が連携して、青少年の健全育成を行う。	クラブ活動支援事業	5月～3月	薬田台小学校のクラブ活動（和太鼓）を支援する。	10回
(2)1	健全な家庭生活と親子のふれあいの学習。	カンガルーぼっけ	4月～3月	乳幼児親子が交流できる機会を提供する。	4回
(2)2	家庭教育の向上に寄与する。	本館家庭教育セミナー	年間	家庭教育に関する学習。	3回
(2)2	家庭教育の向上に寄与する。	薬田台南小学校PTA家庭教育セミナー	年間	家庭教育に関する学習。	3回
(2)2	家庭教育の向上に寄与する。	就学時健診等における子育て学習	11月	子育て学習。	なし
(4)3	青少年の居場所づくりと健全育成。	ふなばしハッピーサタデー事業	5月～3月	走り方教室・親子エコクッキング・交通安全・書初め・子どもまつり 他	11回

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の子供は地域で育てるを目標として、子供を対象に手作りの楽しさや参加する喜びを体験させるとともに異学年や世代間の交流の場とする。	こどもまつり（フェスタin松が丘）	2月15日	ゲームコーナー、工作、ボッチャ体験など。	なし
(1)2	地域全体で学校を支援する活動の一環として、社会教育関係団体などの公民館利用団体が小学校のクラブ活動の時間(年6回)に講師となり、児童を指導することによって学校支援と地域社会づくりに寄与する。	クラブ活動支援事業	5月29日 6月26日 9月13日 11月13日 12月11日 1月22日	太鼓、茶道、ニュースポーツをサークル会員などからそれぞれ指導を受けて体験する。	なし
(1)2	親子で陶芸の楽しさや参加する喜びを体験させるとともに親子のコミュニケーションの場とする。	親子で陶芸に挑戦	7月27日 8月10日	作陶、絵付け、釉がけを体験する。	12組
(1)2	図書に親しむ機会をつくるとともに夏休みの宿題対策として活用してもらおう場とする。	夏休み読書感想文教室	7月24、26日 8月2日	読書感想文の書き方について学ぶ。	15人
(2)1	子育て支援事業として、乳児親子を対象に子育てについての育児不安の解決を図るとともに参加親子同士の交流の場とする。	子育て支援事業「おひさま」	4月～3月	松が丘地区社会福祉協議会と共催により乳児親子を対象に遊び場を提供し保護者同士の仲間づくりを支援する。	なし
(2)1	親子のスキンシップを育み「孤育て」になりがちな子育て世代の仲間づくりの場とする。	親子ビクス	9月～2月	松が丘児童ホームとの共催でビクスを通して親子で運動する場を提供する。	なし
(2)1	親子を対象としたクリスマスイベントを開催し、親子の交流を深める。	親子クリスマス会	12月8日	松が丘児童ホームとの共催で演奏会とクリスマスカード作りを楽しむ。	30組

(2)1	楽器演奏を聴いたり触れたりする機会を通して、親子がリフレッシュできる場を提供する。	オータムコンサート	10月13日	松が丘児童ホームとの共催で楽器演奏を聴いたり触れてみる。	90人
(2)1	親子を対象として絵本の読み聞かせを通して図書に触れる機会を提供する。	おはなし会	5月～3月	松が丘児童ホームとの共催で社会教育団体の会員が絵本の読み聞かせをする。	なし
(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	本館家庭教育セミナー	12月～2月	「親子で地域の活動体験をしよう！」をテーマに親子のふれあいと地域との交流を図り地域で子供を見守る気運を高める。	3回
(2)2	子供の成長発達への理解や基本的生活習慣の大切さ等、家庭教育を見直すための学習機会を提供する。	就学時健診等における子育て学習	11月	家庭教育の重要性を多くの保護者に理解してもらうために、就学時健康診断の機会をとらえて、子育て学習を実施する。	1回
(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	こども環境講座、プラバンと工作、ボッチャ、書き初め教室、ビーズ工作など。	10回

高根台公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域周辺に在住の子供とその保護者を対象に、交流と情報交換を図り地域の輪を広げていく。	たかね台子どもまつり 春だ！ジャンプだ！ 2024	3月	あそび、ゲーム体験や人形劇などの鑑賞。	3,000人
(1)1	お正月の伝統的な外遊びである凧あげの大会を実施し、手作り凧を中心に昔遊びの楽しさと奥深さを知るとともに、参加者の交流を図る。	新春 子ども凧あげ大会	1月	昔から伝わるお正月の外遊びである“凧あげ”の楽しさを知り、地域における児童の交流を図る。	20人
(1)1	少子高齢化が進む地域の状況の中で、子ども達の健やかで健全な成長を願い、学校と地域が協力して事業を行う。	総合学習支援事業	5月～11月	高根台第二小学校・高根台第三小学校と連携して事業を行う。箏の教室等。	450人

(1)1	宇宙事業の学びを通じ子どもの科学的好奇心をはぐくむとともに親子の交流を図る。	高根台宇宙の学校	6月～8月	宇宙や自然科学に関する工作や実験、レポート発表。	25組
(1)1	公民館で活動する社会教育関係団体の学習を小学生に体験してもらい、学習内容の習得や地域住民との異世代交流を図る。また、地域の人と交流するという「総合学習の一環」として、学校、地域、公民館の三者の連携協力の中で教育的な成果をあげる。	小学生の公民館サークル体験学習	11月	各サークルの体験活動。	60人
(1)1	高根台公民館区域のフェスティバルを通じて、地域福祉の向上や交流を図る。	第19回高根台地区福祉フェスティバル	11月	小・中学校発表会、落語、健康相談、映画会、模擬店等。	3,000人
(1)2	本の選び方や読書感想文の書き方のポイントを学び、読書の楽しさを知ると共に、文章表現力を養う。	読書感想文の書き方講座～うまくなるコツをつかもう！～	7月～8月	本の選び方から読書感想文の書き方の指導まで。	16人
(1)2	公民館管区内にある特別支援学校(小学部)と連携し、障がいがある子供たちに演奏会を行い、音楽の楽しさを知るとともに、情操教育の一助となる機会とする。	障がいがある青少年自立支援事業(新規)	未定	内容未定	100人
(2)1	日本の伝統文化である竹と和紙を使った和紙を親子で作成し、手作りの楽しさを知るとともに親子の交流を図る。	親子和紙作り教室	12月	我が国の伝統文化である和紙作りの教室を実施し、手作りの楽しさを知るとともに親子の交流を図る。	16人
(2)2	同じ悩みをかかえる母親たちの交流と情報交換の場としていく。	子育て講座 にこにこワイワイ子育てキャンパス	5月～12月	育児にかかりきりで孤立しがちな親を支援し、同じ悩みをかかえる親同士の交流と情報交換を通じて、自分の発見と心のリフレッシュが出来るよう、講座や実技を通じて日頃の問題を解決していく場としていく。	全8回 230人

(2)2	地域における教育力を高め、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	高根台公民館本館 家庭教育セミナー	6月～7月	子供たちが心身共に健全に成長する上で地域における連帯意識や教育力を、地域社会の中で高めると共に、心豊かな家庭教育の充実に寄与するよう、子を持つ親を対象に子育てに関する課題を学習する。	30人
(4)3	毎月第3土曜日を「ハッピーサタデー」とし、子供達がスポーツや文化活動に親しむことを目的とする。	ハッピーサタデー	6月～3月	大切な人へのプレゼント みんなでゲームを楽しもう 夏休み子ども工作教室 他。	9回 180人

海神公民館

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	地域の青少年に係る団体や組織との連携により、遊びや制作活動等を通して豊かな心を育てる。	海神地区こどもまつり	2月	室内ゲーム、チャレンジ広場、模擬店、等	4,000人
(1)2	ダンスを知るとともに参加者同士の交流を図る	ダンス教室（新規）	6月	ヒップホップダンスを楽しむ	30人
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実に寄与する。	海神公民館家庭教育セミナー	10月～11月	未定	未定

(4)3	学校や地域団体等と連携協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成につとめる。	ふなばしハッピーサタデー	年間	親子でお菓子作り、子ども卓球教室、夏の工作、ニュースポーツ、冬のお楽しみ会、こども環境教室、等	未定
------	--	--------------	----	---	----

坪井公民館

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (2)1健全な家庭生活と親子のふれあいの推進 (2)2家庭教育に関する事業の推進 (4)3青少年の居場所づくりの推進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	大学の研究者の指導を受けて実験に取り組むことにより、子供たちに科学の楽しさを知ってもらい、好奇心を大切にしたい学びの機会を提供する。	こどもサイエンス教室（全2回の学級講座）	7月	子どもの科学実験教室。	2回 計40人
(1)1	小学生の親子を対象に、日本大学理工学部附属施設ミュージアムの見学とワークショップを体験することにより、子供たちが科学への関心を深め、興味を持ってもらうことを目的とした学習機会を提供する。	科学って楽しいな	2月	ミュージアムの見学とワークショップ	1回 計30人
(1)1	坪井地区の子供同士が交流し、豊かな情操を育てる場を提供する。	子どもまつり 「つばいハッピーサタデー」	3月	子どもたちがレクリエーションなどを通して、交流を深める。	1回 計300人
(2)1	読書教育の一環として、子供の情操教育と親子のふれあいの場を提供する。	おはなしいろえんぴつ	5月 7月 9月 11月 1月	幼児とその親を対象に、絵本の読み聞かせや紙芝居などを行い、親子のふれあいの場とする。	5回 計50人
(2)2	地域社会の連携や教育力を高めるとともに、心豊かな家庭教育の充実。	坪井公民館本館家庭教育セミナー	10月～12月	家庭教育にかかる学習	3回 定員100%

(4)3	学校や地域団体等と連携・協力して休日の居場所を提供し、青少年の健全育成に努める。	ハッピーサタデー	5月～3月	子供たちがスポーツと文化に親しむとともに、豊かな心や健全な精神を培う日として事業を開催する。	11回 定員100%
------	--	----------	-------	--	---------------

青少年センター

重点目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通じた仲間づくり (3)2社会生活を営む上で困難を抱える青少年への支援 (3)3青少年の非行防止と保護活動の強化 (4)1施設の整備と拡充 (4)6安心・安全な地域社会の構築				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	不登校児童生徒への支援の充実	一宮ふれあいキャンプ	6月～9月	船橋市不登校対策事業のひとつとして小・中学校の不登校児童生徒を対象にした長期プログラムの事業を実施する。 6月 事業説明会 8月 キャンプ準備会、一宮ふれあいキャンプ (2泊3日) 9月 ふりかえりの会	満足度90%以上
(3)2	SNSによる問題行動等の早期発見・未然防止	学校ネットパトロール	年間	市内小・中・高・特別支援学校の児童生徒を対象に定期的なネットパトロールを実施し、書き込みや画像等によるいじめや犯罪被害から児童生徒を守る。	啓発資料活用率100%
(3)3	青少年の非行防止と保護活動の強化 青少年非行の早期発見・未然防止を目指した街頭補導活動の強化	街頭補導活動	年間	センター補導 青少年センターの計画に沿って、150人以内の青少年補導委員が地域毎(市内6箇所)の補導を行う。(8月を除く毎月実施)近隣市との合同補導及び情報交換を行う。 地区補導 市内を12地区に分け、各地区の計画に沿って、補導委員の居住する地区の補導を行う。(毎月実施)11月に列車補導を行う。 地区別学校訪問 各地区毎に補導委員が地区内の全小・中・高等学校を訪問し、情報交換を行う。 センターパトロール 市の行事や学校行事等にあわせて、センター職員によるセンターパトロールを随時実施する。	街頭補導実施回数 400回

(3)3	青少年センター利用促進	広報活動	年間	<p>広報誌の発行・配布 青少年補導委員連絡協議会広報紙（はばたき）2回 要覧（あゆみ）1回 センター便り（ふれあい）6回 ホームページでの活動内容紹介 情報交換・収集 関係機関、団体との会議、小・中学校の巡回活動を通じて、情報の交換、収集を行う。 講演会、研修会への参加 学校、関係団体等の要請に積極的に応じるようにし、青少年の健全育成・非行防止の啓発や青少年センター利用促進の依頼をする。</p>	<p>センターからの広報誌年9回発行 講演会・研修会等への参加50回</p>
(3)3	青少年の健全育成・非行防止 青少年の自立回復を図るための効果的な相談活動の推進	相談活動	年間	<p>来所・訪問相談 青少年及びその保護者、学校教員等の来所による相談を行う。訪問相談は家庭、学校等を訪問し、相談を行う。 電話相談 電話による相談を行う。 メール相談 メールによる相談を行う。</p> <p>小学校訪問 前期（6～7月）、後期（11～12月）に小学校を訪問し、不登校や問題行動等について協議を行い、支援につなげる。</p>	<p>来所・訪問・電話 メール相談 4,500件 小学校への訪問70回</p>
(4)1	青少年センターの整備拡充	青少年センターの整備	年間	<p>青少年の健全育成や非行防止に係わる諸活動推進の利便の向上を図る。</p>	なし
(4)6	青少年の健全育成・非行防止	環境浄化活動	年間	<p>環境浄化 警察署や青少年の環境をよくする市民の会と連携し活動する。 環境調査・点検 学校訪問及び補導活動の際に、環境の点検、啓発活動を行う。</p>	<p>浄化点検活動400回</p>

重点 目標	(1)1青少年の交流と体験活動を通した仲間づくり (1)2スポーツ・文化芸術活動への参加促進				
	目的	実施事業	実施時期	実施内容	目標値
(1)1	遊びを通して体力の向上と参加者同士の交流を図る。	忍者修行道場	6月29日	9～10種類の修行場所（障害物アトラクション）をまわるレクリエーション。	小学生30人
(1)1	絵を描く技術・スキルの習得や豊かな想像力・表現力を養うとともに、参加者同士の交流を図る。	親子で楽しむスケッチ教室	7月20日	文庫本ノートに親子それぞれが自由にスケッチをする。	小学生の親子15組
(1)1	料理への関心、興味を高め、家庭におけるお手伝いの動機付けを図る。	小学生料理教室	10月	家庭におけるお手伝いできる料理を学ぶ調理実習。	小学生16人
(1)1	ケーキ作りを通してものづくりの楽しさを味わうとともに子供たち相互の交流を図る。	クリスマスケーキづくり	12月	クリスマスに家でもできるケーキづくりを学ぶ実習。	小学生16人
(1)1	書初め課題への学習指導を行い、学校授業の一助とするとともに、参加者同士の交流を図る。	書きぞめ教室	12月	小学校書初め課題の練習と清書。	小学生24人
(1)1	宝石石鹸作りを通してものづくりの楽しさを味わうとともに子供たち相互の交流を図る。	宝石せっけんづくり体験	1月	宝石石鹸づくり体験教室。	小学生40人
(1)1	おかし作りを通してものづくりの楽しさを味わうとともに子供たち相互の交流を図る。	バレンタインおかしづくり	2月	バレンタインデーに向けたお菓子づくり実習。	小学生16人
(1)1	絵を描く技術・スキルの習得や豊かな想像力・表現力を養うとともに、参加者同士の交流を図る。	お絵かき教室	2月	テーマをもとに自由に絵を描く。	小学生20人

(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	小学生硬式テニス教室	6月1～2日	硬式テニスの基礎技術の習得。	小学生20人
(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	小学生サッカー教室	10月5～6日	サッカーの基礎練習とミニゲーム。	小学生25人
(1)2	スポーツへの参加促進と参加者同士の交流を図る。	スポンジボールテニス教室	11月	スポンジボールテニス基礎技術。	小学生20人

船橋市青少年問題協議会条例

昭和43年3月30日条例第8号
改正 昭和49年4月1日条例第30号
改正 平成12年12月27日条例第49号
改正 平成26年3月28日条例第19号

(設置)

第1条 地方青少年問題協議会法(昭和28年法律第83号。)第1条の規定に基づき、船橋市青少年問題協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事務をつかさどる。

- 一. 青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議すること。
- 二. 青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整に関すること。
2. 協議会は、前項に規定する事項に関し、市長及びその区域内にある関係行政機関に対し意見を述べることができる。

(定数及び任期)

第3条 協議会は、委員35人以内をもって組織する。

2. 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

- 一. 市議会議員
- 二. 関係行政機関の職員
- 三. 学識経験のある者
- 四. 市職員

3. 前項第3号の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4. 前項の委員は、再任されることができる。

5. 委員(第2項第3号に掲げる委員を除く。)は、委嘱又は任命当時の職を離れたときは、それぞれ解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2. 会長は、会務を総理する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となり議事を整理する。

2. 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
3. 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部 会)

第6条 協議会は、調査又は審議のため必要があると認めるときは、部会を置くことができる。

2. 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。
3. 部会に部会長を置き、部会長は、部会に属する委員の互選により定める。
4. 部会の会議については、第5条の規定を準用する。この場合において同条中「会長」とあるのは「部会長」と、委員とあるのは「部会に属する委員」と読み替えるものとする。

(委 任)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付 則

この条例は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則（昭和49年4月1日条例第30号）

この条例は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則（平成12年12月27日条例第49号）

この条例は、平成13年1月6日から施行する。

附 則（平成26年3月28日条例第19号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

船橋市青少年問題協議会幹事に関する要綱

(趣 旨)

第1条 船橋市青少年問題協議会（以下「協議会」という。）の所掌事務について、委員を補佐するため幹事を置く。

(幹 事)

第2条 幹事は、別表の掲げる者をもって構成する。

2. 幹事は、市長が任命又は委嘱する。

3. 辞令又は委嘱状は、省略するものとする。

(職 務)

第3条 幹事は、協議会の所掌事務について委員を補佐する。

2. 幹事は協議会における審議結果を市政に反映させるとともに、相互の連絡・調整をはかる。

附 則

この要綱は、平成2年7月1日から施行する。

この要綱は、平成10年7月1日から施行する。

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

この要綱は、平成18年1月1日から施行する。

この要綱は、平成26年3月1日から施行する。

この要綱は、平成26年6月1日から施行する。

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

別 表

1.	千 葉 県	船 橋 警 察 署 生 活 安 全 課 長
2.	千 葉 県	船 橋 警 察 署 交 通 課 長
3.	千 葉 県	船 橋 東 警 察 署 生 活 安 全 課 長
4.	千 葉 県	船 橋 東 警 察 署 交 通 課 長
5.	船 橋 市	市 民 生 活 部 自 治 振 興 課 長
6.	船 橋 市	市 民 生 活 部 市 民 安 全 推 進 課 長
7.	船 橋 市	福 祉 サ ー ビ ス 部 地 域 福 祉 課 長
8.	船 橋 市	こ ども 家 庭 部 児 童 相 談 所 開 設 準 備 課 長
9.	船 橋 市	こ ども 家 庭 部 地 域 子 育 て 支 援 課 長
10.	船 橋 市	経 済 部 商 工 振 興 課 長
11.	船 橋 市	都 市 整 備 部 公 園 緑 地 課 長
12.	船 橋 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 部 学 務 課 長
13.	船 橋 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 部 指 導 課 長
14.	船 橋 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 部 指 導 課 児 童 ・ 生 徒 サ ポ ー ト 室 長
15.	船 橋 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 部 保 健 体 育 課 長
16.	船 橋 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 部 保 健 体 育 課 児 童 ・ 生 徒 防 犯 対 策 室 長
17.	船 橋 市 教 育 委 員 会	学 校 教 育 部 総 合 教 育 セ ン タ ー 所 長
18.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 社 会 教 育 課 長
19.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 文 化 課 長
20.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 青 少 年 課 長
21.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 生 涯 ス ポ ー ツ 課 長
22.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 各 基 幹 公 民 館 長
23.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 西 図 書 館 長
24.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 郷 土 資 料 館 長
25.	船 橋 市 教 育 委 員 会	生 涯 学 習 部 青 少 年 セ ン タ ー 所 長

船橋市青少年問題協議会委員 一覧表

	役 職 員	氏 名	委嘱年月日
三 条 二 項 一 号	市議会議員	桜井 信明	5. 5. 19
	市議会議員	青木 はるか	5. 5. 19
	市議会議員	岩井 友子	5. 5. 19
三 条 二 項 二 号	船橋警察署長	鏑木 秀樹	6. 3. 21
	船橋東警察署長	勝又 憲彦	6. 3. 21
	市川児童相談所船橋支所長	児玉 亮	4. 4. 1
三 条 二 項 三 号	小・中学校長会代表	山岸 秀規	6. 6. 1～8. 5. 31
	ふなばし地域若者サポートステーション代表	本庄 寛国	6. 6. 1～8. 5. 31
	社会教育委員代表	草野 滋之	6. 7. 1～8. 6. 30
	自治会連合協議会代表	早川 淑男	6. 6. 1～8. 5. 31
	民生児童委員協議会代表	岩瀬 日出夫	6. 6. 1～8. 5. 31
	社会福祉協議会代表	小出 正明	6. 6. 1～8. 5. 31

	役 職 員	氏 名	委嘱年月日
三 条 二 項 三 号	保護司会代表	戸松 篤司	6. 6. 1～8. 5. 31
	青少年センター運営協議会代表	加瀬 武正	6. 6. 1～8. 5. 31
	青少年補導委員連絡協議会代表	丹羽 浩道	6. 6. 1～8. 5. 31
	スポーツ協会代表	山崎 幸男	6. 6. 1～8. 5. 31
	スポーツ推進委員協議会代表	青鹿 元治	6. 6. 1～8. 5. 31
	青少年相談員連絡協議会代表	村木 正昭	6. 6. 1～8. 5. 31
	P T A連合会代表	原野 弥生	6. 6. 1～8. 5. 31
三 条 二 項 四 号	少年少女団体連絡協議会代表	大塚 正久	6. 6. 1～8. 5. 31
	生涯学習部長	高橋 伸行	6. 4. 1
	こども家庭部長	森 昌春	5. 4. 1
	学校教育部長	日高 祐一郎	5. 4. 1
	市立船橋高等学校長	近藤 義行	6. 4. 1

船橋市青少年問題協議会幹事 一覧表

職 名	氏 名	委嘱年月日
船橋警察署生活安全課長	小山 毅	5. 3. 22
船橋警察署交通課長	長谷川 幸喜	5. 3. 6
船橋東警察署生活安全課長	金子 雄介	5. 3. 22
船橋東警察署交通課長	幸地 要	5. 3. 6
(市) 市民生活部 自治振興課長	村上 輝吉	5. 4. 1
〃 〃 市民安全推進課長	千脇 真治	6. 4. 1
〃 福祉サービス部 地域福祉課長	忍足 博子	4. 4. 1
〃 こども家庭部 児童相談所開設準備課長	鈴木 尚哉	6. 4. 1
〃 〃 地域子育て支援課長	齊藤 正宏	5. 4. 1
〃 経済部 商工振興課長	宇都宮 平太	4. 4. 1
〃 都市整備部 公園緑地課長	芝原 正行	4. 4. 1
(教) 学校教育部 学務課長	野木 英表	4. 4. 1
〃 〃 指導課長	筒井 浩美	6. 4. 1
〃 〃 児童・生徒サポート室長	藤宮 公章	6. 4. 1
〃 〃 保健体育課長	春日 淳	6. 4. 1

職 名	氏 名	委嘱年月日
(教) 学校教育部 児童・生徒防犯安全対策室長	山下 毅	4. 4. 1
〃 〃 総合教育センター所長	太田 由紀	5. 4. 1
〃 生涯学習部 社会教育課長	藤井 好実	5. 4. 1
〃 〃 文化課長	阿部 健一郎	5. 4. 1
〃 〃 青少年課長	由良 公伸	6. 4. 1
〃 〃 生涯スポーツ課長	石山 公唯	5. 4. 1
〃 〃 西図書館長	柴山 和香子	2. 4. 1
〃 〃 中央公民館長	江口 勝美	5. 4. 1
〃 〃 東部公民館長	金子 恭將	4. 4. 1
〃 〃 西部公民館長	岩田 なつみ	5. 4. 1
〃 〃 北部公民館長	加藤 宏之	4. 4. 1
〃 〃 高根台公民館長	松田 修	5. 4. 1
〃 〃 郷土資料館長	金子 俊	4. 4. 1
〃 〃 青少年センター所長	大橋 一樹	6. 4. 1

船橋市青少年行政組織図（令和6年4月1日現在）

